KAWAI
DIGITAL PIANO
PN4
取扱説明書

■同梱品
□本体
□スタンド
□譜面台
□椅子
□電源コード
□取扱説明書（本書）
□クラシカル ピアノ コレクション（楽譜）
□クラシカル ピアノ コレクション（フロッピーディスク）
□ドレミでうたおう（フロッピーディスク）
□ブランク　フロッピーディスク
□ゆびの体操ドレミ
□ゆびの体操ドレミ楽譜集
□ヘッドホン
□ヘッドホンフック
□スタンド組立図
□保証書
□ご愛用者カード
□アフターサービスと音楽教室のご案内
□楽譜集のご案内
□「コンサートマジック曲集」注文払込用紙
□ポピュラーピアノコレクション（フロッピーディスク）
□ポピュラーピアノコレクション対応楽譜集のご紹介

このたびは、KAWAIデジタルピアノPN4をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
本機では、ピアノ音色をはじめ全307種類の音色で演奏を楽しむことができます。
また、ピアノ演奏上達のためのレッスン機能を搭載し、お子様でも楽しく練習することができます。
その他、自分の演奏を録音する機能、音に残響効果を与えるリバーブやその他のエフェクト、伝統的ないくつかの調律セッティングやコンサートマジックなど、多彩な機能を装備しています。
さらに、電子楽器統一規格であるMIDI機能も装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブル等、バラエティーに富んだ演奏にも対応できます。
PN4の性能をフルに発揮していただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

各部の名称と働き 1
演奏してみましょう 2
レッスン機能の使い方 3
レコーダーの使い方 4
ディスクレコーダーの使い方 5
ディスクの操作 6
設定モードの使い方 7
Pfunの使い方 8
付録 9

■PN4をご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。

目　次

◆ 安全上のご注意 3
◆フロッピー･ディスクの取扱いについて 5
1. 各部の名称と働き 6
◇ パネル図 6
◇ ペダルを使って演奏 6
◇ ヘッドホン 7
2. 演奏してみましょう 8
1)基本操作 8
◇ 音色の選び方 9
2)デュアル演奏 10
3)スプリット演奏 11
4)リバーブ/エフェクト 13
◇ 音にREVERB(リバーブ)効果を加える 13
◇ 音にEFFECTS(エフェクト)を加える 14
5)タッチカーブ 15
6)トランスポーズ 16
7)メトロノーム／リズム 17
◇ メトロノーム／リズムの発音とテンポ設定 17
◇ メトロノームの拍子／リズム設定 17
◇ メトロノーム／リズムの音量設定 18
8)デモ曲の演奏 19
9)コンサートマジック 20
◇ コンサートマジック曲選択と演奏 21
◇ コンサートマジック曲の再生 22
◇ その他の再生方法(チェイン再生/グループ再生/ランダム再生) 23
◇ コンサートマジック曲目 24
3. レッスン機能の使い方 26
1)練習曲機能を使って 26
◇ 練習したい曲を選ぶ 27
◇ 見本曲を聴く 28
◇ 見本曲の途中から再生する 29
◇ 曲を変更する 29
◇ レッスン機能を終了する 30
◇ 見本曲の片方のパートを再生しながら、もう片方のパートを練習する 31
◇ 見本曲の途中を繰り返して練習する 32
◇ 見本曲に合わせて録音する 34
◇ 録音したテイクを再生する 36
◇ 録音したテイクを消去する 38
2)指の体操機能を使って 39
◇ 練習タイプの選び方 39
◇ 鍵盤に慣れる練習 40
◆ 曲を選んで聴いてみる 40
◆ 見本曲を変更する 41
◆ 見本曲に合わせて練習する 42
◇ リズムの練習 43
◆ 見本パターンを選んで聴いてみる 43
◆ リズムパターンを変更する 44
◆ 見本パターンに合わせて練習する 45
◇ 指のトレーニング 46
◆ 見本曲を選んで聴いてみる 46
◆ 曲を変更する 48
◆ 見本曲に合わせて練習する 48
4. レコーダーの使い方 50
1)録音 50
◇ 録音するソングとパートの選択 50
2)再生 52
3)繰り返し再生 53
◇ 1曲を繰り返したい場合 53
◇ 曲の一部を繰り返したい場合 54
4)パートのデータの消去 55
5. ディスクレコーダーの使い方 57
1)再生 57
◇ テンポの変更 58
◇ 再生パートのミュート 58
2)繰り返し再生 59
◇ 1曲を繰り返したい場合 59
◇ 曲の一部を繰り返したい場合 60
3)録音 61
6. ディスクの操作 64
◇ メニューの選び方 64
1) 内部レコーダーの保存 65
2) 曲名変更 66
3) 曲データの削除 67
4) 曲データのコピー 68
5) ディスクのフォーマット 69
7. 設定モードの使い方 70
1)ブリリアンス 70
2)ロアーオクターブシフト 71
3)ロアー ペダルのオン/オフ 71
4)レイヤーオクターブシフト 72
5)レイヤー ダイナミクス 73
6)ダンパーホールドのオン/オフ 74
7)チューニング 75
8)音律の設定 76
9)音律の主音の設定 77
◇ MIDIについて 78
10)MIDI送信･受信チャンネル 79
11)ローカル コントロール 80
12)プログラム(音色)ナンバー送信のオン/オフ 81
◇ 音色ボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信 81
13)プログラム(音色)ナンバー送信 82
14)マルチ ティンバーモード 83
15)チャンネルミュート 84
16)MIDIクロック 85
17)ユーザー メモリー 85
18)ファクトリー リセット 86
19)表示言語 87
8. Pfunの使い方 88
◇ Pfun曲を選ぶ 88
◇ Pfun曲を聴く 89
◇ Pfun曲と合奏する 89
◇ 指定したポイントから再生する 90
◇ 鍵盤と伴奏の音量バランスを調節する 91
◇ テンポを変える 92
◇ Pfunを終了する 92
9. 付　録 93
◇ 他の機器との接続 93
◇ 本体の組み立て方 95
◇ 音色一覧表 96
◇ リズム一覧表 100
◇「CLASSICAL PIANO COLLECTION (ｸﾗｼｶﾙ ﾋﾟｱﾉ ｺﾚｸｼｮﾝ)」楽譜、ディスクについて 101
◇「ドレミでうたおう」付属ディスクについて 102
◇ 楽譜 103
◇ 主な仕様 110
◇ KAWAI [Model PN4]MIDI インプリメンテーションチャート 111

◆安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、
　　　さらさないで下さい。

このマークは、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

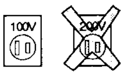
○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

100V以外禁止



●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

濡れた手で触らない

●感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける,かける,こぼす）などしない

●漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機を落とさない

落とさない

●運搬の際は、必ず２人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

使用しない

●イスで遊んだり、踏み台にしない
●イスには2人以上で座らない
●イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
●イス組立時、ネジをしっかり締める

●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。
●不安定な場所に置かないでください。
●長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

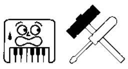
◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止

●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

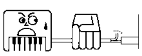
分解禁止



●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

プラグ部分を持つ



●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

注意

◆本機を次のような所では使用しない
●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

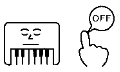
使用禁止

●故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる
ゆっくりしめる

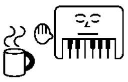
●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う
電源を切る



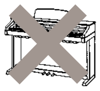
●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする
異物を入れない



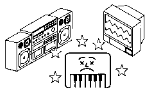
●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない
もたれない



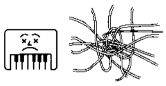
●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない
他電気機器から離す



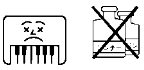
●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類は本体で踏んだりからまないようにに接続する
からまないようにする



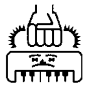
●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない
ベンジン／シンナー禁止



●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない
上に乗らない



●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

◆本機を移動するときは引きずらない
引きずらない

●移動の際は、必ず持ち上げて運んで下さい。引きずって移動すると、本体を破損する恐れがあります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●パネル上のディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてあります。

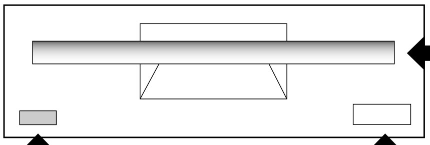
■保証書について
●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

■修理について
●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

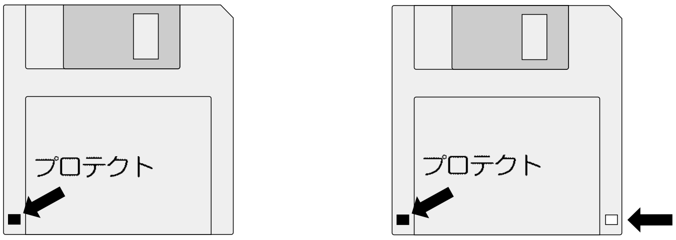
◆フロッピーディスクの取扱いについて

◇ フロッピーディスクドライブ



◆ 使用するディスクの種類

市販の 3.5 インチ 2DD または 2HD のディスクを使用してください。他の種類のディスクは使用できません。
ディスクに四角い穴が 2 つあるのが 2HD、1 つあるのが 2DD です。
ディスクフォーマットは、Windows ／ MS-DOS フォーマットです。



◆ ディスクの中身をさわったり、内部にゴミを入れたりしないでください。

ディスクを開けて中身をさわったり、シャッターの中にゴミが入ったりすると、データが正しく記録できなくなります。

◆ 強い磁石のそばに置かないでください。

ディスクは、外部からの磁気で、データが破壊されます。磁石（たとえばホワイトボード用の磁石）やスピーカーの近くに置かないでください。

◆ アクセスランプの点灯中はディスクを取り出さないでください。

フロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯しているときにディスクを取り出すと、中のデータが破壊されることがありますので絶対に行わないでください。

◆ ライト・プロテクト

ディスクの四角の窓をふさぐ機構があります。これは、データの書き込みを防止するためのものです。
窓が閉まっていると、データの書き込みが可能となり、窓が開いている状態では、ディスク上にデータを記録することができなくなります。中のデータを消したくないディスク（別売のソングディスクなど）は、ライト・プロテクトの窓を開けておいてください。

◆ ディスクの挿入と取り出し

ラベル面を上にして、シャッターの方からディスク・ドライブへ入れてください。カチャッと音がして、ディスクが中に完全に入るまで差し込んでください。取り出すときは、イジェクト・ボタンをゆっくり押してください。

1. 各部の名称と働き

スライダーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◇ パネル図

●MASTER VOLUME（マスターボリューム）
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整しまず。max側に行くほど音量が大きくなり、min側にいくほど音量が小さくなります。

●DEMO（デモ）
内蔵されているデモ曲を演奏させるときに使用します。
（P.19参照）

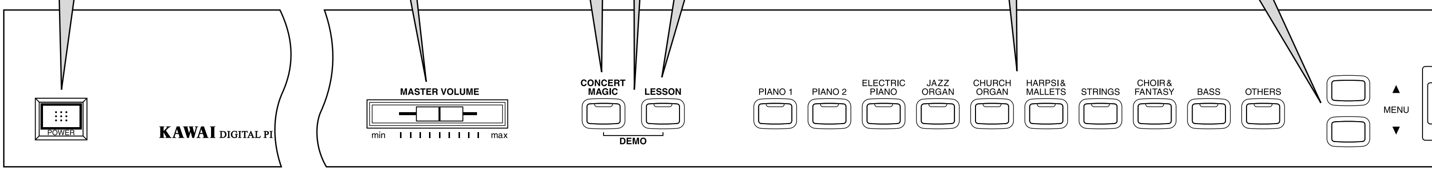
●音色ボタン
音色を選択するボタンです。
1つの音色ボタンに、複数の音色が割り当てられており、再度同じボタンを押すことで他の音色が選べます。
押されたボタンの赤いランプが点灯し、選ばれた音色名がディスプレイに表示されます。（P.9参照）

●POWER（電源スイッチ）
電源をオン／オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

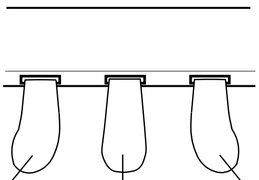
●CONCERT MAGIC（コンサートマジック）
鍵盤を弾くタイミングと強さに応じて内蔵曲を演奏できます。
（P.20参照）

●LESSON（レッスン）
ピアノの上達に必要な練習曲を内蔵し、楽しみながら様々なレッスンをすることができます。
（P.26参照）

●MENU（メニュー）
設定モードなどのメニューを選びます。



◇ ペダルを使って演奏



◆ ダンパーペダル
音に余韻を与えます。
ピアノは、鍵盤を押すとハンマーが弦をたたき、音が発音しますが、指を離すとダンパーが弦を止めて発音が止まります。
ダンパーペダルを踏むと指を離してもダンパーが弦を止めないため、音が止まらず豊かな響きが得られます。

◆ ソステヌートペダル
鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。
従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

◆ ソフトペダル
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。
EFFECTS ボタン を押してロータリーが選ばれている時は、踏むたびにスピード（Slow/Fast）を切り替えます。

●LCDディスプレイ
通常は選ばれている音色名を表示します。その他いろいろな機能を使うときに値や状態などを表示します。

●VALUE（バリュー）
いろいろな値を設定する時に使います。

●EFFECTS（エフェクト）
各種エフェクトの選択やオン／オフを設定します。
（P.14参照）

●REVERB（リバーブ）
リバーブ効果選択、またはオン／オフを設定します。
音にリバーブ効果（残響効果）を与えることで、美しい響きが得られます。
（P.13参照）

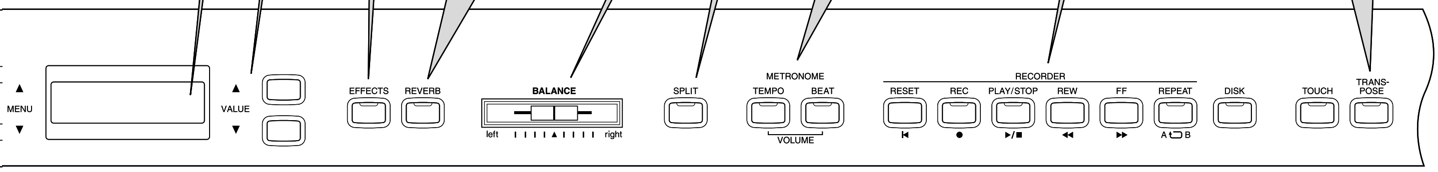
●BALANCE（バランス）
デュアル演奏、スプリット演奏時の2つの音色の音量バランスやレッスン機能での見本曲の音量の調整などをします。（P.10, 12, 31, 46, 48参照）

●SPLIT（スプリット）
鍵盤を低音部、高音部に2分割し、別々の音色で演奏できます。
スプリットポイントは自由に設定できます。

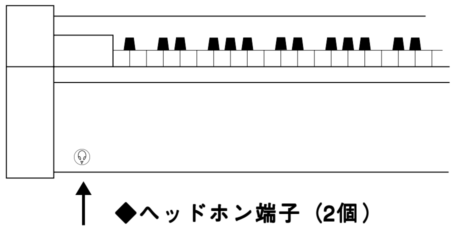
●METRONOME（メトロノーム）
メトロノームのオン／オフやテンポ／拍子／音量を設定します。
（P.17参照）

●RECORDER（レコーダー）
PLAY/STOP，RECボタン等を使って、自分の演奏を録音、再生することができます。

●TRANCEPOSE（トランスポーズ）
弾く鍵盤を変えずに移調する機能です。
調の異なる楽器とのアンサンブルや、歌の伴奏をするときなどに便利です。（P.16参照）



◇ ヘッドホン



◆ヘッドホン端子（2個）
ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは2つまで接続できます。

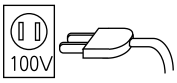
2. 演奏してみましょう

1）基本操作

ここでは、電源を入れて音を出すまでの基本的な手順を説明します。

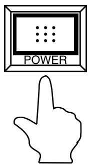
□操作１

電源コードをAC100V（エーシー100ボルト）のコンセントに差し込みます。

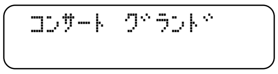


□操作２

POWER（パワー）（電源スイッチ）ボタンを押して電源をオンにします。



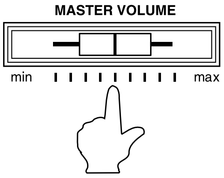
POWER ボタンを押すと音色ボタンの PIANO 1 が点灯し、LCD ディスプレイに「ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ」と表示されます。



REVERB ボタンも点灯します。

□操作３

MASTER（マスター） VOLUME（ボリューム）スライダーを中央付近にセットします。

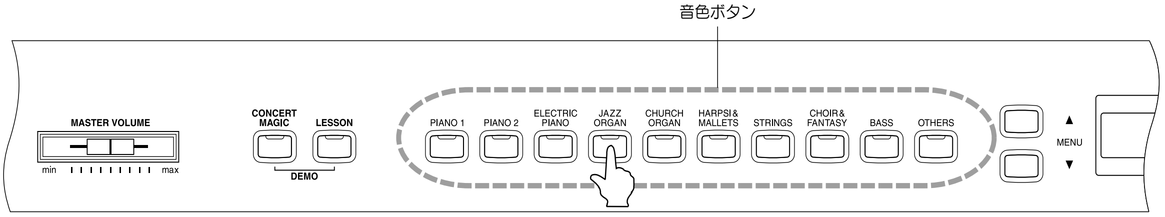


◇ 音色の選び方

パネルには、10 個の音色ボタンがあります。
各音色ボタンに 4 音色（OTHERS ボタンは 271 音色 +9 ドラムセット）が割り当てられており、合計 307 音色十 9 ドラムセットを内蔵しています。
各音色ボタンに割り当てられている音色は付録の音色一覧表を参照してください。

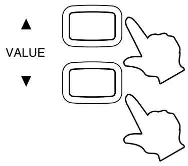
□操作 1

音色を選びましょう。



押された音色ボタンのランプが点灯し、選択されます。
1 つの音色ボタンに複数の音色が割り当てられており、選択されているボタンを再度押すと同じ音色ボタンに割り当てられている他の音色が選択されます。

■ VALUE ボタンで音色を切り替えることもできます。

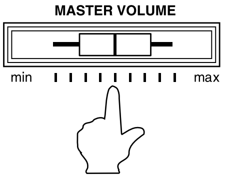


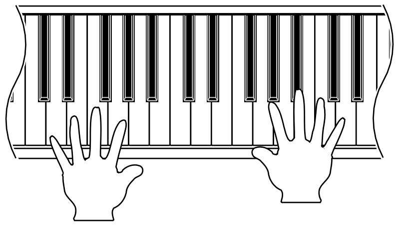
■ OTHERS ボタンを選択している時は VALUE ボタンの▼を押しながら▲を押すことによって、あるいは▲を押しながら▼を押すことによって、次の音色グループに切り替えることもできます。

□操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。

選んだ音色が鳴ります。
MASTER VOLUME スライダー でお好みの音量に設定できます。





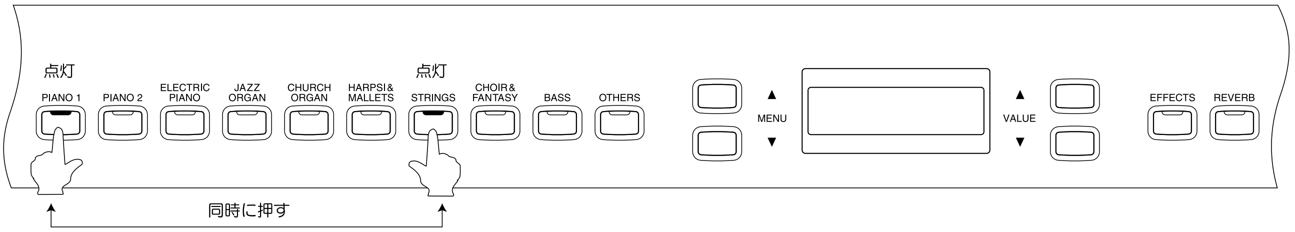
■複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大 96 音です。（音色によって異なります）

2）デュアル演奏

デュアルとは２つの音色を重ね合わせる機能です。
２つの音色が同時に発音され音楽表現の幅が広がります。

□操作１

２つの音色ボタンを同時に押します。



重ね合わせる２つの音色ボタンを同時に押すと２つの音色ランプが点灯しディスプレイに２つの音色名が表示されます。（先に押した音色がディスプレイの１行目に表示されます。）

例えば、PIANO1 と STRINGS の音を重ね合わせる場合、図の様に PIANO1 ボタンと STRINGS ボタンを同時に押します。

ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ
ｽﾛｰ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ

上のデュアル演奏の状態から、ｽﾛｰｽﾄﾘﾝｸﾞｽをｽﾄﾘﾝｸﾞﾊﾟｯﾄﾞに変更する場合は、PIANO1 ボタンを押しながら STRINGS ボタンを再度押します。

同じボタンの中の２音色を重ね合せて発音させることもできます。
例えば、PIANO1 ボタンに割り当てられている「ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ」と「ｽﾀｼﾞｵ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ」の音色を重ね合せる場合は、PIANO1 ボタンで「ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ」を選択した後、そのまま PIANO1 ボタンを押しながら VALUE ボタンで「ｽﾀｼﾞｵ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ」を選びます。

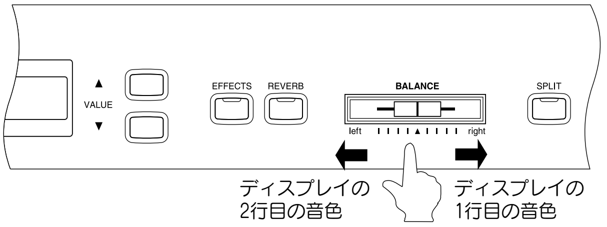
□操作２

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば選択した２つの音色が重なって鳴ります。

□操作３

BALANCE（バランス）スライダーを動かして、２つの音色の音量バランスを設定します。



□操作４

デュアル演奏の解除は、音色ボタン のいずれかを１つ押します。

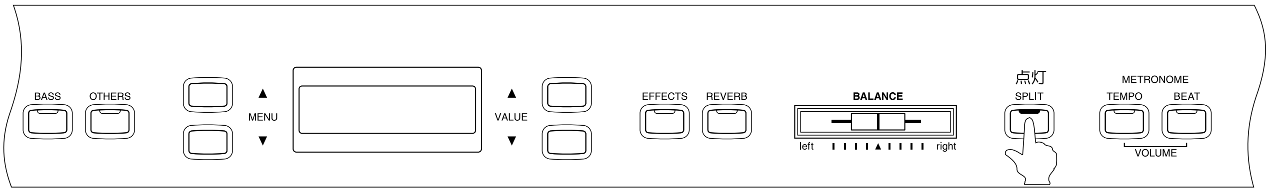
押した音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

3）スプリット演奏

スプリットポイントを境に鍵盤を左右２つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定しアンサンブル演奏をすることができます。

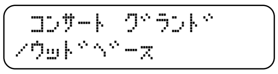
□操作１

SPLIT（スプリット）ボタン を押します。



SPLIT ボタン のランプが点灯します。
音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。

点灯している音色ボタンは、SPLIT ボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。
点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されているベース音色です。
ディスプレイには選ばれている２音色が表示されます。

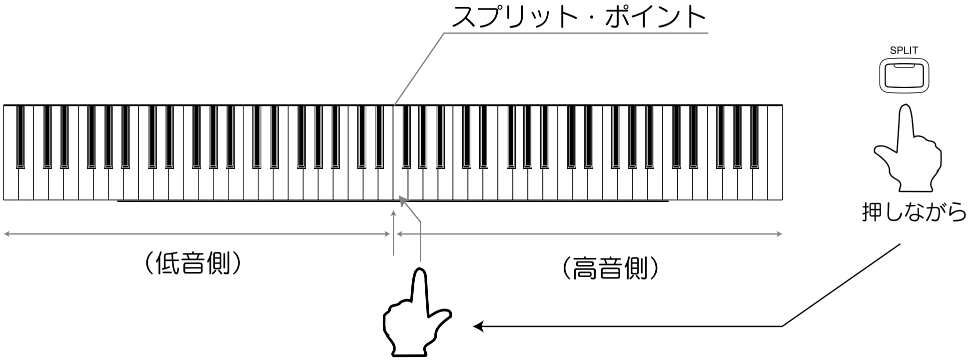


ディスプレイ左下には、スプリット状態であることを示す（／）マークが表示されます。
スプリットポイントは、中央のＣ（ド）に設定されています。

□操作２

スプリットポイントを変更したい場合は、SPLIT（スプリット）ボタン を押しながら鍵盤を押します。

押した鍵盤が、高音側の最低音になります。



□操作３

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば、スプリットポイントを境に別々の音色で鳴ります。
右手でコードとメロディー、左手でベースラインを弾いて
アンサンブル演奏を楽しむことができます。

□操作４

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点灯します。
同じ音色ボタンをつづけて２回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

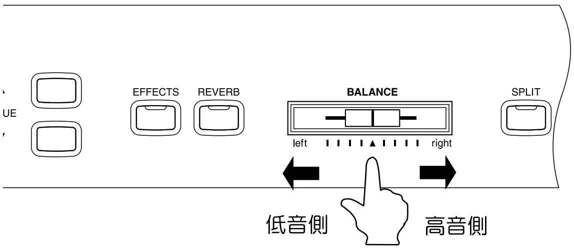
□操作５

低音側の音色は、SPLIT（スプリット）ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点滅します。
同じ音色ボタンをつづけて２回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

□操作６

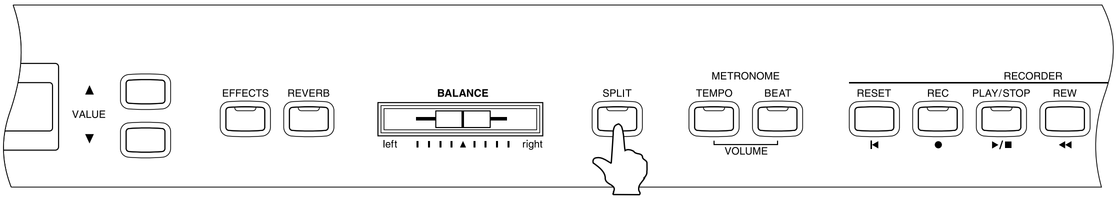
BALANCE（バランス）スライダーを動かして、高音側と低音側の音量バランスを設定します。



□操作７

スプリット演奏を解除する時は、再度 SPLIT（スプリット）ボタンを押します。

SPLIT ボタンのランプが消灯します。



■低音側鍵盤の音に、オクターブシフトを設定することができます。（P.71 参照）

■低音側鍵盤の音に、ダンパーペダルのオン / オフの設定ができます。（P.71 参照）

4）リバーブ/エフェクト

6種類のリバーブと12種類のエフェクトを装備しています。

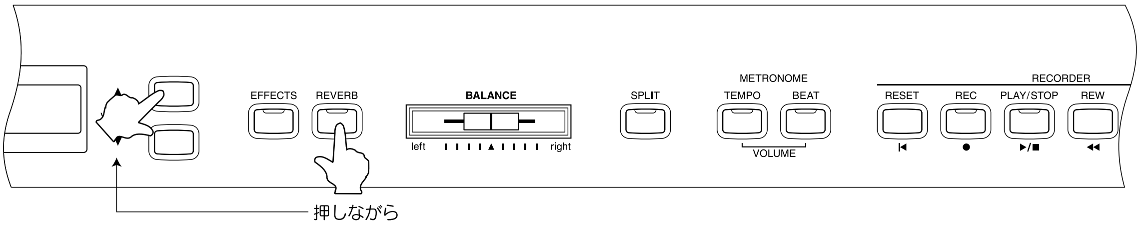
◇音にREVERB（リバーブ）を加える

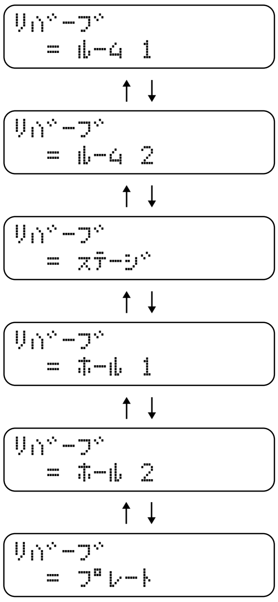
リバーブを加えると、音に残響効果が加わり深みのある美しい響きが得られます。
以下の6種類のリバーブを用意しています。

■ルーム1、2	：室内で演奏している時にかかる残響効果が得られます。 ルーム2の方が長い残響時間が得られます。
■ステージ	：ステージで演奏している時にかかる残響効果が得られます。
■ホール1、2	：ホールで演奏している時にかかる残響効果が得られます。 ホール2の方が長い残響時間が得られます。
■プレート	：プレートリバーブの残響効果が得られます。

□操作1

REVERB（リバーブ）ボタンを押しながらVALUE（バリュー）ボタンを押すたびにリバーブの種類がディスプレイに表示されます。
選択するリバーブの種類をディスプレイに表示させ、REVERB（リバーブ）ボタンから手を離します。





REVERBボタンを押している間、ディスプレイに今選ばれているリバーブの種類が表示されます。

REVERBボタンを押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度REVERBボタンを押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

REVERBボタンを離すとディスプレイの画面は音色表示になります。

◇音に EFFECTS（エフェクト）を加える

PN4 は次のエフェクトを装備しています。

■コーラス　　　：音にピッチのゆらぎをもつ音を合わせることにより、音に広がりを加えます。
PN4 では 5 種類のコーラス効果を用意しています。

■フランジャー　：音にピッチが微妙にずれた音を加えて、ジェット機の上昇下降音のような効果です。

■ディレイ　　　：音に山びこのような反響音を加える効果です。
PN4 では 3 種類のディレイ効果を用意しています。

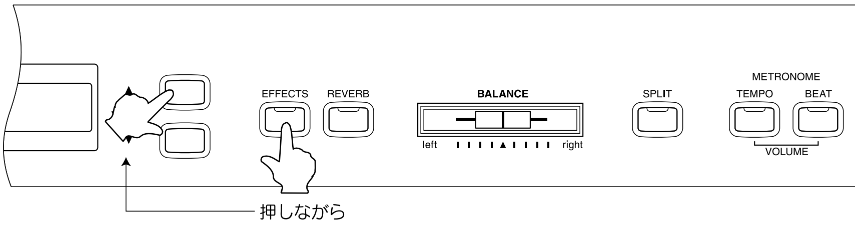
■トレモロ　　　：音に”ゆらぎ”を加える効果です。

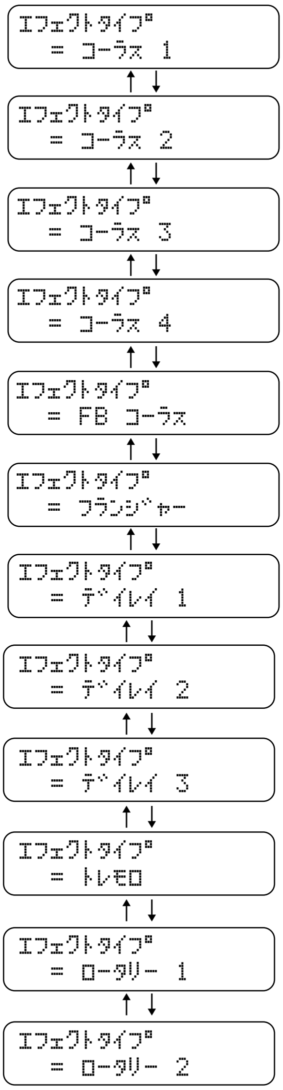
■ロータリー 1　：ロータリー（回転式）スピーカーを使って得られる効果です。
ソフトペダル（P.6 参照）を押すことによって回転の速さを切り換えることができます。

■ロータリー 2　：上記のロータリー効果に歪み効果を加えます。

□操作 1

EFFECTS（エフェクト）ボタン を押しながら VALUE（バリュー）ボタンを押すたびにエフェクトの種類が画面に表示されます。選択するエフェクトの種類を画面に表示させ EFFECTS ボタンから手を離します。





EFFECTS ボタン を押している間、ディスプレイに今選ばれている効果の種類が表示されます。

EFFECTS ボタン を押して消灯させると、音色の効果は解除されます。再度 EFFECTS ボタン を押して点灯させると、前回選択していた種類の効果が加えられます。

5）タッチカーブ

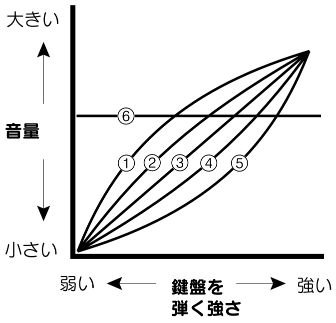
ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。
この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。
PN4 では、6 種類のタッチカーブを装備しています。

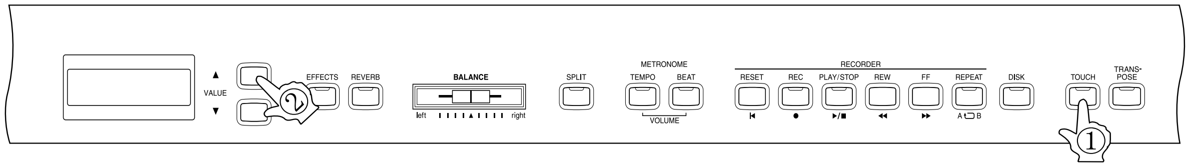
①ライト＋
②ライト　：　弱いタッチで弾いても大きな音がでます。小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。

③ノーマル　：　アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。

④ヘビー
⑤ヘビー＋　：　強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。

⑥オフ　：　タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。





□操作 1

TOUCH（タッチ）ボタンを押しながら VALUE（バリュー）ボタンを押してタッチカーブの種類を選びます。

TOUCH ボタンのランプが点灯し、ボタンを押している間ディスプレイに現在選ばれているタッチカーブの種類が表示されます。ここで選択したタッチカーブは、TOUCH ボタンのランプが点灯時に有効になります。
TOUCH ボタンのランプが消灯時は、ノーマルに設定されます。

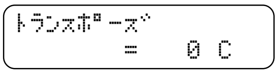
6）トランスポーズ

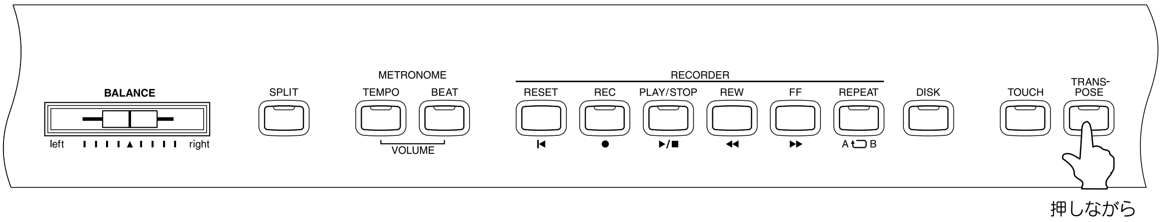
半音単位で調を変えることができます。
調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

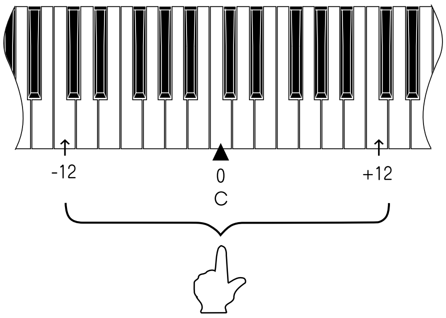
□操作１

TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン を押しながら鍵盤を押して移調値を（−12～＋12 [全2オクターブ]）の間で設定します。

TRANSPOSE ボタン のランプが点灯時、設定した値だけ移調されます。またボタンを押している間、ディスプレイに現在の値が表示されます。
電源オン時は、ハ長調（C）に設定されています。







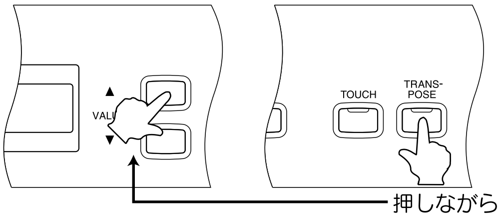
鍵盤中央のド（C）が０です。
ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

TRANSPOSE（トランスポーズ）ボタン を押すたびに、オン/オフを設定できます。

ランプが点灯時にオンとなり設定した値だけ移調されます。
値が「0」の場合は、点灯しません。

■ TRANSPOSE ボタン を押しながら VALUE ボタンを押しても移調できます。



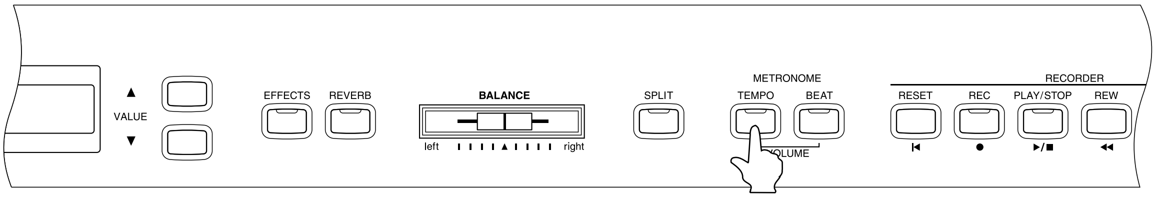
7）メトロノーム／リズム

メトロノームを使ってテンポを正しく練習しましょう。

◇ メトロノーム／リズムの発音とテンポ設定

□操作１

テンポ
TEMPOボタンを押します。

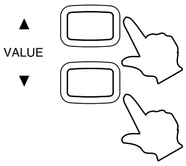


TEMPO ボタン が点灯し、メトロノームが発音します。
ディスプレイにそのテンポの値が表示されます。

テンポ　♩= 120
●○○○

□操作２

バリュー
VALUEボタンを押してテンポを設定できます。



テンポの値を ♩ =10 ～ 400 の範囲で設定できます。
（3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子のときは、♪ =20～800）

□操作３

テンポ
再度TEMPOボタンを押すとメトロノームが止まります。

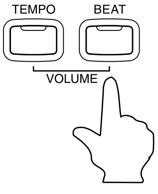
TEMPO ボタンのランプが消灯します。

■コンサートマジックボタンが点灯中は、メトロノームは使用できません。

◇ メトロノームの拍子／リズムの設定

□操作１

ビート
BEATボタン を押します。



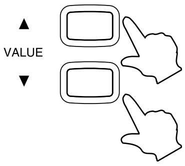
BEAT ボタンが点灯し、ディスプレイにその拍子が表示され、メトロノームが発音します。また、リズムが選ばれている時はディスプレイにリズムが表示され、リズムが発音します。

ビート　= 4/4
●○○○

8ビート 1
●○○○

□操作２

VALUE（バリュー）ボタン を押して拍子／リズムを選択します。



メトロノームは1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8, 7/8, 9/8, 12/8 より選択することができます。
リズムは 100 種類より選択できます。
内蔵しているリズムは付録を参照して下さい。

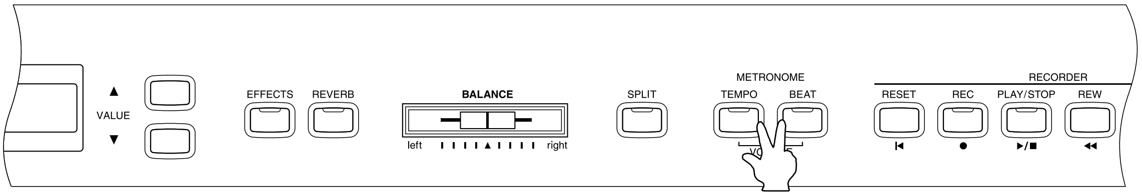
□操作３

再度 BEAT（ビート）ボタン を押すと BEAT ボタンのランプは消灯し、メトロノーム又はリズムが止まります。

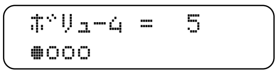
◇ メトロノーム／リズムの音量設定

□操作１

TEMPO（テンポ）ボタンと BEAT（ビート）ボタンを同時に押します。

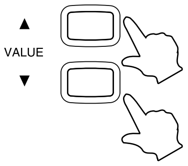


TEMPO ボタンと BEAT ボタンが点灯し、メトロノーム又はリズムが発音します。
ディスプレイにその音量の値が表示されます。



□操作２

VALUE（バリュー）ボタン を押して音量を設定します。



1 ～ 10 の範囲で設定できます。

□操作３

再度TEMPO（テンポ）ボタンとBEAT（ビート）ボタンを同時に押すとランプが消灯し、メトロノーム又はリズムが止まります。

8）デモ曲の演奏

各音色ボタン毎に下表のデモ曲を内蔵しています。
それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。

■PIANO 1:

ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	:英雄ポロネーズ/ショパン
	:イタリア協奏曲/バッハ
	:トルコ行進曲/モーツァルト
	:ピアノソナタK.545(第１楽章)/モーツァルト
	:ピアノソナタ14番月光(第１楽章)/ベートーベン
	:ノクターン作品9-2/ショパン
	:別れの曲/ショパン
	:子犬のワルツ/ショパン
	:ラ・カンパネラ/リスト
	:ハンガリー舞曲第１番/ブラームス
ｽﾀｼﾞｵ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	:カワイオリジナル
ﾒﾛｰ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	:亜麻色の髪の乙女/ドビュッシー

■PIANO 2:

ﾓﾀﾞﾝ ﾋﾟｱﾉ	:カワイオリジナル
ﾛｯｸ ﾋﾟｱﾉ	:カワイオリジナル
ﾆｭｰｴｲｼﾞ ﾋﾟｱﾉ１	:カワイオリジナル

■ELECTRIC PIANO:

ｸﾗｼｯｸ Eﾋﾟｱﾉ１	:カワイオリジナル
ﾓﾀﾞﾝ Eﾋﾟｱﾉ１	:カワイオリジナル
ﾓﾀﾞﾝ Eﾋﾟｱﾉ２	:カワイオリジナル

■JAZZ ORGAN

ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ１	:カワイオリジナル
ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ２	:カワイオリジナル
ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ３	:カワイオリジナル

■CHURCH ORGAN

ﾁｬｰﾁ ｵﾙｶﾞﾝ１	:トッカータ/ジグー
ﾃﾞｨｱﾊﾟｿﾝ	:主よ人の望みの喜びよ/バッハ
ﾌﾙ ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ	:カワイオリジナル

■HARPSI & MALLETS

ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ１	:フランス組曲第６番/バッハ
ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ	:カワイオリジナル
ｸﾗﾋﾞﾈｯﾄ	:カワイオリジナル
ｵｸﾀｰﾌﾞﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ	:プレリュードin A♭/バッハ

■STRINGS

ｽﾛｰｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	:カワイオリジナル
ｽﾄﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｯﾄﾞ	:カワイオリジナル
ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ１	:四季”春”/ヴィヴァルディ

■CHOIR&FANTASY

ｸﾜｲｱ1	:カワイオリジナル
ﾆｭｰｴｲｼﾞ１	:カワイオリジナル
ｱﾄﾓｽﾌｨｱ	:カワイオリジナル

■BASS

ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ	:カワイオリジナル
ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾍﾞｰｽ	:カワイオリジナル
ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ & ﾗｲﾄﾞ	:カワイオリジナル

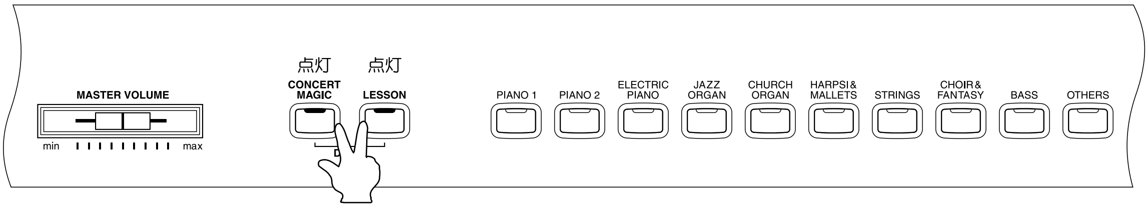
■OTHERS

	:ラプソディー第2番(アレンジ)/ブラームス
	:ピアノ協奏曲イ短調作品16/グリーグ

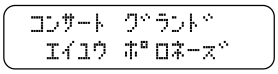
※一部の曲は原曲の構成とは異なります。

□ 操作１

CONCERT MAGIC（コンサートマジック）ボタンとLESSON（レッスン）ボタンを押します。



CONCERT MAGICボタンとLESSONボタンのランプが点灯し、音色ボタンが点滅します。そのまま何も操作しなければ、ピアノ１のデモ曲が演奏されます。
ピアノ１のデモ曲の演奏後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。
ディスプレイには、音色名と曲名（コンサートグランドのみ）が表示されます。



□ 操作２

操作１でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して曲を変更することができます。

押された音色ボタンのデモ曲を再生した後、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。
１つの音色ボタンに複数のデモ曲が内蔵されている場合、そのボタンを繰り返し押すことにより、次の曲を選ぶことができます。

□ 操作３

再度CONCERT MAGIC（コンサートマジック）ボタン又はLESSON（レッスン）ボタンを押せば、デモ曲の演奏は停止します。

■レコーダーのPLAY/STOPボタンを押しても停止します。

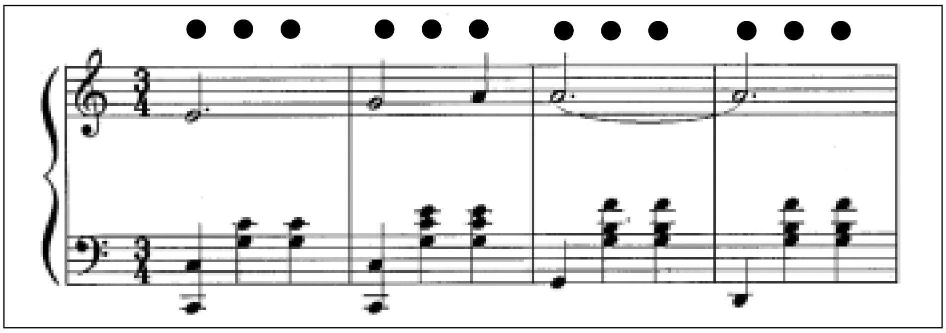
9）コンサートマジック

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。
PN4 にはコンサートマジック曲を 88 曲内蔵しており、次の 3 つのモードで演奏を楽しむことができます。

■マジカルタクト　モード

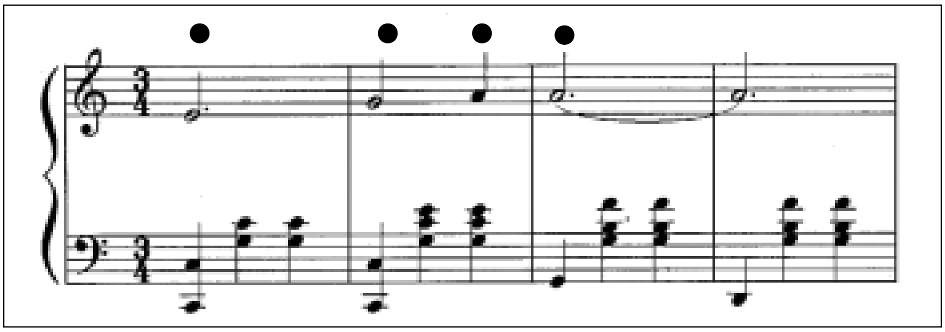
一定の間隔で鍵盤を弾くことで演奏を進めることができます。弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。
鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

鍵盤を弾くタイミング（曲：スケーターズ・ワルツ）



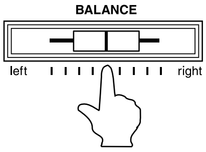
■マジカルメロディー　モード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。 弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。
鍵盤を弾くタイミングや強さでテンポや強弱の表現を変えることができます。

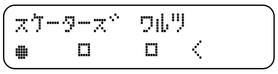


■マジカルメロディー＆キー　モード

メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって伴奏がついてきます。 弾いた鍵盤の音が出ますので正しい音を弾きましょう。
BALANCE スライダーを左に動かして自動演奏のメロディパートを消すことができます。



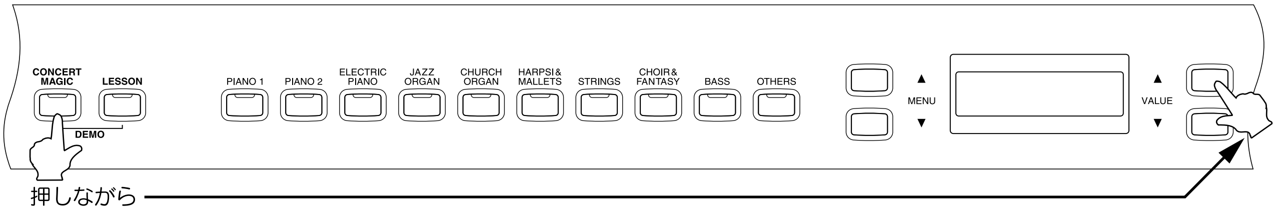
※ LCD ディスプレイの表示例



●は鍵盤を弾くタイミング
□は自動伴奏のタイミングです。
マジカルタクトモード中は、□は表示されません。

□ モードの入り方

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら VALUE ボタンを押すたびにモード名が画面に表示されます。選択するモード名を画面に表示させ CONCERT MAGIC ボタンから手を離します。

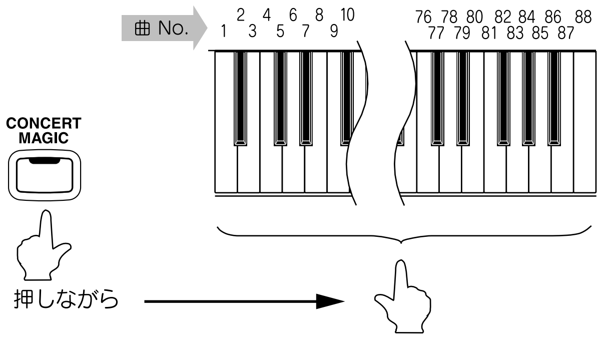


◇ コンサートマジック曲選択と演奏

ここでは、内蔵のコンサートマジック曲を選択します。

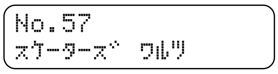
□ 操作 1

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら鍵盤を押します。



88曲のコンサートマジック曲は、各鍵盤に1曲ずつ割り当てられており、この鍵盤で曲を選択します。
(曲目は、24, 25ページを参照してください。)

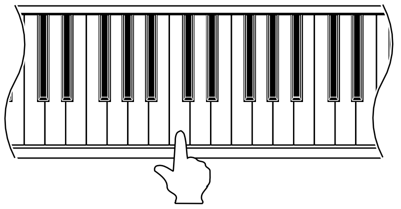
例えば、No.57 の鍵盤で「ｽｹｰﾀｰｽﾞ ﾜﾙﾂ」を選択した場合
ディスプレイには右のように表示されます。



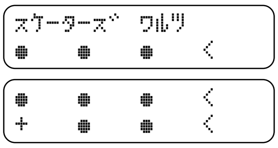
■現在入っているモードを確認する場合、コンサートマジックボタンを押し続けると画面にモード名が表示されます。
■ VALUE ボタンを押して曲目を変更することもできます。

□ 操作 2

ひとつの鍵盤を弾きます。

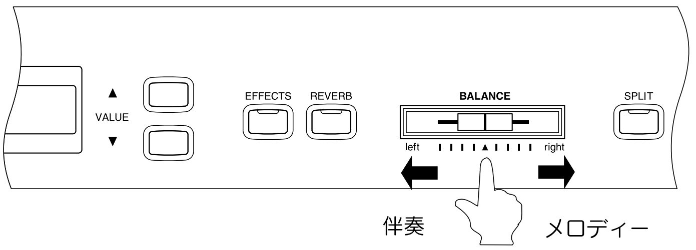


鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。
鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。
演奏を進めていくに伴って、ディスプレイの黒丸 (●) がプラス (+) 表示へと変わっていきますので、鍵盤を押すタイミングをつかんでください。



通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の２パートからできており、BALANCE スライダーで２パートの音量バランスを調整することができます。



□ 操作３

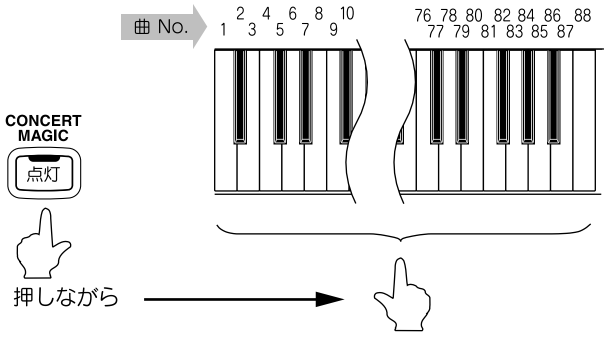
再度 CONCERT MAGIC ボタンを押してランプを消灯させれば、通常の演奏状態に戻ります。

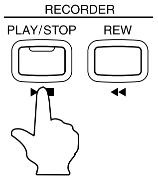
◇ コンサートマジック曲の再生

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。
どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

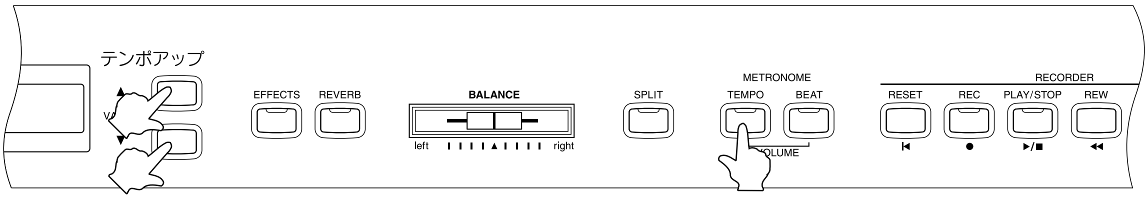
□ 操作１

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後、PLAY/STOP ボタンを押します。





選択されている曲を、もう一度 PLAY/STOP ボタンを押すまで、繰り返し再生し続けます。
TEMPO ボタン押しながら VALUE ボタンを押して曲のテンポを変更できます。



□操作２

もう一度 PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押せば、演奏は止まります。

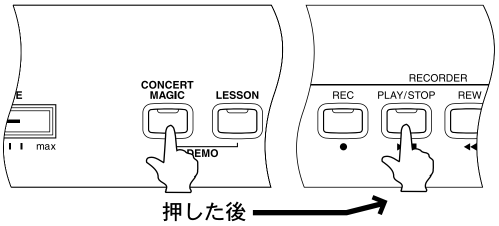
◇ その他の再生方法　（チェイン再生 / グループ再生 / ランダム再生）

■チェイン再生

CONCERT MAGIC（コンサート マジック）ボタンを押した後、鍵盤で曲選択をせずに PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。

１曲目から 88 曲目まで順番に繰り返し再生します。

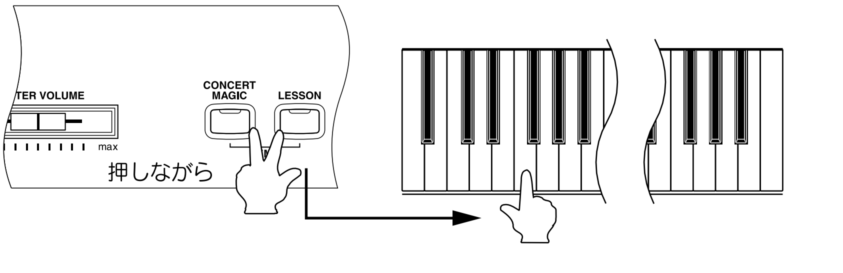
■ VALUE ボタン で曲を選んだ場合はその曲から 88 曲目までを順番に再生します。



■グループ再生

CONCERT MAGIC（コンサートマジック）ボタンと LESSON（レッスン）ボタンを押しながら鍵盤を押します。

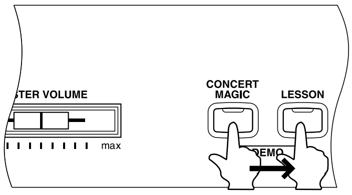
選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。
例えば、No.21 の「ドレミの歌」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.1 ～ No.27 のグループ「子供の曲」を繰り返し再生します。



■ランダム再生

CONCERT MAGIC（コンサート マジック）ボタンを押した後、LESSON（レッスン）ボタンを押します。

全コンサートマジック曲を対象に、順不同に曲の再生をし続けます。
但し、１曲目は「きらきら星」です。



※ PLAY/STOP ボタンを押せば、演奏は止まります。

◇ コンサートマジック曲目

【グループ】	【曲名】	【作曲者】
子供の曲（27曲）		
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	七つの子	本居長世
8	10人のインディアン	アメリカ民謡
9	さくらさくら	日本古謡
10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
11	ひらいたひらいた	わらべうた
12	かくれんぼ	下総皖一
13	虫のこえ	文部省唱歌
14	アイアイ	宇野誠一郎
15	うみ	井上武士
16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
17	かたつむり	文部省唱歌
18	春がきた	岡野貞一
19	もりのくまさん	アメリカ民謡
20	夕やけこやけ	草川信
21	ドレミの歌	O.ハマースタイン、R. ロジャース
22	北風こぞうの寒太郎	福田和禾子
23	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
24	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
25	パフ	P.ヤーロウ、L.リプトン
26	河はよんでいる	G.ベアール
27	こいぬのマーチ	外国曲
ディズニー／アニメ／スクリーン（13曲）		
28	狼なんか怖くない	F.チャーチル
29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
30	ハイホー	F.チャーチル
31	ビビディバビディブー	マークデビッド他２名
32	星に願いを	L.ハーライン
33	小さな世界	シャーマン兄弟
34	ミッキーマウスマーチ	J.ドッド
35	さんぽ	久石譲
36	エーデルワイス	O.ハマースタイン、R. ロジャース
37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟
38	虹の彼方に	H.アーレン
39	となりのトトロ	久石譲
40	サザエさん	筒美京平
アメリカのクラシック音楽（９曲）		
41	聖者の行進	アメリカ民謡
42	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
43	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
44	アルプス一万尺	アメリカ民謡
45	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
46	ケンタッキーの我が家	フォスター
47	故郷の人々	フォスター
48	草競馬	フォスター
49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡

【グループ】	【曲名】	【作曲者】
クラシック（31曲）		
50	喜びの歌	ベートーベン
51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
52	天国と地獄	オッフェンバック
53	新世界より家路	ドボルザーク
54	エンターティナー	ジョプリン
55	メヌエット　ト長調	バッハ
56	花のワルツ	チャイコフスキー
57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
58	美しく青きドナウ	ヨハン･シュトラウス
59	闘牛士の歌	ビゼー
60	ピチカート ポルカ	ヨハン･シュトラウス
61	ブラームスの子守歌	ブラームス
62	ワシントンポストマーチ	J.P.スーザ
63	アメリカン パトロール	ミーチャム
64	眠りの森の美女	チャイコフスキー
65	ガボット	ゴセック
66	軍隊行進曲	シューベルト
67	ジムノペディ　1番	サティ
68	前奏曲作品28-7	ショパン
69	皇帝円舞曲	ヨハン･シュトラウス
70	メープル リーフ ラグ	ジョプリン
71	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
72	びっくりシンフォニー	ハイドン
73	凱旋行進曲	ヴェルディ
74	エリーゼのために	ベートーベン
75	アヴェマリア	シューベルト
76	ハバネラ	ビゼー
77	ジプシーの歌	ビゼー
78	未完成交響曲	シューベルト
79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
80	婚礼の合唱	ワーグナー
クリスマスの曲（4曲）		
81	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
82	ジングルベル	ピアポント
83	もろ人こぞりて	讃美歌
84	きよしこの夜	グルーバー
世界の民謡（４曲）		
85	フニクリフニクラ	デンツァ
86	こぎつね	ドイツ民謡
87	アニーローリー	スコットランド民謡
88	サンタルチア	ナポリ民謡

別売コンサートマジック曲集のご案内

メロディー譜とピアノ譜が掲載されているコンサートマジック曲集をご用意致しました。
詳しくは、付属の「楽譜集のご案内」をご覧ください。

3. レッスン機能の使い方

PN4 はピアノの上達に役立つ練習曲を内蔵し､楽しみながら様々なレッスンをすることができます。

1. 練習曲機能　バイエル､チェルニーなどの練習曲を聴きながら右手､左手別々に練習することができます。
2. 指の体操機能　初めてのお子様が鍵盤に慣れるための「鍵盤導入曲」や､リズム感を養う「リズム練習機能」､指使いを練習する「ゆびのレーニング機能」を使って基礎的な練習ができます。お子様だけでなく、初心者の方も楽しく練習できます。
お子様が練習する場合には、別冊の「ゆびの体操ドレミ」をお読み下さい。

1）練習曲機能を使って

PN4 は、次の見本曲集を内蔵しています。

1. バイエルピアノ教則本 全曲（ただし予備練習、付録を除く）（カワイ出版）
2. ブルクミュラー 25 の練習曲全曲（カワイ出版）
3. チェルニー 100 番練習曲全曲（カワイ出版）
4. チェルニー 30 番練習曲全曲（カワイ出版）

■ブルクミュラーはペダルを使用した見本曲と使用しない見本曲の２種類を内蔵しています。

内蔵曲集から１曲を選んで次のような練習ができます。
1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習する。
3. 見本曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習する。
4. テンポを変更して練習する。
5. 曲の途中の部分を繰り返して練習する。
6. 見本曲の左手パートを再生しながら右手パートの演奏を録音して聴いてみる。
7. 見本曲の右手パートを再生しながら左手パートの演奏を録音して聴いてみる。

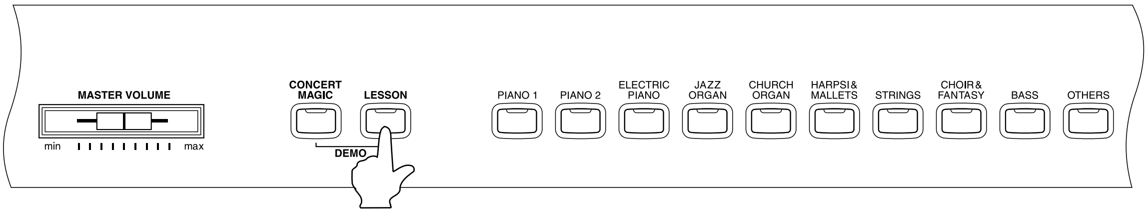
■これら練習曲のテンポは、お子様が無理なく練習できるように一部の曲を除いて遅くしてあります。
■設定されているテンポよりも遅くして再生した時、曲によってはテンポが下がらない場合があります。
■練習時にお子様の指に無理な負担をかけないように、チェルニーの一部の曲を除いて強打時（フォルテ）の音量を下げてあります。

なお、練習するための楽譜は上記出版社のものをご使用下さい。

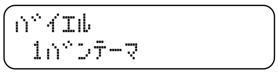
◇ 練習したい曲を選ぶ

□操作１

LESSON（レッスン）ボタンを押します。



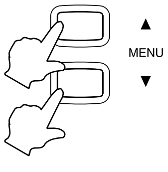
ディスプレイの１行目に曲集名、２行目に曲名が表示されます。



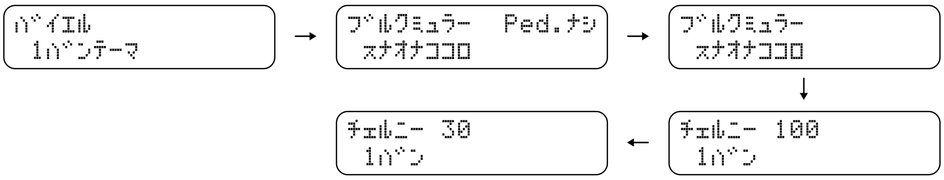
□操作２

MENU（メニュー）ボタン（▲▼）を数回押して練習したい曲集を選びます。

バイエル、ブルクミュラー、チェルニー100、チェルニー30の中から選びます。



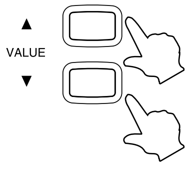
▲ボタンを押すと下記の曲集名がディスプレイに表示されます。



「Ped. ナシ」と表示された曲集では、楽譜でペダルが使われている曲の場合でもペダルがかからないようになっています。

□操作３

VALUE（バリュー）ボタンを押して練習したい曲名を選びます。

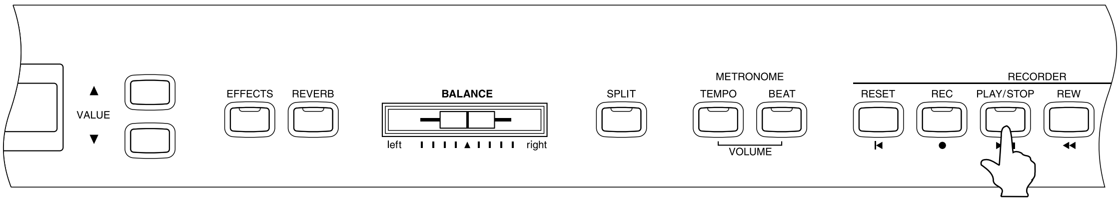


◇ 見本曲を聴く

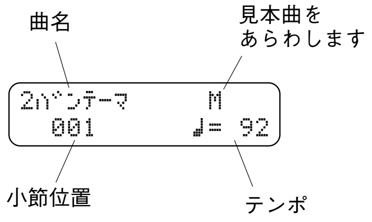
□操作１

レコーダー　プレイ/ストップ

RECORDER の PLAY/STOP ボタンを押します。



ディスプレイに現在の小節位置とテンポが表示されると同時にメトロノームが１小節鳴った後、見本曲が再生されます。



見本曲再生中もメトロノームが再生されますが、メトロノームを切りたい場合には METRONOME の TEMPO ボタンをオフにします。

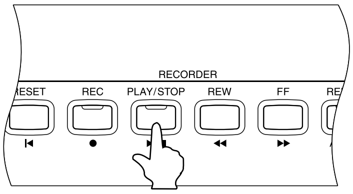
テンポを変更して聴きたい場合には VALUE ボタンを押します。▼で遅く、▲で速くなります。
変更した後､元のテンポに戻す場合には VALUE の▲と▼ボタンを同時に押します。

■ディスプレイ右上の M は再生内容をあらわします。自分の演奏を録音してあった場合（P.34 参照）には M+R と表示されますので、見本曲だけを再生する場合には 37 ページをご覧下さい。
■ 弱起の場合、最初の小節位置はゼロとなります。

□操作２

レコーダー　プレイ/ストップ

RECORDER の PLAY/STOP ボタンをもう一度押します。



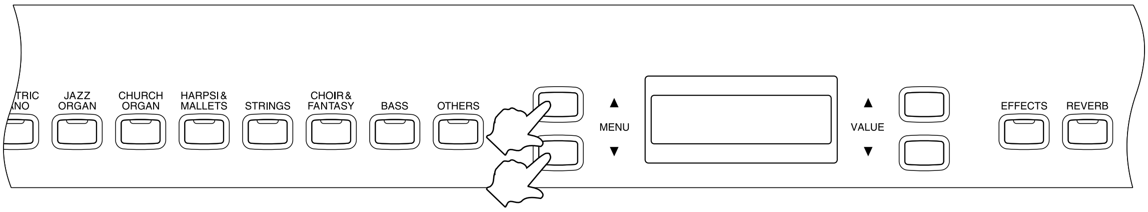
見本曲の再生が止まります。

もう一度 PLAY/STOP ボタンを押すと、１小節メトロノームが鳴った後、止めた小節の最初から再生が始まります。
最初から再生したい場合には PLAY/STOP ボタンを押して演奏を止めてから RESET ボタンを押します。

◇ 見本曲の途中から再生する

□操作１

MENU（メニュー）ボタン（▲▼）を押します。

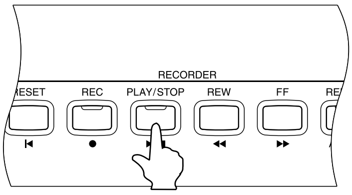


▲を一回押すと１小節進みます。▼を一回押すと1小節戻ります。押しつづけると早く進み（戻り）ます。
再生中でも操作可能です。

■ FF ボタン、REW ボタンでも操作が可能です。

□操作２

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



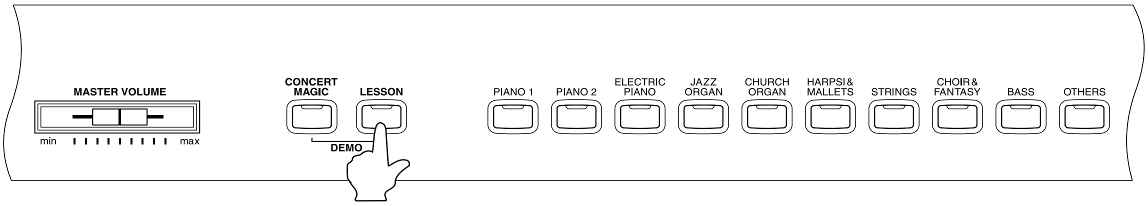
１小節メトロノームが鳴った後、指定した小節から再生が始まります。

◇ 曲を変更する

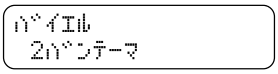
別の曲を練習したい場合には下記の操作を行います。

□操作１

再生が止まっている状態で、LESSON（レッスン）ボタンを押します。

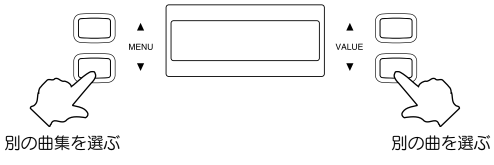


ディスプレイが曲選択画面に戻ります。



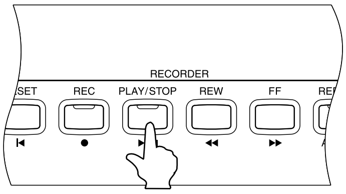
□操作２

同じ曲集で別の曲を選びたい場合は、VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。
別の曲集に変えたい場合は、MENUボタン（▲▼）で曲集を選んでから、VALUEボタン（▲▼）で曲を選びます。



□操作３

RECORDER（レコーダー）の PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。

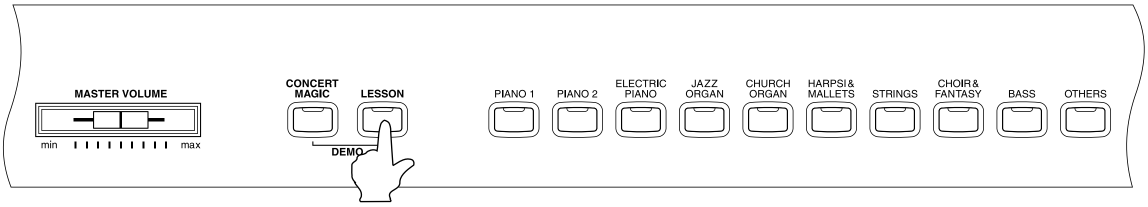


ディスプレイに現在の小節位置とテンポが表示されると同時にメトロノームが１小節鳴った後、選んだ見本曲が再生されます。

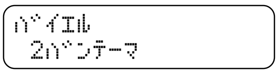
◇ レッスン機能を終了する

□操作１

LESSON（レッスン）ボタンを押します。

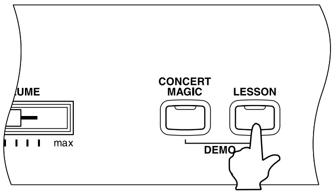


ディスプレイが曲選択画面に戻ります。



□操作２

もう一度 LESSON（レッスン）ボタンを押します。



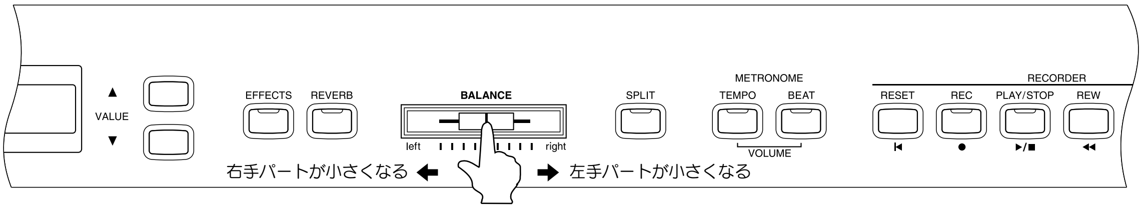
LESSON ボタンが消灯し、通常の状態に戻ります。

◇見本曲の片方のパートを再生しながら、もう片方のパートを練習する

見本曲の片方のパートだけを再生することを「マイナスワン再生」といい、片方のパートを再生させながらもう片方のパートを練習することを「マイナスワン練習」といいます。

□操作１

見本曲を選んだ後、BALANCE（バランス）スライダーを右、あるいは左に動かします。



■見本曲の左手パートを再生しながら右手パートを練習したい場合
スライダーを左に動かします。左に動かすと見本曲の右手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
左端にすると右手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

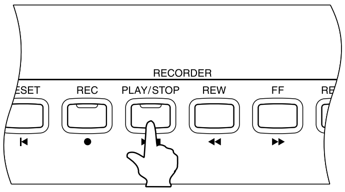
■見本曲の右手パートを再生しながら左手パートを練習したい場合
スライダーを右に動かします。右に動かすと見本曲の左手パートが小さくなり、ガイドメロディとなります。
右端にすると左手パートは聴こえなくなり、ガイドメロディなしで練習できます。

■自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、見本曲の再生を小さくするか、消して下さい。

■バイエルの中で先生の伴奏がついている曲の場合には、スライダーを左にすると生徒のパートが小さくなり、右にすると先生のパートが小さくなります。

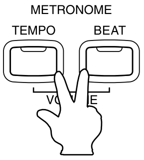
□操作２

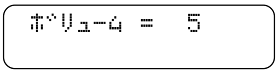
RECORDER（レコーダー）のPLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



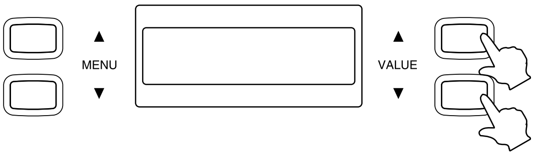
メトロノームが１小節鳴った後、セットしたスライダーの状態で見本曲の再生が始まりますので、見本曲に合わせて片方のパートを演奏して練習します。

メトロノームの音量はTEMPOとBEATを両方押すとディスプレイに数値が表示されますので、VALUEボタンで調節します。メトロノームを切りたい場合にはMETRONOMEのTEMPOボタンをオフにします。

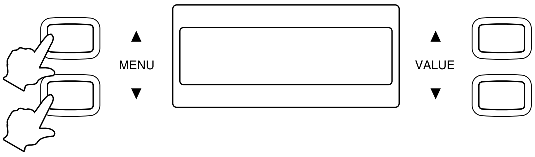




遅いテンポで練習したい場合には、VALUEボタンの▼を押します。▲を押すと速くなります。
元のテンポに戻す場合にはVALUEの▲と▼ボタンを同時に押します。



曲の途中から練習したい時は、MENU ボタン（▲▼）を押して小節を選びます。
FF ボタン、REW ボタンでも選べます。

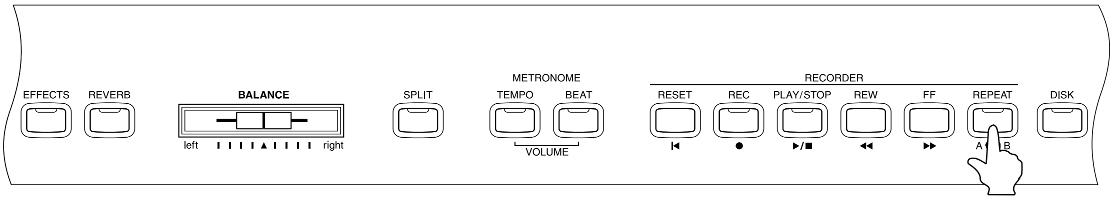


◇ 見本曲の途中を繰り返して練習する

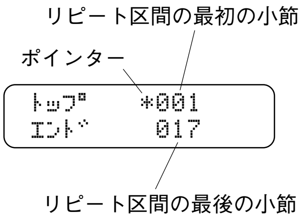
見本曲の中の小節位置を２種類指定してその区間を繰り返し再生したり（リピート再生）、繰り返してマイナスワン練習をすることができます。

□操作１

REPEAT（リピート）ボタンを押したままにします。

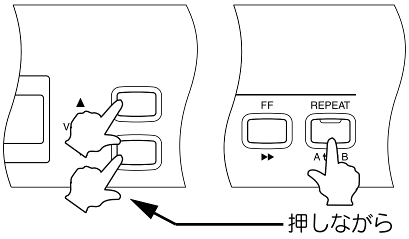


ボタンが点灯し、ディスプレイが右図のようにリピートする２つの小節を指定する画面に変わります。
ポインター（＊）は現在どちらの小節位置を設定するかをあらわしています。



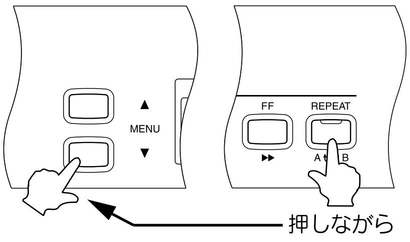
□操作２

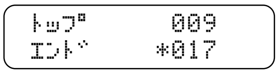
REPEAT（リピート）ボタンから指を離さずに、VALUE（バリュー）ボタンを押してリピートの最初の小節を指定します。



□操作３

REPEAT（リピート）ボタンから指を離さずに、MENU（メニュー）ボタンの▼を押します。

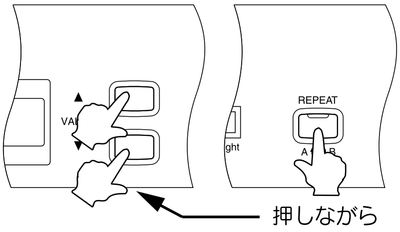


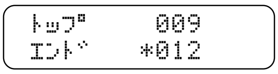


ポインター（＊）が移動し、リピートの最後の小節を指定できるようになります。
もう一度開始小節を設定する場合は MENU ボタンの▲を押します。

□操作４

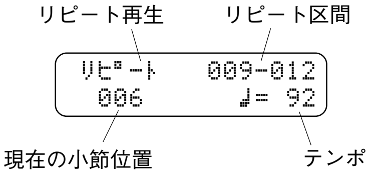
REPEAT（リピート）ボタンから指を離さずに、VALUE（バリュー）ボタンを押してリピートの最後の小節を指定します。





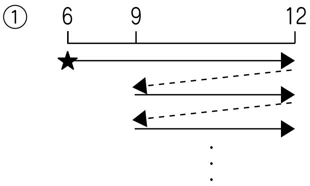
□操作５

REPEAT（リピート）ボタンから指を離します。

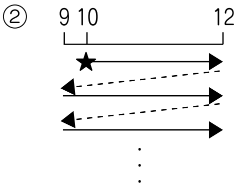


ディスプレイの表示が右図のように変わります。
1小節メトロノームが鳴った後、現在の小節位置によって、
次のようにリピート再生が始まります。

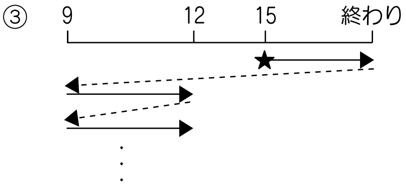
リピート区間がこの例のように9小節-12小節の場合
①小節位置がリピート区間の最初の小節よりも前にある時
例：小節位置＝6（右図①）
6小節目から再生が始まり、12小節まで再生すると
9小節に戻り、以降は9-12小節をリピートします。



②小節位置がリピート区間内にある時
例：小節位置＝10（右図②）
10小節目から再生が始まり、12小節まで再生すると
9小節に戻り、以降は9-12小節をリピートします。



③小節位置がリピート区間の最後の小節よりも後ろにある時
例：小節位置＝15（右図③）
15小節目から再生が始まり、曲の最後まで再生すると
9小節に戻り、以降は9-12小節をリピートします。



指定した区間を繰り返してマイナスワン練習をしたい場合はBALANCEスライダーを動かします。
（P.31参照）

リピート再生をやめる場合にはREPEATボタンをオフにします。
再生をやめる場合はPLAY/STOPボタンを押します。

■リピートの最初の小節を最後の小節より大きくすることはできません。最初の小節を最後の小節より大きな数字を選ぶと最後の小節も同じ数字に設定されます。また、最後の小節を最初の小節より小さな数字を選ぶと最初の小節も同じ数字に設定されます。

■リピート再生においてもMENUボタンを押して、小節を進めたり戻したりすることができます。（P.29参照）

ここで設定したリピート区間（最初の小節と最後の小節）は、別の曲を選ぶか、練習曲モードから出るまでは本体に記憶されています。
リピート再生を止めた後でも､REPEATボタンをオンにして再生すれば記憶した区間のリピート再生が始まります。

◇ 見本曲に合わせて録音する

見本曲をマイナスワン再生しながら片方のパートの自分の演奏を録音した後､それを聞いて自分でチェックすることができます。
全部で３回分の録音（3 テイク）が可能です。

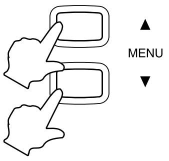
■リピート再生モードでは録音できません。

□操作１

プレイ/ストップ
曲を選んだ後、PLAY/STOP ボタンを押して再生させた後、曲を止めます。

□操作２

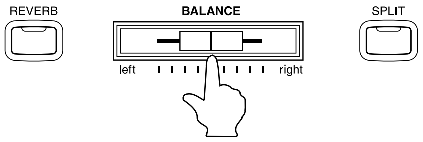
メニュー
MENU ボタン（▲▼）を押して録音したい小節位置まで進めます。



FF ボタン、REW ボタンでも進めることができます。

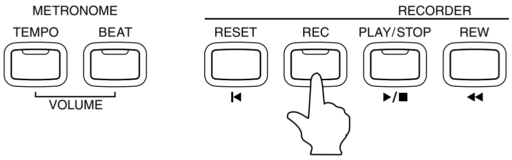
□操作３

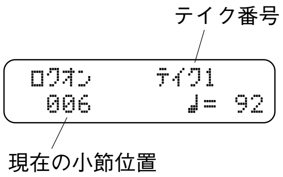
バランス
BALANCE スライダーを右、あるいは左に動かして録音したいパートの見本曲の再生音量を調節します。



□操作４

レコーダー　レック
RECORDER の REC ボタンを押します。

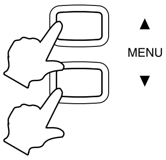




REC ボタンが点滅し、ディスプレイが上図のように録音画面に変わります。

□操作５

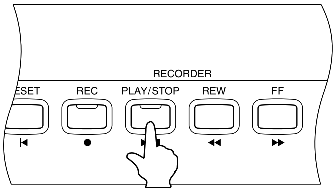
MENU（メニュー）ボタン（▲▼）で録音するテイクを選びます。



テイク１～テイク３まで選ぶことができます。

□操作６

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。

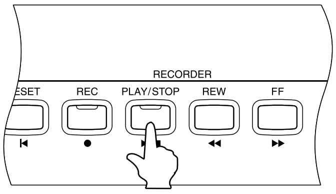


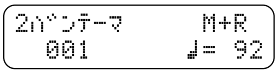
RECボタン、PLAY/STOPボタンが点灯し、１小節メトロノームが鳴った後、見本曲が再生されると同時に録音が開始されますので、見本曲に合わせて演奏します。

■選んだテイクにすでに録音していた場合はその内容は消去されます。

□操作７

演奏が終わったらPLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。





RECボタン、PLAY/STOPボタンが消灯し、録音が終了します。
ディスプレイが右の再生画面に自動的に切り替わります。

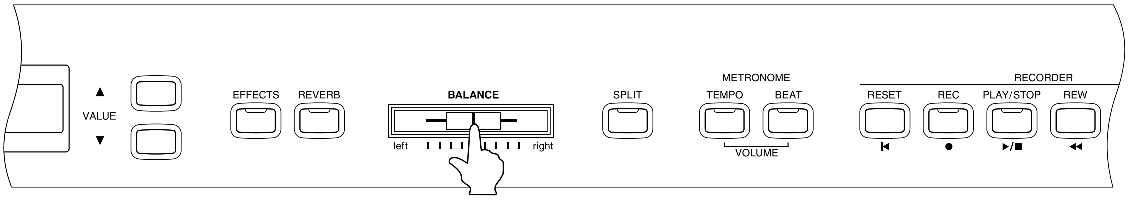
■曲の最後まで行くと自動的に録音が終了します。
■録音したテイクの内容は曲を変更すると自動的に消去されます。

◇ 録音したテイクを再生する

録音したテイクを見本曲と合わせて聴いてみて自分の演奏をチェックします。
テイク１～３を選んで聴くことができます。

□操作１

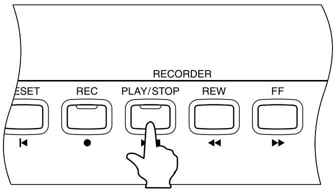
BALANCE（バランス）スライダーを動かして見本曲を再生したいパートだけにします。

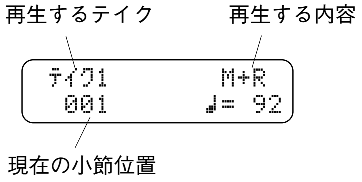


■スライダーを動かしても録音したテイクの音量は変わりません。

□操作２

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押したままにします。

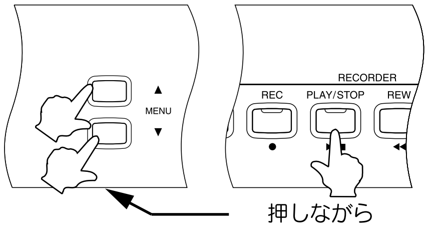




ディスプレイの表示が右図のように変わります。

□操作３

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押したまま、MENU（メニュー）ボタン（▲▼）で再生したいテイクを１～３から選びます。



□操作４

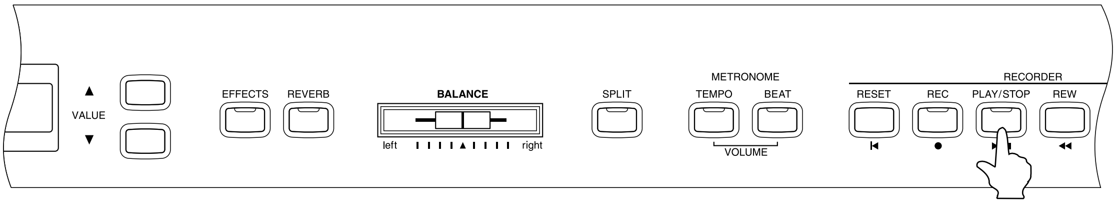
PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンから指を離します。

メトロノームが１小節鳴った後、見本曲の片方のパートと録音したテイクの再生が始まります。

★見本曲だけを再生する場合は下記の操作を行います。

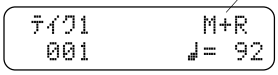
□操作１

プレイ/ストップ
PLAY/STOP ボタンを押したままにします。



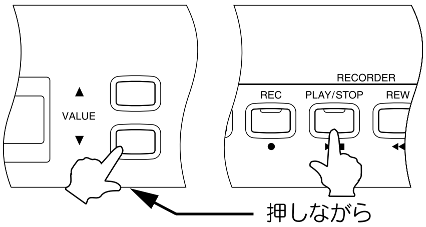
ディスプレイの表示が右図のように変わります。

再生する内容



□操作２

プレイ/ストップ
PLAY/STOP ボタンを押したまま、VALUE ボタンの▼を押して再生内容の表示を M にします。



■Ｒにすると録音したテイクのみの再生となります。

□操作３

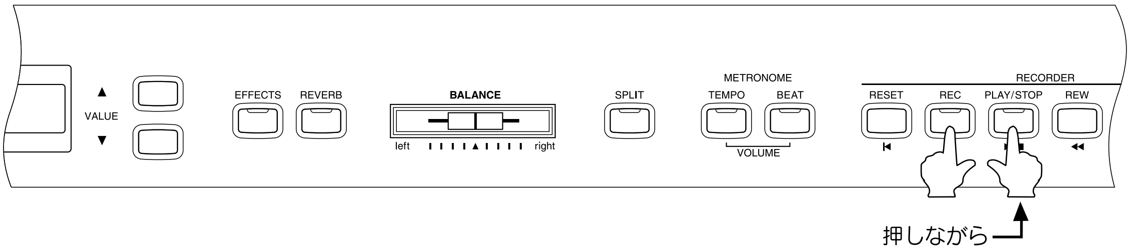
プレイ/ストップ
PLAY/STOP ボタンから指を離します。

メトロノームが１小節鳴った後、見本曲だけの再生が始まります。

◇ 録音したテイクを消去する

□操作１

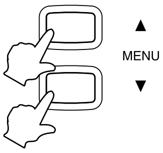
REC（レック）ボタンを押しながらPLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



これら２つのボタンが点滅し、ディスプレイの表示が右図のようになります。

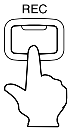
□操作２

MENU（メニュー）ボタン（▲▼）を押して消去したいテイクを選びます。



□操作３

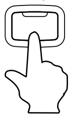
REC（レック）ボタンを押します。

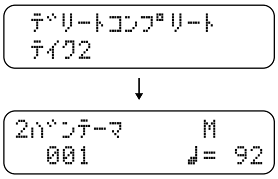


ディスプレイの表示が右図のように変わります。

□操作４

消去して良ければもう一度REC（レック）ボタンを押します。





右図の画面が約２秒間表示され、再生画面に戻ります。
RECORDボタン、PLAY/STOPボタンは消灯します。

2）指の体操機能を使って

指の体操機能では次の事が練習できます。

1. カワイ音楽教育システムピアノ教材を使って鍵盤に慣れる練習（鍵盤で遊ぼう）
2. リズム感を養うリズム練習
3. スケールを用いて指の訓練を行う指のトレーニング

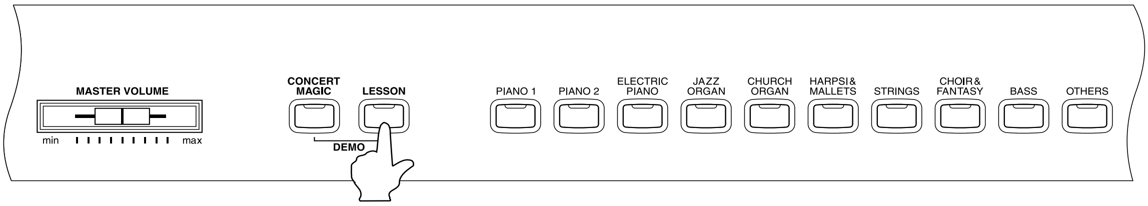
これらの機能を使って練習する際には付属の楽譜をご使用下さい。
また、お子様には別冊の説明書「ゆびの体操ドレミ」をご使用下さい。

◇ 練習タイプの選び方

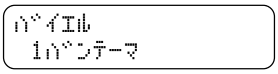
鍵盤で遊ぼう、リズム練習、指のトレーニングを選ぶには次の操作を行います。

□操作１

LESSON（レッスン）ボタンを押します。

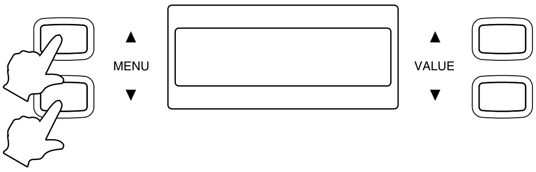


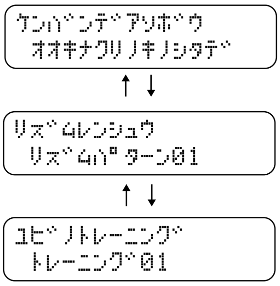
ディスプレイに練習曲が表示されます。



□操作２

MENU（メニュー）ボタンの（▲▼）を数回押して「鍵盤で遊ぼう」、「リズム練習」、「指のトレーニング」を選びます。





ディスプレイに練習タイプを選ぶ画面が出ます。

■ある練習タイプで練習した後他の練習タイプに移るには、LESSON ボタンを１回押して　練習タイプを選ぶ画面に戻してから MENU ボタンを押します。

◇ 鍵盤に慣れる練習

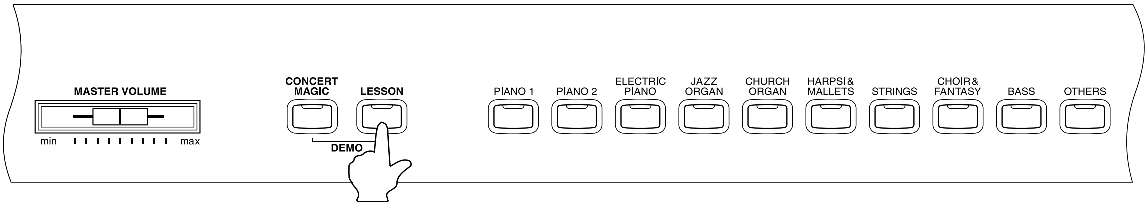
内蔵している２曲から１曲を選び､見本曲を聴きながら自分のパートを弾きます。
見本曲の進行を示すガイドがディスプレイに表示され、自分のパートを弾くタイミングを教えてくれます。

◆ 曲を選んで聴いてみる

付属の楽譜「ゆびの体操ドレミ楽譜集」を用意しましょう。
楽譜と見本曲をよく比べて自分の弾くパートの音とタイミングをつかみましょう。

□操作１

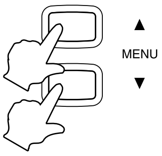
LESSON（レッスン）ボタンを押します。

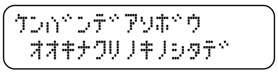


ディスプレイに練習曲が表示されます。

□操作２

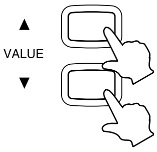
MENU（メニュー）ボタン（▲▼）を数回押して鍵盤で遊ぼうを選びます。





□操作２

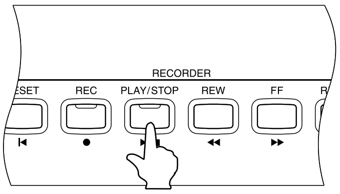
VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押して曲を選びます。



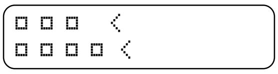
「大きなくりの木の下で」､「たこたこあがれ」､ のどちらかを選びます。

□操作３

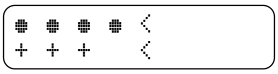
PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



１小節目



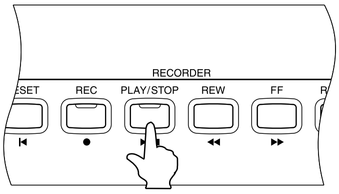
７小節目



ボタンが点灯し、メトロノームが１小節鳴った後、 選んだ曲の再生が始まります。
ディスプレイにガイドが表示され、音符が演奏されると＋に変わります。
□は伴奏パート、●は自分で弾くパートです。
見本曲再生中もメトロノームが再生されますが、メトロノームを切りたい場合にはMETRONOMEのTEMPOボタンをオフにします。

□操作４

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



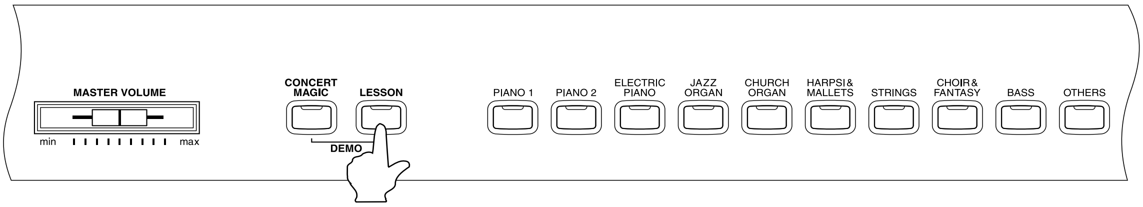
選んだ曲の再生が止まり、曲の最初に戻ります。
曲の最後まで再生した場合は自動的に止まり、曲の最初に戻ります。

■ BALANCE スライダーを動かせば、伴奏と自分のパートを別々に聴く事ができます。
■テンポを変えたい場合には VALUE ボタン（▲▼）を押します。
元のテンポに戻したい時には▲と▼を同時に押します。

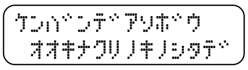
◆ 見本曲を変更する

□操作１

曲の再生を止めてからLESSON（レッスン）ボタンを押します。

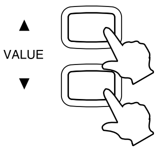


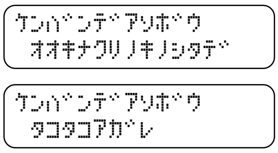
ディスプレイが練習タイプを選ぶ画面に移ります。



□操作２

VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押して曲を選びます。



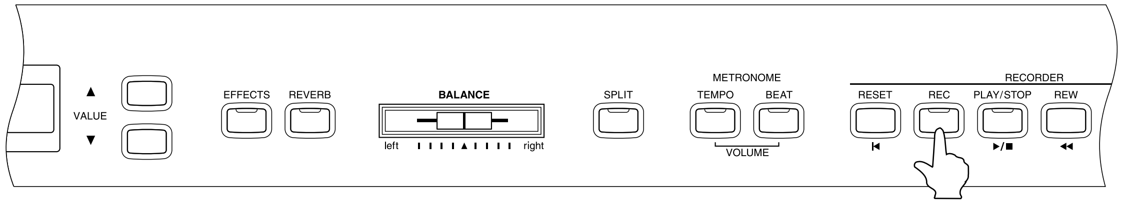


◆ 見本曲に合わせて練習する

ディスプレイのガイドを見ながら見本曲に合わせて自分のパートを弾いて練習しましょう。
弾けるようになったらガイドを見ずに楽譜を見て弾きましょう。

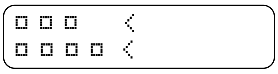
□操作１

曲を選んで、REC（レック）ボタンを押します。



REC ボタンと PLAY/STOP ボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後、見本曲の再生が始まります。
ディスプレイのガイドが曲に合わせて進みます。

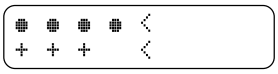
1小節目



■自分の演奏が録音されるわけではありません。

□操作２

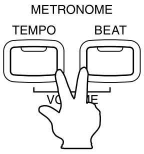
ディスプレイのガイドが●のところまで進んだら、自分のパートを弾きます。

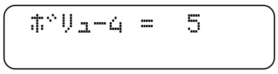


正しいリズムで弾けると●が＋に変わります。
最初はBALANCEスライダーを使って自分のパートの見本を聴きながら演奏し、最後には自分のパートの見本を消して演奏してみましょう。

■どこの鍵盤を弾いても正しいリズムで弾けると●が＋に変わります。 正しい音で弾くことよりもまず鍵盤に慣れる練習をするためです。
■自分のパートの見本を再生しながら合わせて演奏した場合、弾く音程やタイミングによっては音質が変化することがありますが、これは故障ではありません。気になる場合は、見本曲の再生を小さくするか、消して下さい。

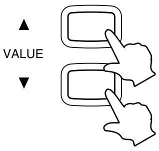
メトロノームの音量はTEMPOとBEATを両方押すとディスプレイに数値が表示されますので、VALUEボタンで調節します。





メトロノームを切りたい場合には METRONOME の TEMPO ボタンをオフにします。

テンポを変えたい場合にはVALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。元のテンポに戻したい時には▲と▼を同時に押します。



◇ リズムの練習

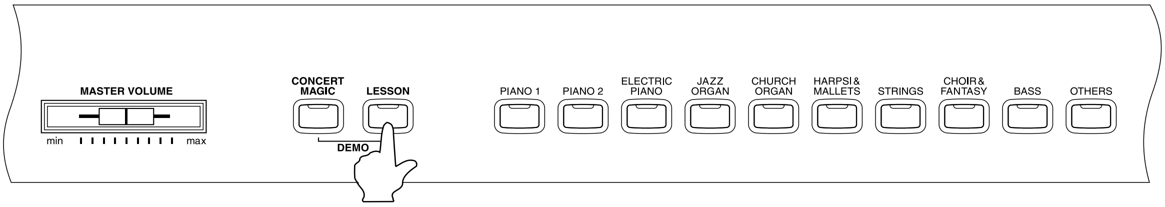
内蔵している30のリズムパターン例からひとつずつ選んで練習します。
リズムの進行を示すガイドがディスプレイに表示され、正しく叩けたかどうかディスプレイでチェックすることができます。

◆ 見本パターンを選んで聴いてみる

付属の楽譜「ゆびの体操ドレミ楽譜集」を用意しましょう。
楽譜と見本曲をよく比べて叩くタイミングをつかみましょう。

□操作１

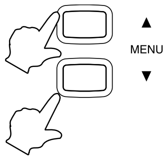
LESSON（レッスン）ボタンを押します。

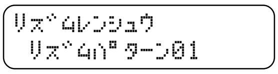


ディスプレイに練習曲が表示されます。

□操作２

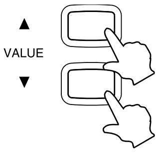
MENU（メニュー）ボタンの（▲▼）を数回押してリズム練習を選びます。





□操作３

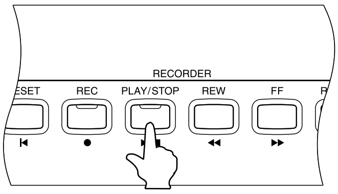
VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押してリズムパターンを選びます。

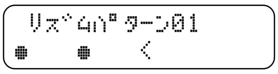


全部で 30 種類のリズムパターンが内蔵されています。

□操作４

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。





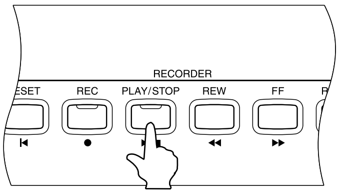
ボタンが点灯しメトロノームが１小節鳴った後、選んだリズムが「タン、タン」という声で繰り返して再生されます。

ディスプレイにガイドが表示され、音符が演奏されると●が＋に変わります。

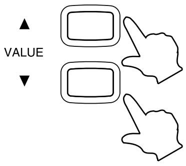
メトロノームを切りたい場合には METRONOME の TEMPO ボタンをオフにします。

□操作５

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



選んだリズムの再生が止まり、最初に戻ります。



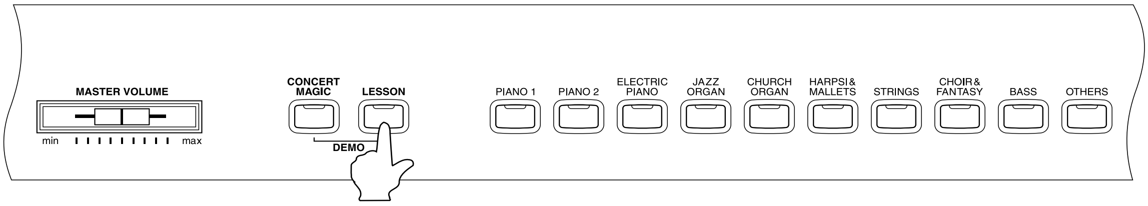
■テンポを変えたい場合には VALUE（バリュー） ボタン（▲▼）を押します。
元のテンポに戻したい時には▲と▼を同時に押します。

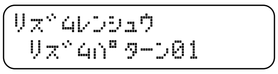
◆ リズムパターンを変更する

ひとつのリズムを演奏させた後、別のリズムに変更するには次の操作を行います。

□操作１

リズムの再生を止めて LESSON（レッスン）ボタンを押します。

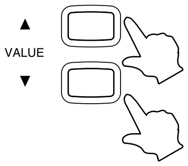




リズムパターンを選ぶ画面に移ります。

□操作２

VALUEボタン（▲▼）を押してリズムを選びます。

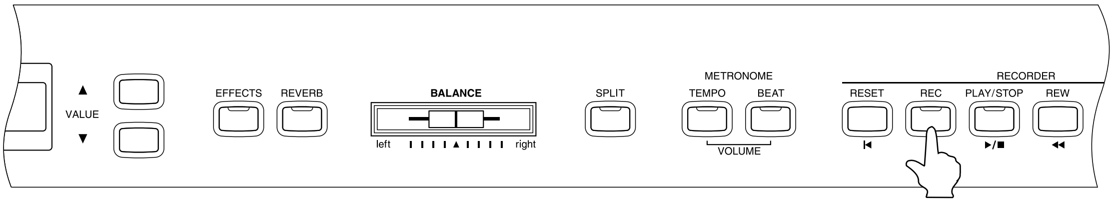


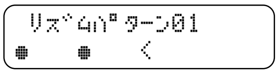
◆ 見本パターンに合わせて練習する

ディスプレイのガイドを見ながら見本パターンに合わせて鍵盤を叩いて練習しましょう。
弾けるようになったらガイドを見ずに楽譜を見て叩きましょう。

□操作１

曲を選んで、RECボタンを押します。

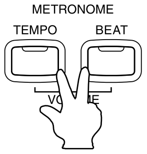


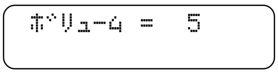


RECボタンとPLAY/STOPボタンが点灯し、メトロノームが1小節鳴った後見本パターンが繰り返して再生されます。見本パターンの音符が再生されるとガイドの●が＋に変わります。

■自分の演奏が録音されるわけではありません。

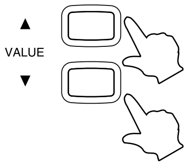
メトロノームの音量はTEMPOとBEATを両方押すとディスプレイに数値が表示されますので、VALUEボタンで調節します。





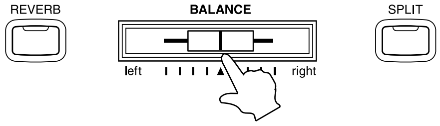
メトロノームを切りたい場合にはMETRONOMEのTEMPOボタンをオフにします。

テンポを変えたい場合にはVALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。元のテンポに戻したい時には▲と▼を同時に押します。



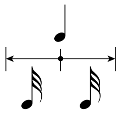
□操作２

ディスプレイのガイドを見ながら鍵盤のひとつを弾きます。



どこの音でも構いません。
最初はBALANCEスライダーを使って、見本パターンの声を聴きながら演奏し､最後にはスライダーを左端にして見本パターンを消して演奏してみましょう。
1小節正しく弾けるとディスプレイ右上に＊が表示されます。3小節連続で正しく弾けると「ヨクデキマシタ！！」と表示がでます。

■叩くタイミングが右図のように音符の前後32分音符の範囲であれば「正しく演奏された」と判断します。



◇ 指のトレーニング

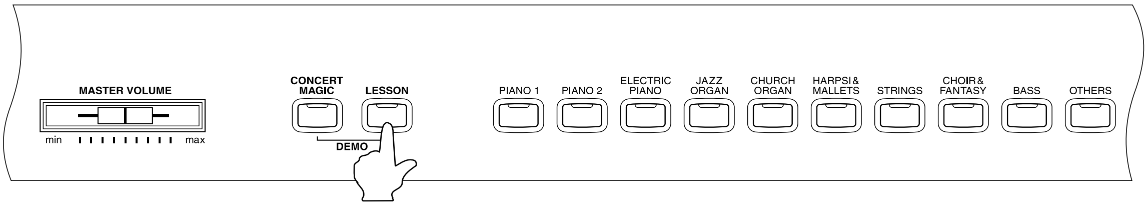
内蔵している12曲の指のトレーニング曲からひとつ選んで練習します。
再生すると見本曲の進行を示すガイドがディスプレイに表示され、弾くタイミングを教えてくれます。
曲の再生が終了したら、
　リズムの傾向
　リズムのばらつき
　大きなずれ／音抜け
　ミスタッチ
　タッチのばらつき
についての評価がディスプレイに表示されますので、自分の練習のチェックに役立ちます。

◆ 見本曲を選んで聴いてみる

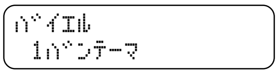
付属の楽譜「ゆびの体操ドレミ楽譜集」を用意しましょう。
楽譜と見本曲を良く比べて曲の感じをつかみましょう。

□操作１

LESSON（レッスン）ボタンを押します。

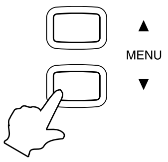


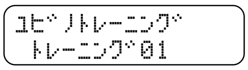
ディスプレイに練習曲が表示されます。



□操作２

MENU（メニュー）ボタンの（▲▼）を数回押して指のトレーニングを選びます。

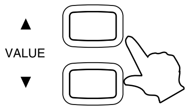




ディスプレイに練習タイプを選ぶ画面が出ます。

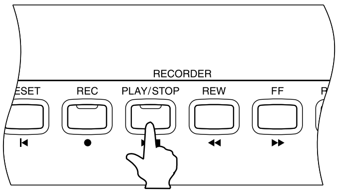
□操作３

VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押して曲を選びます。



□操作４

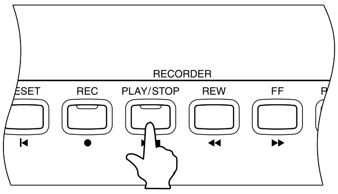
PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



ボタンが点灯し、メトロノームが１小節鳴った後、選んだ曲が再生されます。
ディスプレイにガイドが表示され、音符が演奏されると●が＋に変わります。

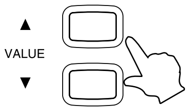
□操作５

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



曲の再生が止まり、最初に戻ります。

■テンポを変えたい場合にはVALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。
元のテンポに戻したい時には▲と▼を同時に押します。

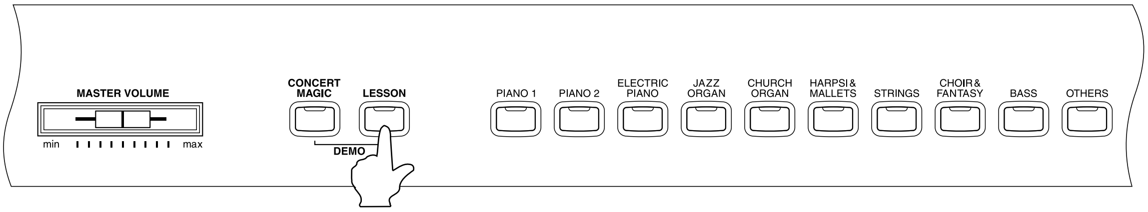


◆ 曲を変更する

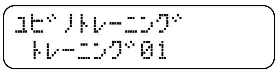
ひとつの曲を演奏した後、別の曲に変更するには次の操作を行います。

□操作１

曲の再生を止めてLESSON（レッスン）ボタンを押します。

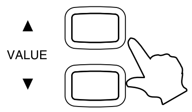


指のトレーニング曲を選ぶ画面に戻ります。



□操作２

VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押して曲を選びます。

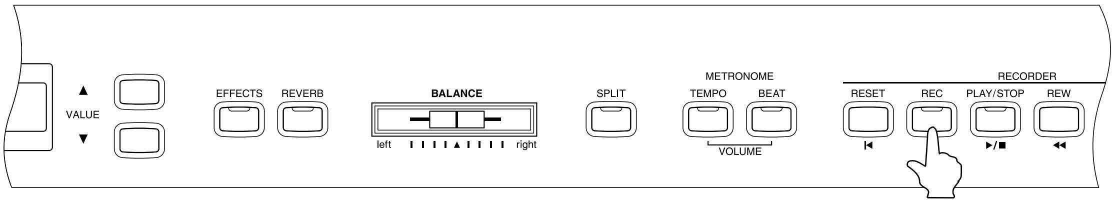


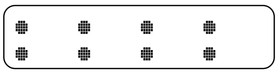
◆ 見本曲に合わせて練習する

ディスプレイのガイドを見ながら見本曲に合わせて弾いて練習しましょう。
弾けるようになったらガイドを見ずに楽譜を見て弾きましょう。

□操作１

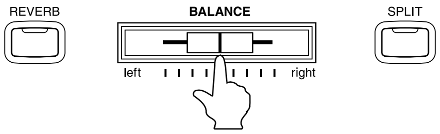
曲を選んで、REC（レック）ボタンを押します。



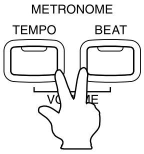


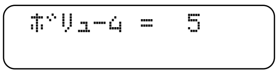
REC、PLAY/STOPボタンが点灯し、メトロノームが１小節鳴った後、見本曲の再生が始まります。見本曲の音符が演奏されるとガイドの●が＋に変わります。

見本曲の音量をBALANCEスライダーを動かして調節しましょう。左に動かすと小さくなります。

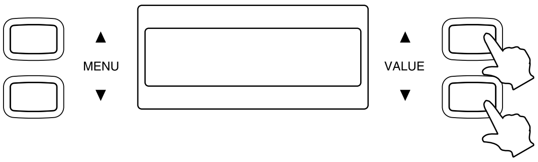


メトロノームの音量はTEMPOとBEATを両方押すとディスプレイに数値が表示されますので、VALUEボタンで調節します。





メトロノームを切りたい場合にはMETRONOMEのTEMPOボタンをオフにします。
テンポを変えたい場合にはVALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。
元のテンポに戻したい時には▲と▼を同時に押します。



□操作２

見本曲に合わせて演奏します。

見本曲の再生が終了すると自分の演奏結果に対して次の項目の評価結果がディスプレイに表示されます。
VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）で項目を切り換えられます。

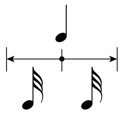
リズムの傾向　：全体的に早めのタイミングで演奏されたのか遅めのタイミングで演奏されたのか
リズムのばらつき　：一定のリズムで弾けなかった音符がどの程度あるか
大きなずれ／音抜け：タイミングが大きくずれた音符や弾かなかった音符がどの程度あるか
ミスタッチ　：音の間違いがどの程度あるか
タッチのばらつき　：タッチの強さがどの程度そろっているか

それぞれの評価項目について、次の評価結果が表示されます。

リズムの傾向　：　パーフェクト！（ハープの音が演奏されます。）
リズムニノレテイルヨ
スコシハシッテイルヨまたはスコシオクレテイルヨ！
ハシッテイルヨまたはオクレテイルヨ！
リズムのばらつき：　スバラシイ！（ハープの音が演奏されます。）
セイカクニヒケテイルヨ
スコシムラガアルヨ
ムラガアルヨ
大きなずれ／音抜け：全ての音符の数のうちでタイミングが大きくずれた音符や弾かなかった音符の数
ミスタッチ　：全ての音符の数のうちで音を間違えた音符の数
タッチのばらつき　：シッカリトヒケテイマス
ソロエテヒキマショウ

■評価にあたっては、

1. 弾かれた音符のタイミングが、弾くべき音符のタイミングの前後32分音符の範囲に入っている音のみが評価の対象となり、その範囲からはずれて弾いた音については下記の「大きなずれ／音抜け」の項目のみで評価対象となります。
2. 弾くべき音符のタイミングの前後32分音符の範囲に入っていた音が全音符数の1/4を超えないと「ハンテイフノウ」と表示されます。
また、1/4を超えると途中で再生を止めても評価が行われます。



■これらの評価はあくまで目安としてお考え下さい。

LESSONボタンを押すと、ゆびのトレーニング画面に戻ります。

4. レコーダーの使い方

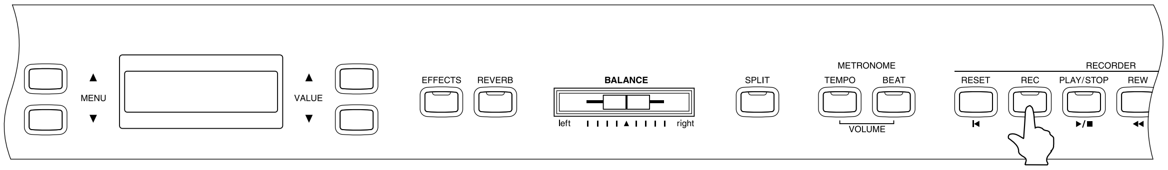
1）録音

PN4 では、レコーダー機能を使って自分の演奏を３曲（3 ソング）まで録音して再生することができます。
それぞれの曲（ソング）は、２つのパートから構成されています。
①１つのパートを使って両手の録音、再生をすることができます。
②2 つのパートを使えば、右手と左手をそれぞれのパートに別々に録音した後、別々に再生して片手ずつの練習に役立てることができます。両方のパートを合わせて再生することもできます。

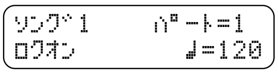
◇ 録音するソングとパートの選択

□操作１

REC（レック）ボタンを押します。

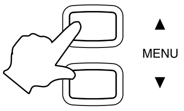


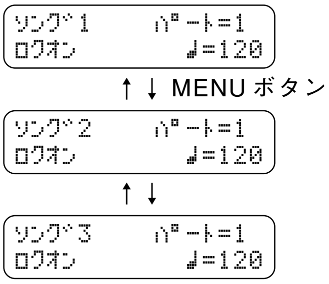
ディスプレイにソングとパートが表示されます。
REC ボタンが点滅します。



□操作２

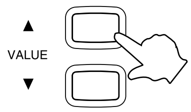
MENU（メニュー）ボタンを押して録音したいソングを設定します。





□操作３

VALUE（バリュー）ボタンを押して録音したいパートを設定します。




```
ｿﾝｸﾞ1     ﾊﾟｰﾄ=1
ﾛｸｵﾝ        ♩=120
```

↑ ↓ VALUE ボタン

```
ｿﾝｸﾞ1     ﾊﾟｰﾄ=2
ﾛｸｵﾝ        ♩=120
```

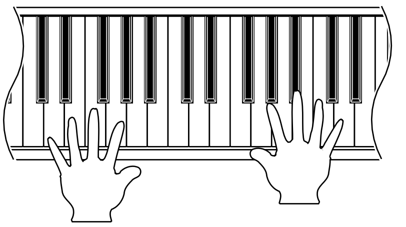
既に録音されているパートには、1行目右に＊マークが付いています。

```
ｿﾝｸﾞ1     ﾊﾟｰﾄ=1*
ﾛｸｵﾝ        ♩=120
```

このパートに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。

□操作４

鍵盤を弾いて録音をスタートします。



鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。
このとき、REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが点灯します。

PLAY/STOP ボタンを押しても録音を開始できます。
録音中の音色変更も記憶されます。

□操作５

演奏が終わったら PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押して録音を終了します。

PLAY/STOP ボタンと REC ボタンが消灯し録音が停止します。
ディスプレイは、録音停止を表示した後、自動的に再生待機状態の表示になります。

```
                    ｿﾝｸﾞ1     ﾊﾟｰﾄ=1*
   ｼﾞｯｺｳﾁｭｳ    →   Bar=   1-1 ♩=120
```

■レコーダーの記憶容量は、1 曲につき 30,000 音で、3 曲の合計は 90,000 音です。録音中に記憶容量が一杯になったときは、PLAY/STOP ボタンと REC ボタンが消灯し、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

■レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。

■パート1に既に録音されているソングのパート2に録音するとき、パート1の演奏を再生しないでパート2に録音したいときは、REC ボタンを押す前に PLAY/STOP ボタンを押し、VALUE ボタンを押してプレイパートを2に設定します。

■録音中のパネル操作に関して ...

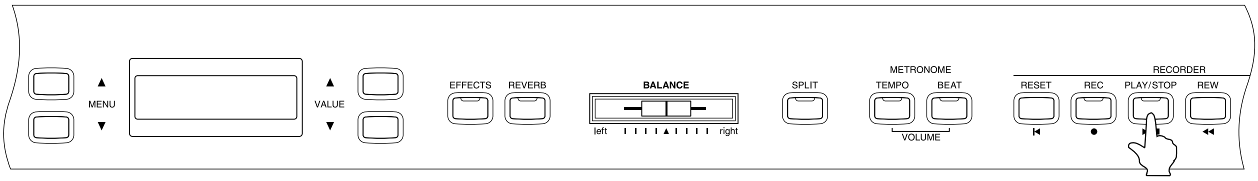
- 音色変更、テンポ、デュアルスプリットバランスは記憶されます。
- デュアルスプリットモードの移行は記憶されます。
- エフェクト設定の変更は記憶されず、パネルで選ばれている音色に、選択されているエフェクトがそのまま使われます。
- タッチカーブ、トランスポーズボタンの ON/OFF 変更は、記憶されません。
  再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音高で再生されます。

2）再生

録音した曲を再生します。
録音直後に再生する場合は、操作２より行ってください。

□操作１

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



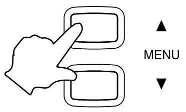
現在選択されているソングとパートが表示され、再生待機状態となります。

```
ｿﾝｸﾞ1   ﾊﾟｰﾄ=1&2*
Bar=    1-1 ♩=120
```

4 レコーダーの使い方

□操作２

MENU（メニュー）ボタンを押して目的のソングを設定します。




```
ｿﾝｸﾞ1   ﾊﾟｰﾄ=1&2*
Bar=    1-1 ♩=120
```

↑↓ MENU ボタン

```
ｿﾝｸﾞ2   ﾊﾟｰﾄ=1&2
Bar=    1-1 ♩=120
```

↑↓

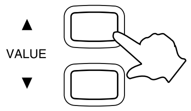
```
ｿﾝｸﾞ3   ﾊﾟｰﾄ=1&2
Bar=    1-1 ♩=120
```

既に録音されているパートには、右上隅に＊マークが付いています。

```
ｿﾝｸﾞ1   ﾊﾟｰﾄ=1&2*
Bar=    1-1 ♩=120
```

□操作３

VALUE（バリュー）ボタンを押して目的のパートを設定します。




```
ｿﾝｸﾞ1   ﾊﾟｰﾄ=1&2*
Bar=    1-1 ♩=120
```

↑↓ VALUE ボタン

```
ｿﾝｸﾞ1   ﾊﾟｰﾄ=1*
Bar=    1-1 ♩=120
```

↑↓

```
ｿﾝｸﾞ1   ﾊﾟｰﾄ=2*
Bar=    1-1 ♩=120
```

ﾊﾟｰﾄ１＆２	：	パート１と２を再生
ﾊﾟｰﾄ１	：	パート１のみ再生
ﾊﾟｰﾄ２	：	パート２のみ再生

□操作４

再度、PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押し再生を開始します。

□操作５

演奏を停止するには、PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタン押します。

再生待機状態となります。
ここで次の曲とパートを選択することができます。

□操作６

早送りをするには、FFボタンを、巻き戻しをするには、REWボタンを押します。

□操作７

頭出しをするには、RESET（リセット）ボタンを押します。

□操作８

音色ボタンを押すと通常の状態に戻ります。

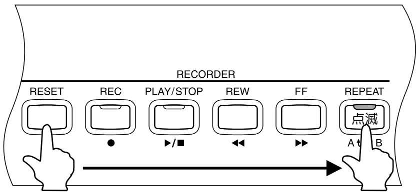
３）繰り返し再生

１曲を繰り返し再生したり、曲の一部分を繰り返し再生します。

◇１曲を繰り返したい場合

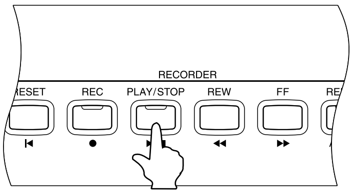
□操作１

RESET（リセット）ボタンを押し、曲の頭出しをした上で、REPEAT（リピート）ボタンを押してREPEAT（リピート）ボタンのランプを点滅させます。



□操作２

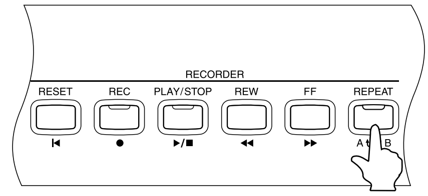
PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が繰り返し再生されます。一度最後まで聞いたところでREPEATボタンのランプが点灯に変わります。

□操作３

再度REPEAT(リピート)ボタンを押し、REPEAT(リピート)ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。

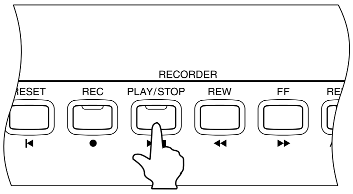


曲の最後まで再生され止まります。

◇曲の一部を繰り返したい場合

□操作１

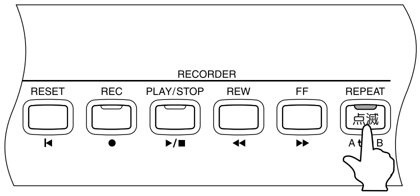
PLAY/STOP(プレイ／ストップ)ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が繰り返し再生されます。

□操作２

繰り返したい最初の小節(A)内でREPEAT(リピート)ボタンを押します。



REPEATボタンのランプが点滅します。

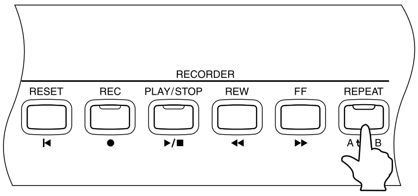
□操作３

繰り返したい終わりの小節(B)内でREPEAT(リピート)ボタンをを押します。

REPEATボタンのランプが点灯し、点滅させていた小節を繰り返し再生します。

□操作４

再度REPEAT(リピート)ボタンを押し、REPEAT(リピート)ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。



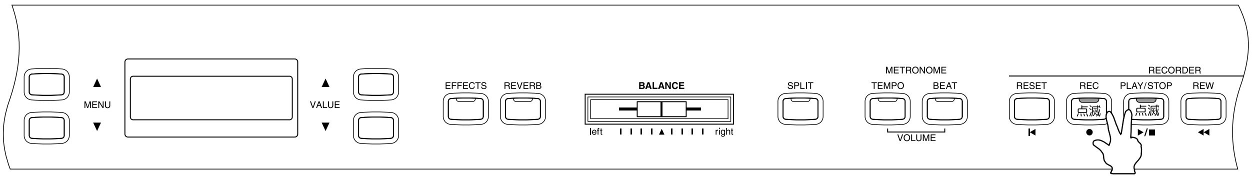
曲の最後まで再生され止まります。

4）パートのデータ消去

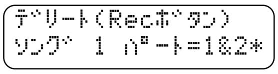
ここでは、録音に失敗したり、いらなくなった曲を１パートづつ消去します。

□操作１

PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンとREC（レック）ボタンを同時に押します。

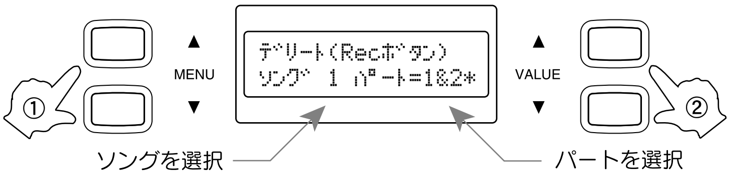


PLAY/STOP ボタンと REC ボタンのランプが点滅します。



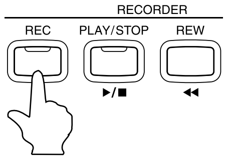
□操作２

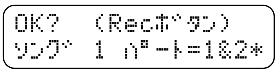
MENU（メニュー）ボタンを押してソングを、VALUE（バリュー）ボタンを押してパートを選びます。



□操作３

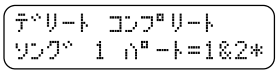
REC（レック）ボタンを押すと確認のメッセージが表示されます。



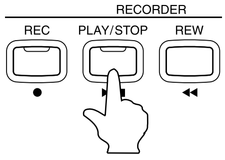


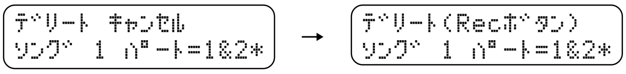
□操作４

再度REC（レック）ボタンを押すとパートのデータが消去されます。

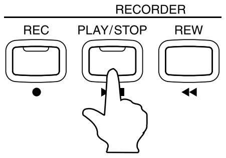


※操作３で消去を中止する場合は、PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。





さらにPLAY/STOPボタンを押すと、ディスプレイは再生時の表示となります。



■複数のソング / パートを消去するときは、繰り返し操作を行ってください。

■録音されているすべてのソングを消去したい場合は、PLAY/STOPボタンとRECボタンを押しながら、電源を入れてください。

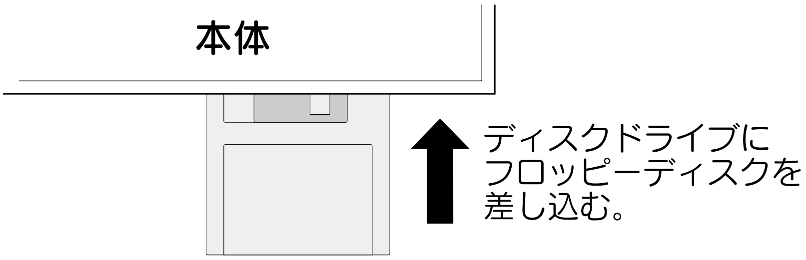
5.ディスクレコーダーの使い方

1）再生

ディスクに録音されている曲を再生します。
ここでは同梱されている「CLASSICAL PIANO COLLECTION」（クラシカル ピアノ コレクション）ディスクを聴いてみましょう。

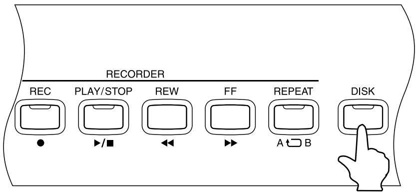
□操作１

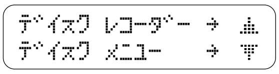
フロッピーディスクをディスクドライブに差し込みます。



□操作２

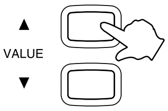
ディスク
DISK ボタンを押します。

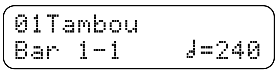




□操作３

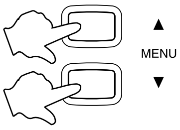
バリュー
VALUE ボタンの▲を押し、ディスク レコーダーを選びます。

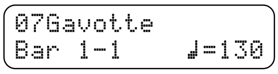




□操作４

メニュー
MENU ボタンを押し、再生したい曲を選びます。





□操作５

プレイ／ストップ
PLAY/STOP ボタンを押すと、再生を開始します。

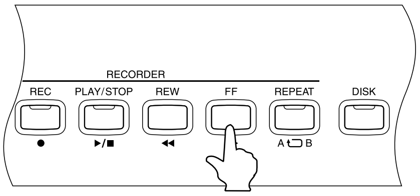
□操作６

演奏を停止するには、再び PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンを押します。

押した小節で停止します。（ポーズ状態）

□操作７

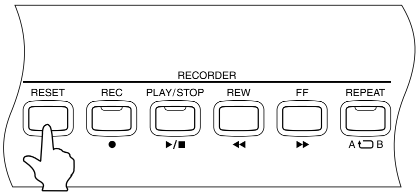
早送り、巻戻しをしたい場合は、FF ボタン又は REW ボタンを押します。



押している間、早送り又は巻戻します。

□操作８

曲の先頭へ戻りたい時は RESET（リセット）ボタンを押します。

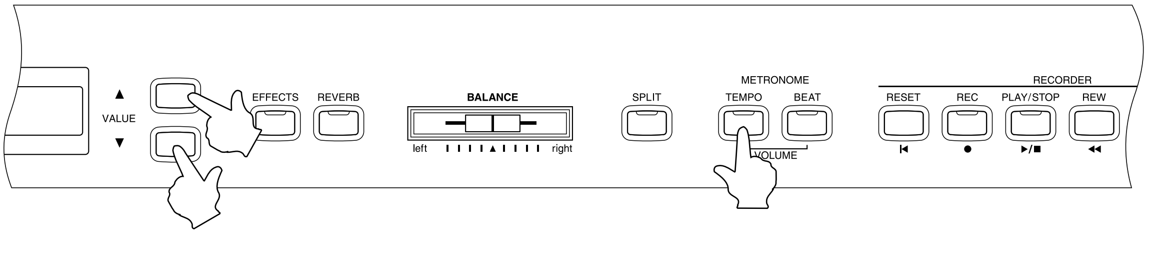


◇テンポの変更

再生するテンポを変更することができます。

□操作１

TEMPO（テンポ）ボタンを押しながら VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。

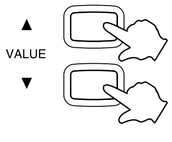


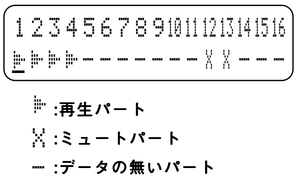
◇再生パートのミュート

再生パートのミュートが１パート毎にできます。

□操作１

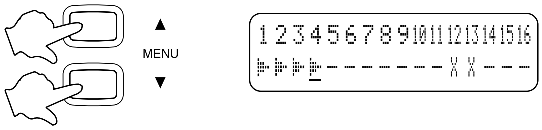
再生可能な曲が選ばれている時に、VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。





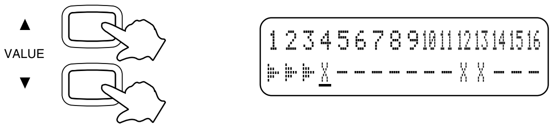
□操作２

MENU（メニュー）ボタン（▲▼）を押し、変更したいパートへカーソルを移動します。



□操作３

VALUE（バリュー）ボタンの（▲▼）を押し、再生/ミュートを変更します。



約２秒何もボタンを操作しなければ、元の画面に戻ります。

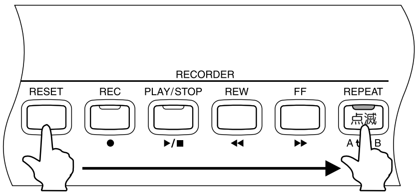
2）繰り返し再生

１曲を繰り返し再生したり、曲の一部分を繰り返し再生します。

◇１曲を繰り返したい場合

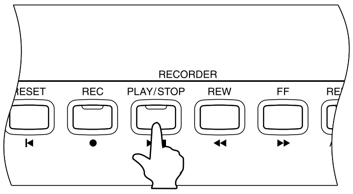
□操作１

RESET（リセット）ボタンを押し、曲の頭出しをした上で、REPEAT（リピート）ボタンを押してREPEAT（リピート）ボタンのランプを点滅させます。



□操作２

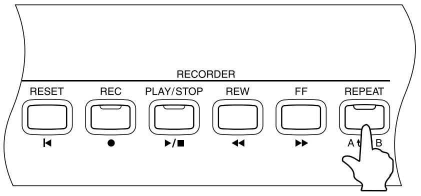
PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が繰り返し再生されます。一度最後まで聞いたところでREPEATボタンのランプが点灯に変わります。

□操作３

再度 REPEAT（リピート）ボタンを押し、REPEAT（リピート）ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。

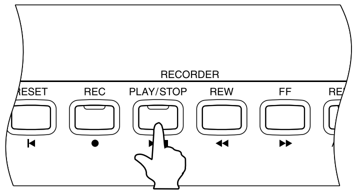


曲の最後まで再生され止まります。

◇曲の一部を繰り返したい場合

□操作１

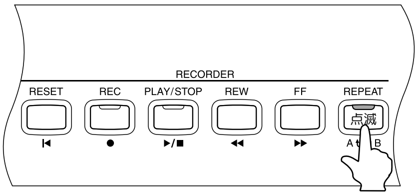
PLAY/STOP（プレイ／ストップ）ボタンを押し、曲を再生します。



選ばれている曲が再生されます。

□操作２

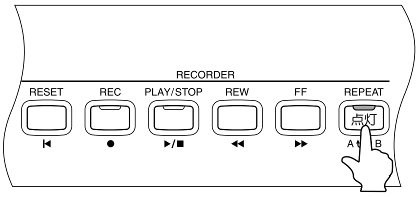
繰り返したい最初の小節（A）内で REPEAT（リピート）ボタンを押します。



REPEAT ボタンのランプが点滅します。

□操作３

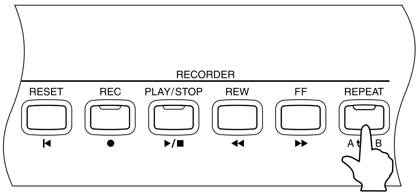
繰り返したい終わりの小節（B）内で REPEAT（リピート）ボタンをを押します。



REPEAT ボタンのランプが点灯し、点滅させていた小節を繰り返し再生します。

□操作４

再度 REPEAT ボタンを押し、REPEAT ボタンのランプが消えると繰り返し再生が解除されます。



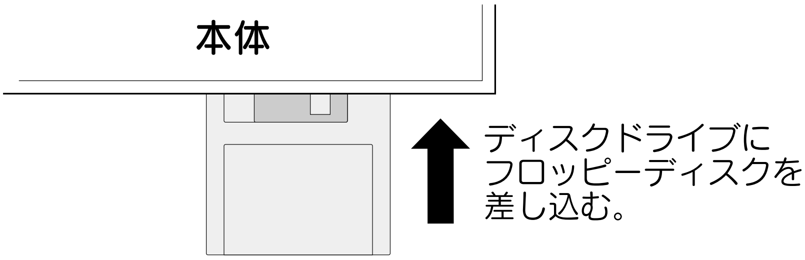
曲の最後まで再生され止まります。

3）録音

ディスクに曲を録音します。
ここでは同梱されているブランクディスクに録音する時を例に説明します。

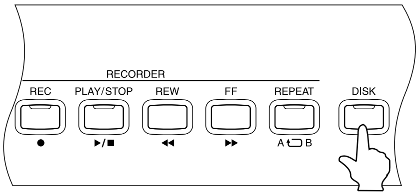
□操作１

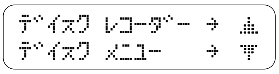
フロッピーディスクをディスクドライブに差し込みます。



□操作２

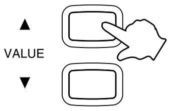
DISK（ディスク）ボタンを押します。





□操作３

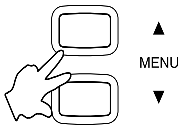
VALUE（バリュー）ボタンの▲を押し、ディスク レコーダーを選びます。



曲の入っているディスクの場合最初の曲が選択されます。
曲の入っていないディスクの場合、新規の曲が選択され「Empty_Song」と表示されます。

□操作４

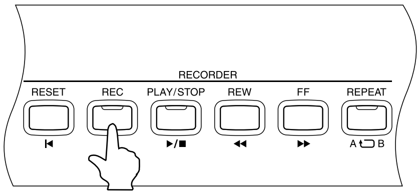
MENU（メニュー）ボタンの▲と▼を同時に押します。

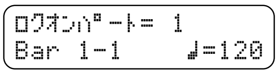


新規の曲が選択され「Empty_Song」と表示されます。

□操作５

レック
REC ボタンを押します。

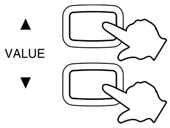


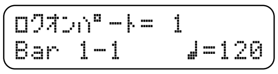


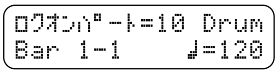
REC ボタンのランプが点滅し、録音パート選択状態になります。

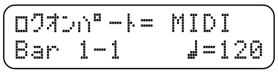
□操作６

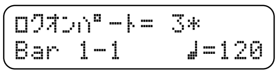
バリュー
VALUE ボタン（▲▼）を押し、録音パートを選びます。







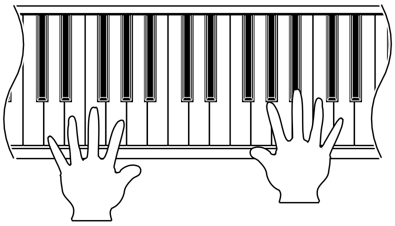




1 ～ 16,MIDI を選ぶことができます。
10 はドラムパートで、10 を選んだ時は鍵盤の音色がリズム音になります。
MIDI は MIDI から入ってきた情報を録音します。
既に録音されているパートを選んだ場合、パート番号の右に「＊」印が表示されます。

□操作７

鍵盤を弾いて、録音をスタートします。

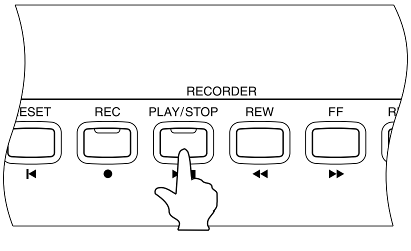


鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。
このとき、REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが点灯します。

PLAY/STOP ボタンを押しても録音を開始できます。

□操作８

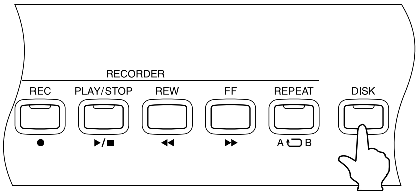
プレイ／ストップ
演奏が終わったら PLAY/STOP ボタンを押して録音を終了します。

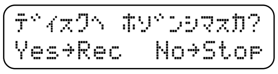


PLAY/STOP ボタンと REC ボタンが消灯し、録音が停止します。

□操作９

DISK（ディスク）ボタンを押します。

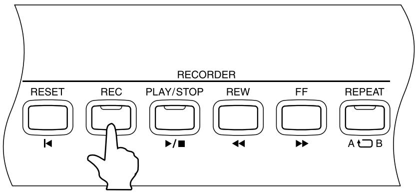




ディスクへの保存を問い合わせてきます。

□操作 10

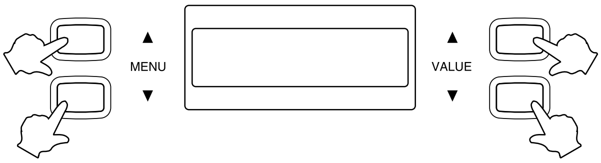
REC（レック）ボタンを押します。



曲名を編集する画面になりますので、MENU（▲▼）でカーソルの移動、VALUE（▲▼）で文字の変更をして下さい。
ここで REC ボタンのかわりに PLAY/STOP ボタンを押すと、ディスクへの書き込みは行わず、ディスクレコーダーモードから抜けます。

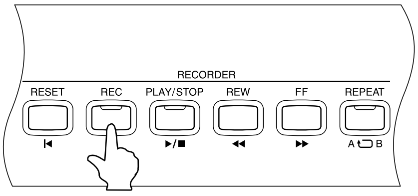
□操作 11

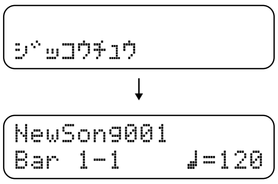
MENU（メニュー）ボタン（▲▼）でカーソルの移動、VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）で文字を変更します。



□操作 12

再度 REC（レック）ボタンを押します。





フロッピーディスクへの書き込みが始まり、
書き込みが終わると、曲名が表示されます。

6. ディスクの操作

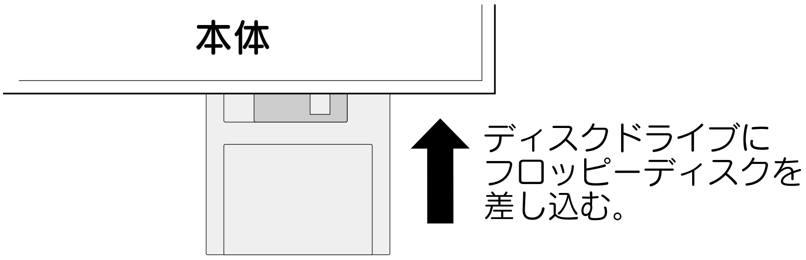
ＰＮ４では、フロッピーディスクに対して以下の操作を行うことができます。

1）内部レコーダーの保存
2）曲名変更
3）曲データの削除
4）曲データのコピー
5）ディスクのフォーマット

◇ メニューの選び方

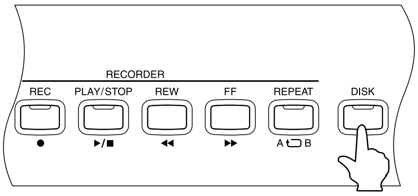
□操作１

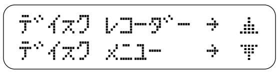
フロッピーディスクをディスクドライブに差し込みます。



□操作２

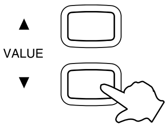
ディスク
DISK ボタンを押します。

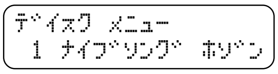




□操作３

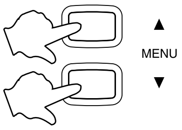
バリュー
VALUE ボタンの▼を押し、ディスク メニューを選びます。

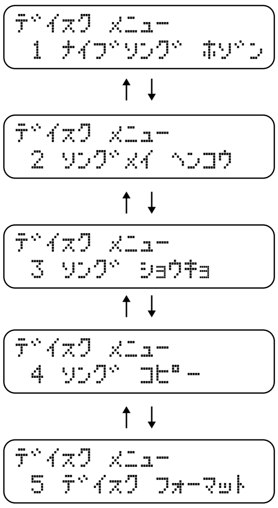




□操作４

MENU（メニュー）ボタンを押し、実行したいメニューを選びます。



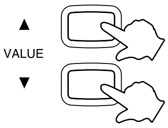


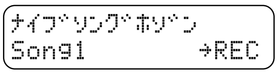
１）内部レコーダーの保存

内部レコーダーに録音した曲をフロッピーディスクへ保存します。

□操作１

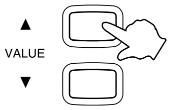
64ページのメニューの選び方で、内部ソング保存を選び、VALUE（バリュー）ボタン（▼または▲）を押し、決定します。

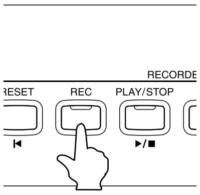


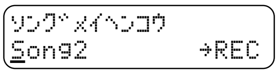


□操作２

VALUE（バリュー）ボタン（▼または▲）を押し、保存する内部ソングを選び、REC（レック）ボタンを押し、保存する内部ソングを決定します。



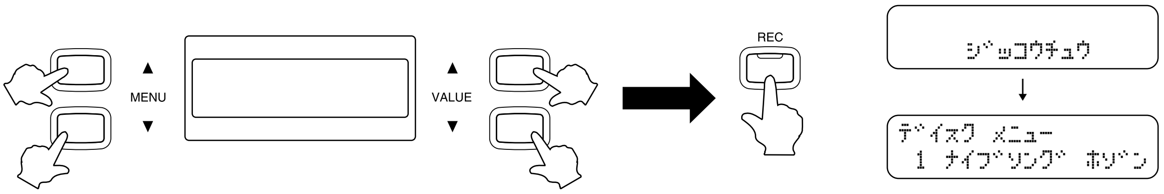




カーソルが現れ、曲名を変更することができます。

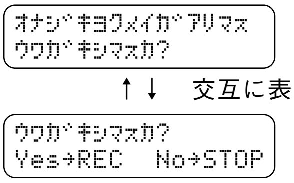
□操作３

MENUボタンでカーソルを移動、VALUEボタンで文字の変更をし、RECボタンを押して、曲をディスクへ保存します。



書き込みが終了するとメニューの画面に戻ります。

上記操作３で、既にフロッピーディスクにある曲名をつけた場合、上書きをするか、名前をつけなおして保存して下さい。



■上書きする場合、REC ボタンを押して下さい。

■名前をつけなおす場合、PLAY/STOP ボタンを押して下さい。
曲名変更画面に戻ります。

２）曲名変更

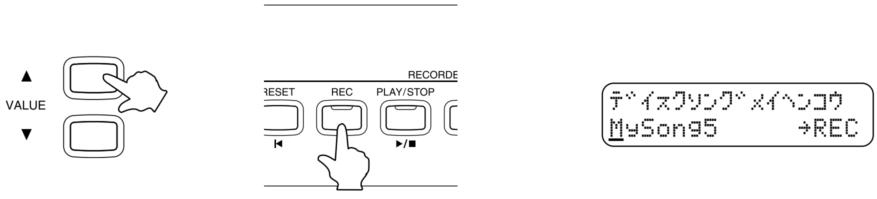
フロッピーディスクに保存されている曲名を変更します。

□操作１

64ページのメニューの選び方で、ソング名変更を選び、VALUEボタン(▼または▲)を押し、決定します。

□操作２

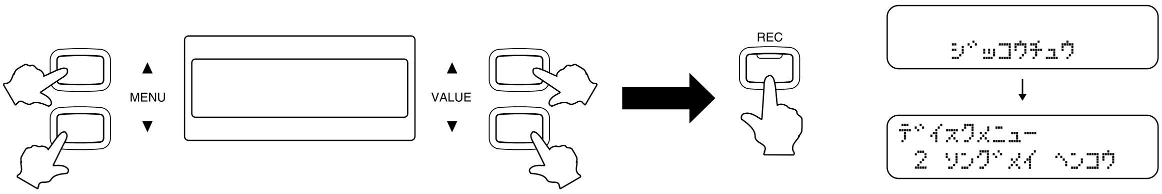
VALUEボタン（▼または▲）を押し、変更する曲を選び、RECボタンを押し、変更する曲を決定します。



カーソルが現れ、曲名を変更することができます。

□操作３

MENUボタンでカーソルを移動、VALUEボタンで文字の変更をし、RECボタンを押すと、曲名が変更されます。



書き込みが終了するとメニューの画面に戻ります。

上記操作３で、既にフロッピーディスクにある曲名をつけた場合、上書きをするか、名前をつけなおして保存して下さい。（66 ページ参照）

3） 曲データの削除

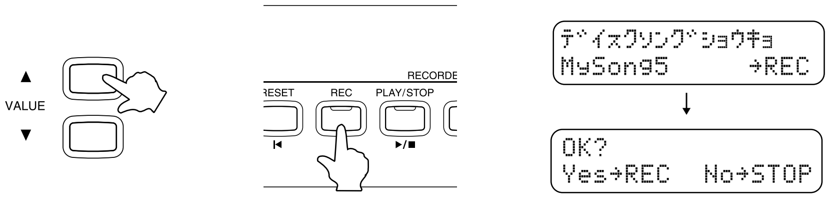
フロッピーディスクに保存されている曲を削除します。

□操作１

64ページのメニューの選び方で、ディスクソング消去を選び、VALUEボタン(▼または▲)を押し、決定します。

□操作２

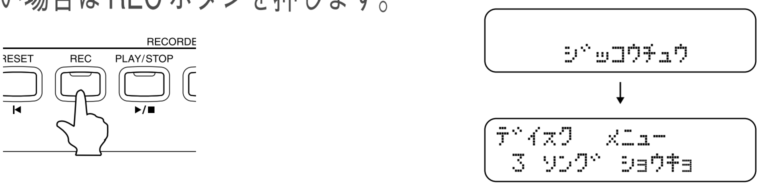
VALUEボタン（▼または▲）を押し、消去する曲を選び、RECボタンを押します。



確認の画面が表示されます。

□操作３

消去しても良い場合はRECボタンを押します。



消去が終了するとメニューの画面に戻ります。

■消去を取りやめる時はPLAY/STOPボタンを押します。

4）曲データのコピー

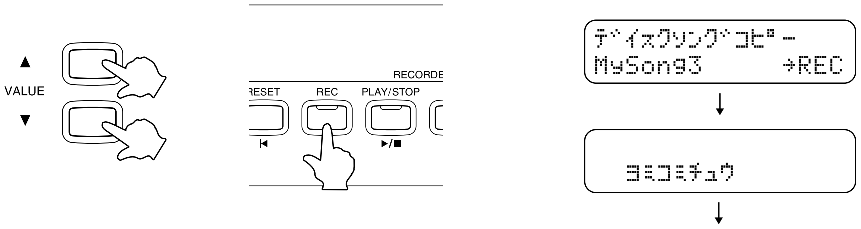
フロッピーディスクに保存されている曲をコピーします。

□操作１

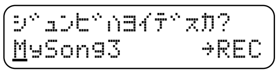
64ページのメニューの選び方で、ソングコピーを選び、VALUEボタン（▼または▲）を押し、決定します。

□操作２

VALUEボタン（▼または▲）を押し、コピーする曲を選び、RECボタンを押します。

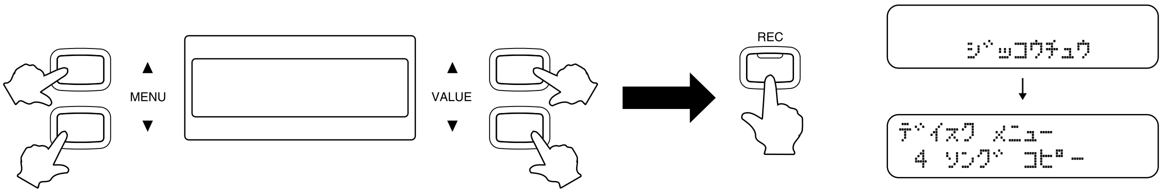


カーソルが現れ、曲名を変更することができます。



□操作３

MENUボタンでカーソルを移動、VALUEボタンで文字を変更をし、RECボタンを押して、曲をディスクへ保存します。



書き込みが終了するとメニューの画面に戻ります。
操作３でディスクを入れかえれば、別のディスクへコピーができます。

上記操作３で、既にフロッピーディスクにある曲名をつけた場合、上書きをするか、名前をつけなおして保存して下さい。（66ページ参照）

5）ディスクのフォーマット

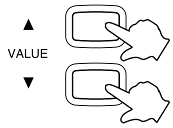
新しいディスクやＰＮ４で使用可能ではないディスクを使用する場合は、まずディスクのフォーマットをします。フォーマットを行うと記録されているデータが消えてしまいますので、フォーマットを始める前に次の点を確認してください。

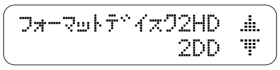
・記録されているデータを本当に消してもよいですか？

・ディスクのツメは書込み可能になっていますか？

□操作１

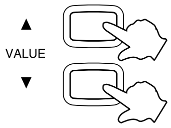
ディスクドライブにフォーマットしたいディスクを入れ、64ページのメニューの選び方で、ディスクフォーマットを選び、VALUE（バリュー）ボタン（▼または▲）を押し、決定します。





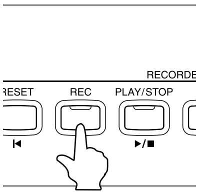
□操作２

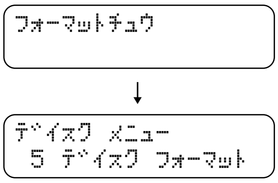
VALUE（バリュー）ボタン（▼または▲）でディスクの種類を選びます。▲を押すと2HD、▼を押すと2DDが選ばれます。



□操作３

フォーマットしても良い場合はREC（レック）ボタンを押します。





フォーマットが終了するとメニューの画面に戻ります。

■フォーマットを取りやめる時はPLAY/STOPボタンを押します。

ディスクの操作　6

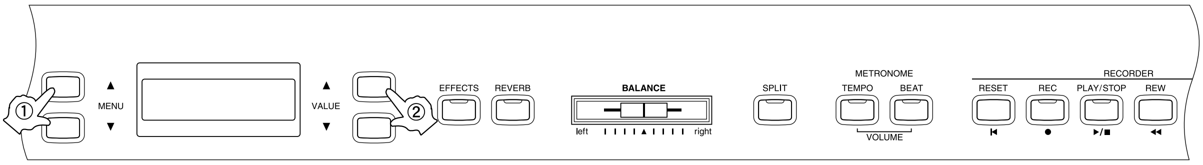
7. 設定モードの使い方

PN4 は、演奏を楽しむための各種設定をすることができます。
この設定モードでは、以下の設定を行うことができます。

1）ブリリアンス
2）ロアー オクターブ シフト
3）ロアー ペダルのオン/オフ
4）レイヤー オクターブ シフト
5）レイヤー ダイナミクス
6）ダンパーホールド
7）チューニング
8）音律
9）音律の主音
10）MIDI送信･受信チャンネル
11）ローカルコントロール
12）プログラム（音色）ナンバー送信のオン/オフ
13）プログラム（音色）ナンバー送信
14）マルチティンバー モード
15）チャンネルミュート
（マルチティンバー モード、オンの時のみ）
16）MIDIクロック
17）ユーザーメモリー
18）ファクトリー リセット
19）表示言語

1）ブリリアンス

音色の明るさを調節します。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを押して、ブリリアンスの画面を表示します。

```
1 ブリリアンス
      =   0
```

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで値を［－10～＋10］の間で設定します。

値が大きくなるほど音色が明るくなります。

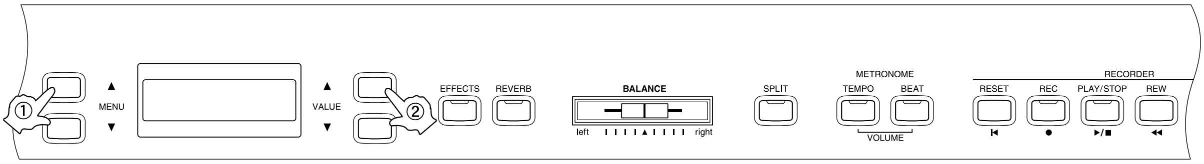
□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「0」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

2）ロアーオクターブシフト

ロアー オクターブ シフトとは、スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。



□操作１

メニュー
MENUボタンを数回押して、ロアー オクターブシフトの画面を表示します。

```
2 ロアー オクターブシフト
      =    0
```

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

バリュー
VALUEボタンで値を設定します。

オクターブ値を０～３の範囲で設定します。

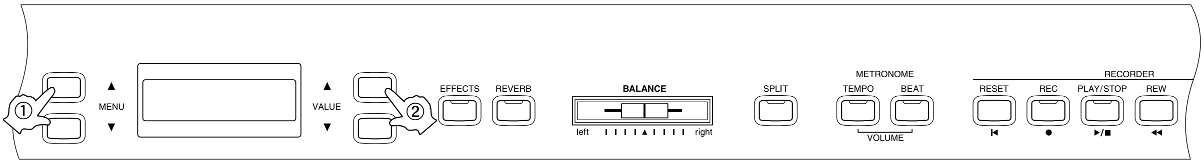
□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「0」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

3）ロアー ペダルのオン / オフ

スプリット演奏時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン / オフを設定できます。
高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。



□操作１

メニュー
MENUボタンを数回押して、ロアーペダルの画面を表示します。

```
3 ロアー ペダル
      = オフ
```

ディスプレイの２行目にオンまたはオフが表示されます。

□操作２

バリュー
VALUEボタンでオン / オフを設定します。

オンにすると、ペダルを踏んで演奏した際に低音側鍵盤の音にもペダル機能が働きます。
オフに設定すると、低音側鍵盤の音にはペダル機能が働かず、高音側鍵盤の音にのみペダル機能が働きます。

□操作３

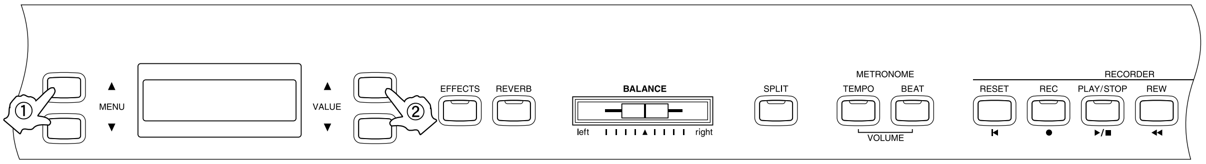
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「オフ」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

4）レイヤーオクターブシフト

レイヤーオクターブシフトとはデュアル（P.10 参照）モードで２つの音色を重ねて弾く際に、片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの２行目に表示されている音色）の音域をオクターブ単位で移動することです。

例えば、コンサートグランドピアノとストリングアンサンブルをデュアルで重ねて演奏する時に、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて（あるいは下げて）演奏することができます。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、レイヤーオクターブシフトの画面を表示します。

```
4 レイヤーオクターブシフト
     =    0
```

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで値を設定します。

オクターブ値を -2 ～２の範囲で設定します。
ーにするとオクターブ下がります。
デュアルモードでディスプレイの２行目に表示されている音色のオクターブが変わります。

■音色によっては高音域の音が設定したオクターブまで上がらない場合があります。

□操作３

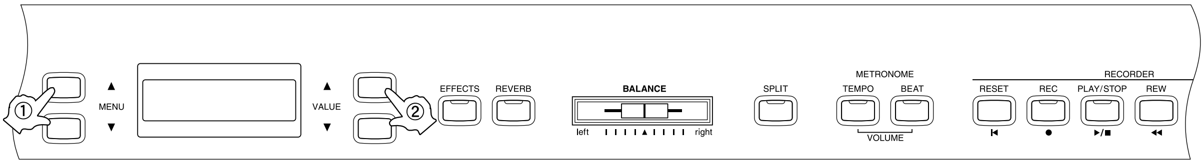
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「0」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

5）レイヤー ダイナミクス

レイヤーダイナミクスとはデュアル（P.10参照）モードで２つの音色を重ねて弾く際に、片側の音色（レイヤー音色：ディスプレイの２行目に表示されている音色）のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、コンサートグランドピアノとストリングアンサンブルをデュアルで重ねて演奏する時に、通常の設定では、どちらの音色も同じように強弱が変化しますが、ストリングアンサンブルのタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。



□操作１

MENU ボタンを数回押して、レイヤー ダイナミクスの画面を表示します。

```
5 ﾚｲﾔｰﾀﾞｲﾅﾐｸｽ
     = 10
```

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

VALUE ボタンで値を設定します。

ダイナミクスの値を１～10の範囲で設定します。
数字が小さいほどタッチ変化の幅が小さくなります。10は単独で演奏した場合と同じダイナミクスになります。

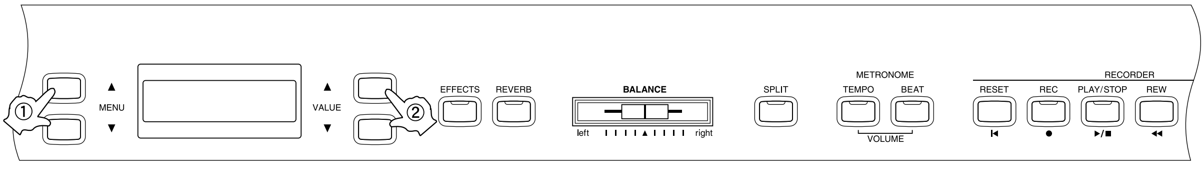
□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「10」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

6）ダンパーホールドのオン/オフ

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押しつづけている間鳴りつづける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。



□操作１

メニュー

MENUボタンを数回押して、ダンパーホールドの画面を表示します。

```
6 ﾀﾞﾝﾊﾟｰﾎｰﾙﾄﾞ
      =  ｵﾌ
```

ディスプレイの２行目にオンまたはオフが表示されます。

□操作２

バリュー

VALUEボタンでオン/オフを選びます。

オンにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音が持続します。
オフにするとダンパーペダルを踏んで持続音色を弾いた時に、鍵盤から手を離した後、音が減衰します。

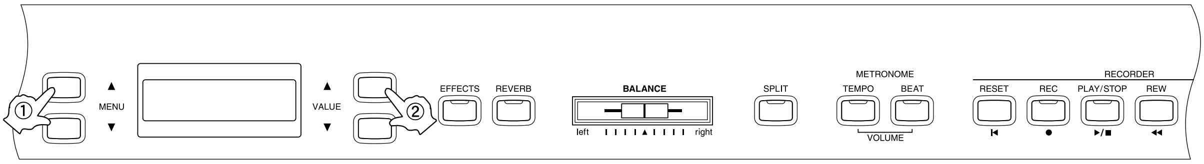
□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、「オフ」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

7）チューニング

チューニングは、他の楽器とピッチ（音高）を合わせるときに行います。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、チューニングの画面を表示します。

```
7 チューニング
      = 440.0
```

ディスプレイの２行目に値が表示されます。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンでピッチを［427.0～453.0（Hz）］の間で設定します。

VALUE ボタンを押す度に 0.5 の単位で値を設定できます。

□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

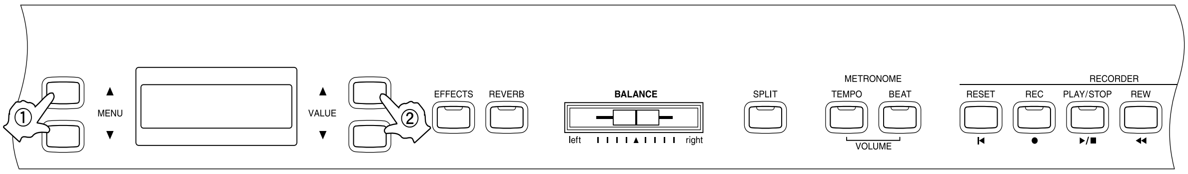
■電源オン時は、「440.0Hz」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

8）音律の設定

ピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律を内蔵しています。

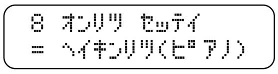
本機で設定できる音律は、以下の通りです。

◆ 平均律（ピアノ） (Equal P.only)	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律（フラット）に従います。
◆ 純正律＜長調＞ (Pure major)	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
◆ 純正律＜短調＞ (Pure minor)	純正律は、長調と短調で異なります。 長調と同様の効果を短調でも得られます。
◆ ピタゴラス音律 (Pythagorean)	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特徴です。
◆ 中全音律 (Meantone)	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特徴の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
◆ ヴェルクマイスター第III法 (Werkmeister) ◆ キルンベルガー第III法 (Kirnberger)	調号の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した "調性の性格" を反映することのできる調律法です。
◆ 平均律（フラット） (Equal Flat)	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特徴があります。
◆ 平均律 (Equal Stretch)	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、音律の画面を表示します。



ディスプレイの２行目に音律名が表示されます。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで音律を設定します。

■平均律（ピアノ）

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ(ﾋﾟｱﾉ)
```

↑↓ VALUE ボタン

■純正律長調

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ｼﾞｭﾝｾｲﾘﾂ1
```

⇄

■純正律短調

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ｼﾞｭﾝｾｲﾘﾂ2
```

⇄

■ピタゴラス音律

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾋﾟﾀｺﾞﾗｽ
```

⇄

■中全音律

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾁｭｳｾﾞﾝｵﾝﾘﾂ
```

↑↓

■ヴェルクマイスター第III法

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ｳﾞｪﾙｸﾏｲｽﾀｰ
```

⇄

■キルンベルガー第III法

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ｷﾙﾝﾍﾞﾙｶﾞｰ
```

⇄

■平均律（フラット）

```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ(ﾌﾗｯﾄ)
```

⇄

■平均律（ストレッチ）

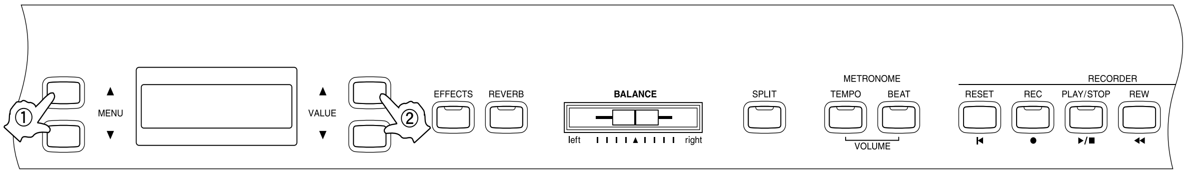
```
8 ｵﾝﾘﾂ ｾｯﾃｲ
= ﾍｲｷﾝﾘﾂ
```

□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は「平均律（ピアノ）」に設定されます。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

9）音律の主音の設定



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して音律の主音の設定画面を表示します。

```
9 ｵﾝﾘﾂﾉ ｼｭｵﾝ
      = C
```

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで主音を［C～B］の間で設定します。

ディスプレイの２行目に主音が表示されます。
平均律（フラット）を選択した場合は、主音の設定をしても変化はありません。

□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時の音律の主音は、「C」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

◇ MIDI について

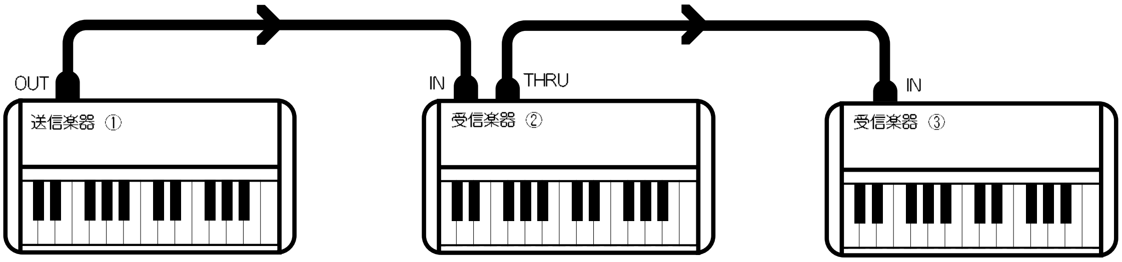
MIDI について簡単に説明します。
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDI 端子には、IN，OUT，THRU の 3 つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

IN　　：　鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT　：　鍵盤情報や音色情報を送信します。
THRU：　受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの 2 種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

例えば 3 台の楽器を次のように接続して演奏するとします。



送信楽器①は、送信チャンネルと共に鍵盤情報等を受信楽器②，③に送ります。
受信楽器②，③には、この情報が送られて来ます。基本的には 受信楽器②，③の受信チャンネルと送信楽器①の送信チャンネルが一致していれば、送られた情報を受け取りますが、一致していなければ受け取らないということになります。
チャンネル番号は、送信，受信とも 1 ～ 16 までの番号を使用することが出来ます。

◆ PN4 の MIDI 機能

PN4 の MIDI 機能は、以下の通りです。

◆ 鍵盤情報の送信・受信
PN4 を弾いて MIDI で接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

◆ 送信・受信チャンネルの設定
送信受信チャンネルを 1 ～ 16 の範囲で設定することができます。

◆ プログラム（音色）ナンバーの送信
PN4 を弾いて MIDI で接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

◆ ペダル情報の送信・受信
ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルのオン / オフ情報の送信・受信ができます。

◆ ボリューム情報の受信
シンセサイザー等を弾いて、PN4 の音を出しているとき、シンセサイザーで PN4 の音量をコントロールすることができます。

◆ マルチティンバーの設定
PN4 が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことが出来ます。

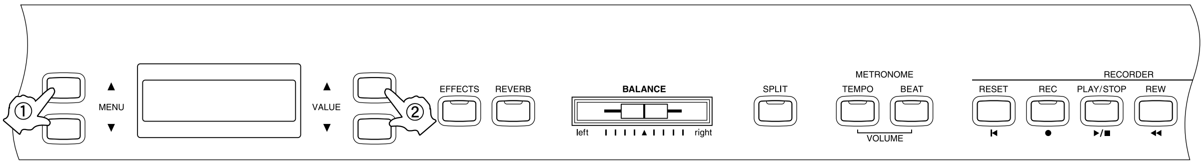
◆ エクスクルーシブデータの送信・受信
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

◆ レコーダーの再生情報の送信
レコーダーに録音した演奏を、MIDI で接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

PN4 の MIDI 機能についての詳細は、" MIDI インプリメンテーションチャート "（P.111）をご覧ください。

10）MIDI 送信・受信チャンネル

接続された MIDI 楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。
チャンネルは、送信チャンネルと受信チャンネルの 2種類がありますが、PN4 では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1 つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。



□操作 1

MENU ボタンを数回押して、MIDI チャンネルの画面を表示します。

```
10 MIDI ﾁｬﾝﾈﾙ
=  1  (ｿｳｼﾞｭｼﾝ)
```

ディスプレイの２行目にチャンネルの値が表示されます。

□操作２

VALUE ボタンで値を［1～16］の間で設定します。

□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■ PN4 は電源オン時には、1 ～ 16 のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。
これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで 1ch に設定したい場合は、マルチティンバーをオフにして一度チャンネルを２に設定してから 1 に戻してください。

■マルチティンバーモードが、オン（P.83 参照）のとき

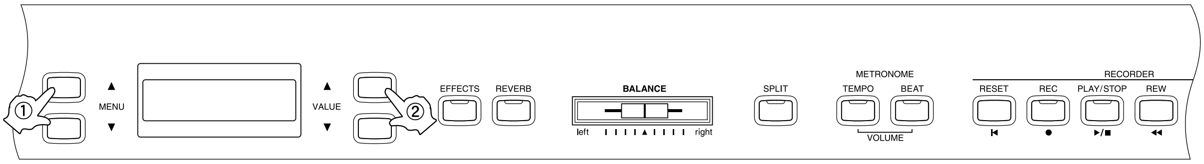
スプリット演奏時　：　低音側の演奏は、ここで設定したチャンネル +1 チャンネルで送信します。
例えばここでチャンネルを3に設定してマルチティンバーをオンにしたとき、スプリット演奏の低音側の音色の演奏は、4 チャンネルで送信されます。

デュアル演奏時　：　第２音色は、設定したチャンネル +1 チャンネルで送信します。

（但し、チャンネルを 16 に設定した場合は、1 チャンネルで送信します。）

11）ローカル コントロール

このモードは、本体の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定するモードで、ローカルコントロールオン/オフモードと呼びます。
ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。
一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らずMIDI情報を送信するだけで、MIDI情報を受信したときのみ音が鳴ります。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、ローカルコントロールの画面を表示します。

ディスプレイの２行目にオンまたはオフが表示されます。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで値［オン/オフ］を設定します。

□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

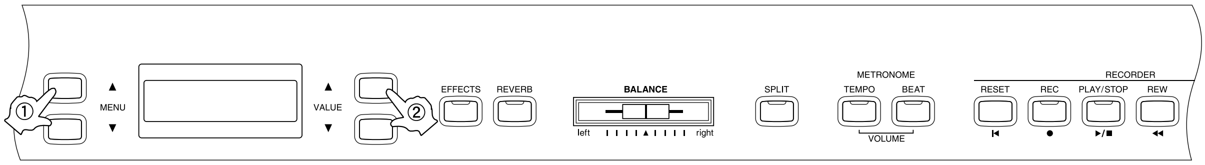
■電源オン時は、「オン」に設定されています。
（但し、ユーザーメモリー（P.85参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

12）プログラム（音色）ナンバー送信のオン/オフ

◇ 音色ボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信

PN4 では、音色を切り替えることにより、付録の音色一覧表右側（マルチティンバーオン２の時）のプログラムナンバーを送信します。
（マルチティンバーモードをオフ又はオン１に設定したときは、付録音色リスト表左側（マルチティンバーオフ、オン１の時）のプログラムナンバーを送信します。）

また音色ボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作を MIDI エクスクルーシブデータとして送信することができます。
この音色ボタンによるプログラムナンバーの送信やパネル操作の送信は、次の方法により送信するか、しないかオン / オフを設定することができます。



■マルチティンバーモードは 83 ページを参照して下さい。

□操作 1

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、トランス プログラムの画面を表示します。

```
12 トランスプログラム
        = オン
```

ディスプレイの２行目にオンまたはオフが表示されます。

□操作２

VALUE ボタンで値［オン／オフ］を設定します。

□操作３

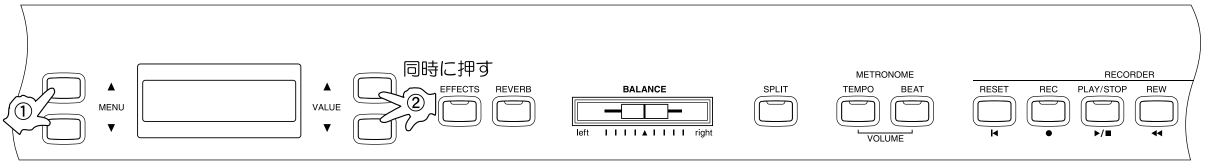
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、プログラムナンバーの送信は「オン」に設定されます。
（但し、ユーザーメモリー（P.85 参照）を設定した場合は、その設定に従います。）

■マルチティンバーモードがオフの時、デュアル/スプリットモード時には、デュアル/スプリット各モードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。
マルチティンバーモードがオンのときは、プログラムナンバーも送信します。

13）プログラム（音色）ナンバー送信

PN4 では、1 ～ 128 までのプログラムナンバーを送信することができます。



□操作 1

MENU(メニュー) ボタンを数回押して、プログラムナンバー送信の画面を表示します。

```
13 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ#ｿｳｼﾝ
=    1 (UP+DOWN)
```

ディスプレイの２行目にプログラムナンバーが表示されます。

□操作２

VALUE(バリュー) ボタンで送信する値を [1 ～ 128] の間で設定します。

□操作３

2 つの VALUE(バリュー) ボタン（▲▼）を同時に押すとプログラムナンバーの送信が実行されます。

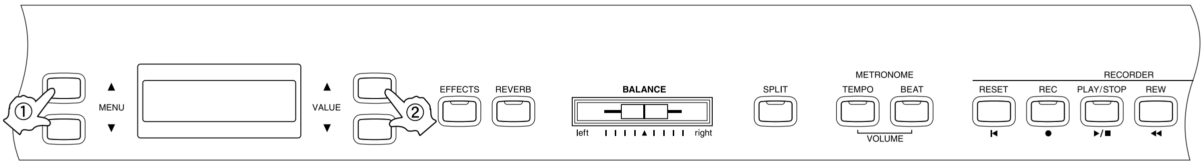
□操作４

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

14）マルチ ティンバーモード

通常は、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができるようにしています。（受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録音色一覧表を参照ください。）

前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報の送受信をすることもできます。



□操作1

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、マルチティンバーの画面を表示します。

```
14 マルチティンハ゛ー
        = オフ
```

ディスプレイの2行目にオン、オフ1またはオン2が表示されます。

□操作2

VALUE（バリュー）ボタンで値［オフ/オン1/オン2］を設定します。

マルチティンバーモード がオフ、オン1の時にプログラムナンバーを受信すると、付録音色一覧表の表左側のプログラムナンバーに対応した音色が選ばれます。

マルチティンバーモード がオン2の時にプログラムナンバーを受信すると付録音色一覧表の表右側のプログラムナンバーとバンクナンバーに対応した音色が選ばれます。
また、受信チャンネルごとに発音のオン/オフを設定することができます。（チャンネルミュートP.84参照）

□操作3

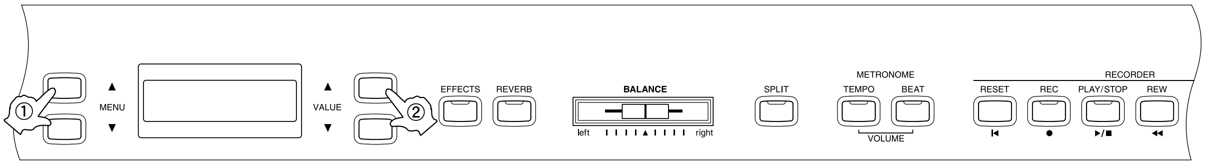
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、マルチ ティンバー モードは「オン2」に設定されています。

■マルチ ティンバー モードがオンのとき、スプリット演奏中でも各受信チャンネルの音色は全てフルスケールで鳴ります。

15）チャンネルミュート

マルチティンバーモードがオンのときのみ、この画面が表示されます。
ここでは、各チャンネルのプレイ / ミュートが設定できます。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、チャンネルミュートの画面を表示します。

MENU ボタンを押す度にチャンネルナンバーが表示されます。

↑↓

```
15 チャンネルミュート
  チャンネル 1= プレイ
```

↑↓MENU ボタン

```
15 チャンネルミュート
  チャンネル 2= プレイ
```

↑↓

⋮

↑↓

```
15 チャンネルミュート
  チャンネル16= プレイ
```

↑↓

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで［プレイ / ミュート］を設定します。

```
15 チャンネルミュート
  チャンネル 1= プレイ
```

↑↓ VALUE ボタン

```
15 チャンネルミュート
  チャンネル 1= ミュート
```

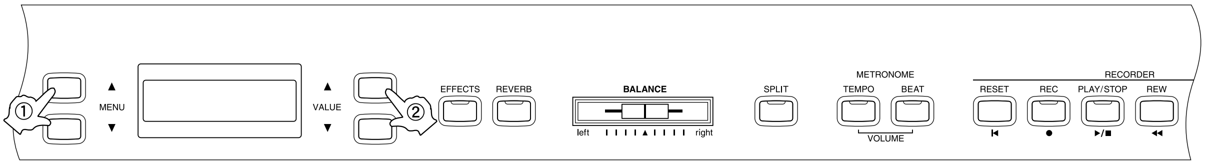
□操作３

設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

■電源オン時は、1～16ch は「オン」に設定されています。

16）MIDI クロック

PN4のレコーダーを外部MIDI機器のクロックに同期させる場合は、「ガイブ」にします。
「ガイブ」にした時は、外部MIDI機器からクロックが入力されないと、レコーダーや、メトロノームは動きません。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、MIDI クロックの画面を表示します。

16 MIDIｸﾛｯｸ
= ﾅｲﾌﾞ

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで［内部/外部］を設定します。

16 MIDIｸﾛｯｸ
= ﾅｲﾌﾞ

↑↓ VALUE ボタン

16 MIDIｸﾛｯｸ
= ｶﾞｲﾌﾞ

□操作３

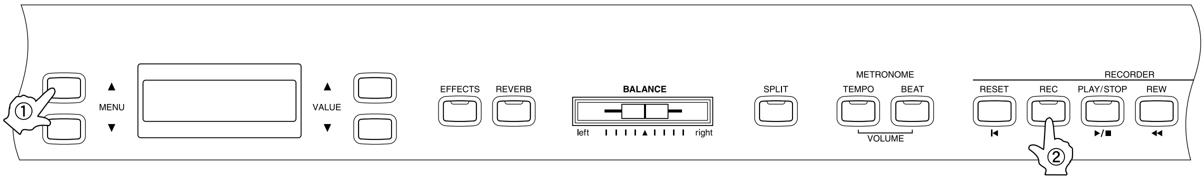
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

17）ユーザー メモリー

ここでは、自分の好みの設定を記憶させ、電源を入れなおしてもその設定で演奏することができます。

記憶する内容は右の通りです。

- ◆ ユーザー メモリー実行時に選択されている音色
- ◆ ユーザー メモリー実行時の各音色ごとのエフェクトセッティング
- ◆ 設定モードで設定した内容
  （ただし、マルチティンバーモード、チャンネルミュート、MIDI クロックは記憶されません）
- ◆ トランスポーズ、タッテカーブ
- ◆ メトロノームのテンポ、拍子、ボリューム



□操作１
メニュー
MENU ボタンを数回押して、ユーザー メモリーの画面を表示します。

```
17 ﾕｰｻﾞｰ ﾒﾓﾘｰ
 ｾｰﾌﾞ  (Recﾎﾞﾀﾝ)
```

□操作２
レック
REC ボタンを押し実行します。

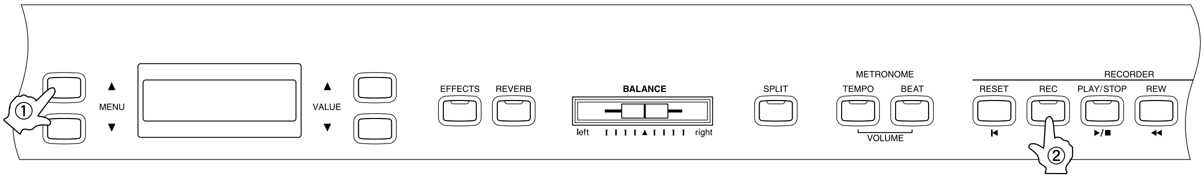
```
17 ﾕｰｻﾞｰ ﾒﾓﾘｰ
 ｾｰﾌﾞ ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ
```

ディスプレイに、『ｾｰﾌﾞ ｺﾝﾌﾟﾘｰﾄ』と表示され、完了します。

□操作３
設定を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

18）ファクトリー リセット

ここでは、ユーザーメモリーで設定した内容を全て消去し、購入時の設定に戻すことができます。



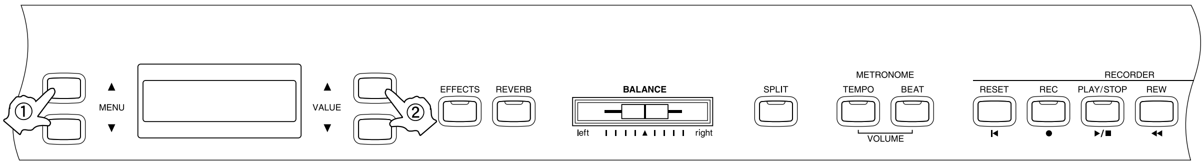
□操作１
メニュー
MENU ボタンを数回押して、ファクトリー リセットの画面を表示します。

```
18 ﾌｧｸﾄﾘｰ ﾘｾｯﾄ
 ﾘｾｯﾄ  (Recﾎﾞﾀﾝ)
```

□操作２
レック
REC ボタンを押すとファクトリー リセットされ、設定モードから抜けます。

19）表示言語

ディスプレイに表示される言語を、日本語と英語の２言語より選択できます。



□操作１

MENU（メニュー）ボタンを数回押して、表示言語の画面を表示します。

```
19 ﾋｮｳｼﾞｹﾞﾝｺﾞ
 = ﾆﾎﾝｺﾞ
```

ディスプレイの２行目に言語が表示されます。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタンで日本語か英語を選択します。

□操作３

選択を終えたら、いずれかの音色ボタンを押して設定モードから抜けます。

8. Pfunの使い方

Pfunとは、J-POPの曲をバックバンド付きのピアノ曲にアレンジした別売の「Pfunピアノ曲集」の音楽データをPN4に入れて練習する機能です。
パートのミュート機能を使って伴奏をバックに演奏したり､ジャンプ機能により好きな場所から演奏して楽しむこともできます。
Pfunピアノ曲はアレンジのクオリティーが高いので、聴くだけでも楽しめます。

PN4でPfunを楽しむには、
1. 別売のPfunピアノ曲集（曲データCD付き）
2. パーソナルコンピューター
が必要となります。詳細は付属の「楽譜集のご案内」をご覧下さい。

また、市販のSMF（スタンダードMIDIファイル）データも入れることができます。この場合はピアノパートのみを再生して聴くことができます。

◇ Pfun曲を選ぶ

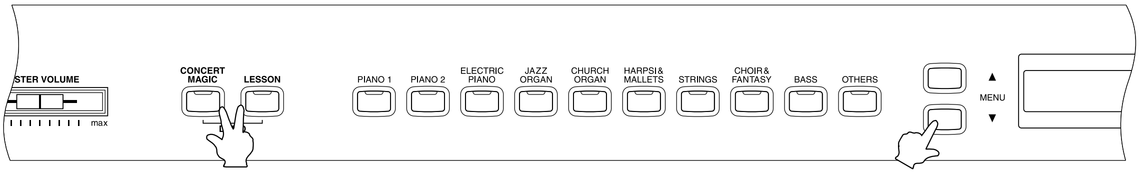
□操作１

Pfun(ピーファン)ピアノ曲集に付属している取扱説明書に従って音楽データをPN4に入れます。

■取扱説明書「Pfunピアノ曲データ追加アプリケーション「Pfun Updater」のインストールと操作方法（PN4用）」を参照して下さい。

□操作２

CONCERT MAGIC(コンサートマジック)ボタンとLESSON(レッスン)ボタンを同時に押しながらMENU(メニュー)ボタン（▲▼）を押す。



同時に押す

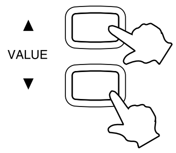
Pfun/ ソノタ モード
ソング = 1 Pfun

Pfun曲の場合には「Pfun」、SMFの場合には 「ソノタ」とディスプレイ右下に表示されます。

■曲が入っていない場合は､「ソングガハイッテイマセン」と 表示されます。
■曲名は表示されません。

□操作３

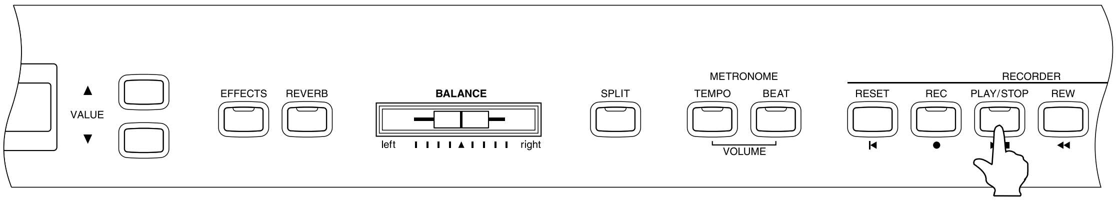
VALUE(バリュー)ボタン（▼▲）を押して曲を選びます。



◇ Pfun 曲を聴く

□操作１

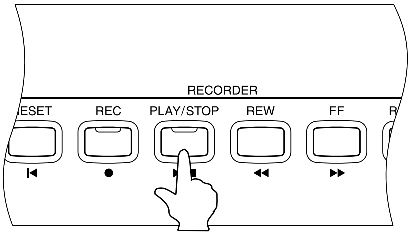
曲を選んだ後、RECORDER（レコーダー）の PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



ボタンが点灯し、曲の再生が始まります。音色はピアノが選ばれます。

□操作２

もう一度 RECORDER（レコーダー）の PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



ボタンが消灯し、曲の再生が止まり最初に戻ります。

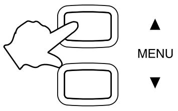
★以下は Pfun ピアノ曲の場合の使い方です。

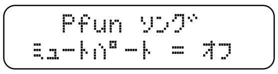
◇ Pfun 曲と合奏する

ピアノパートをミュート（消す）してバックバンドに合わせて演奏することができます。

□操作１

曲を選んだ後、MENU（メニュー）ボタンの▲を押します。

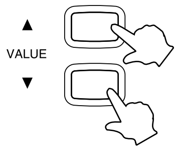




ディスプレイがミュート画面を表示します。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押して、［ミュートパート＝ピアノ］を選びます。

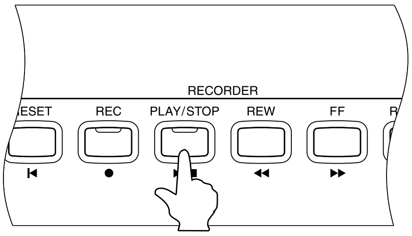


ミュートパート＝伴奏の場合
　伴奏パートがミュートされ、ピアノパートをはっきり聴くことができます。
ミュートパート＝オフの場合
　どちらのパートもミュートされません。

曲選択画面に戻るには MENU ボタンの▼を１回押すか、▲を４回押します。

□操作３

RECORDER（レコーダー）の PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



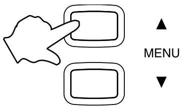
ボタンが点灯し、曲の再生が始まりますので、 伴奏に合わせてピアノを演奏します。

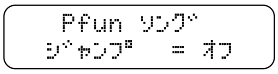
◇ 指定したポイントから再生する

Pfun ピアノ曲では、１曲をいくつかの小節で区切るジャンプポイントがあらかじめ設定されています。
ジャンプポイントを指定して再生することで、途中から繰り返し聴いたり、練習することができます。
ジャンプポイントの小節は Pfun ピアノ曲集の楽譜に記載されています。

□操作１

曲を選んだ後、MENU（メニュー）ボタンの▲を２回押します。

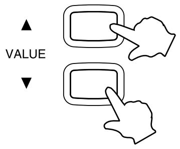




ディスプレイがジャンプ画面を表示します。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押して、ジャンプポイントを選びます。

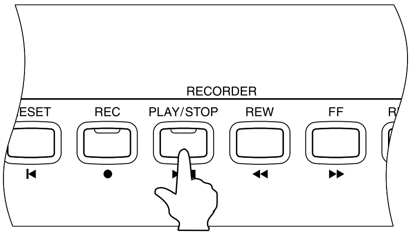


曲を再生した後、▲と▼を同時に押すとジャンプポイントに戻ります。

曲選択画面に戻るには MENU ボタンの▼を２回押すか、▲を３回押します。

□操作３

RECORDER（レコーダー）の PLAY/STOP（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



ボタンが点灯し、指定したポイントから曲の再生が始まり、終わりまで再生するとジャンプポイントに戻って繰り返します。

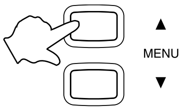
■ジャンプを解除するには操作２でオフを選びます。

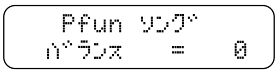
◇ 鍵盤と伴奏の音量バランスを調節する

鍵盤及びピアノパートと伴奏パートの音量バランスを調節することができます。

□操作１

曲を選んだ後、MENU（メニュー）ボタンの▲を３回押します。

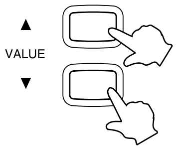




ディスプレイがバランス画面を表示します。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押します。



-5 〜 +5 の範囲で調節可能です。
+ にすると伴奏パートの音量が下がり、– にすると鍵盤およびピアノパートの音量が下がります。

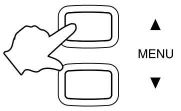
曲選択画面に戻るには MENU ボタンの▼を 4 回押すか、▲を 1 回押します。

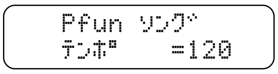
◇テンポを変える

Pfun 曲のテンポを変えることができます。

□操作１

曲を選んだ後、MENU（メニュー）ボタンの▲を 4 回押します。

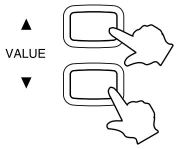




ディスプレイがテンポ画面を表示します。

□操作２

VALUE（バリュー）ボタン（▲▼）を押して、テンポを調節します。

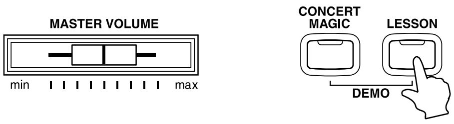


曲選択画面に戻るには MENU ボタンの▼を 4 回押すか、▲を 1 回押します。

◇ Pfun を終了する

□操作１

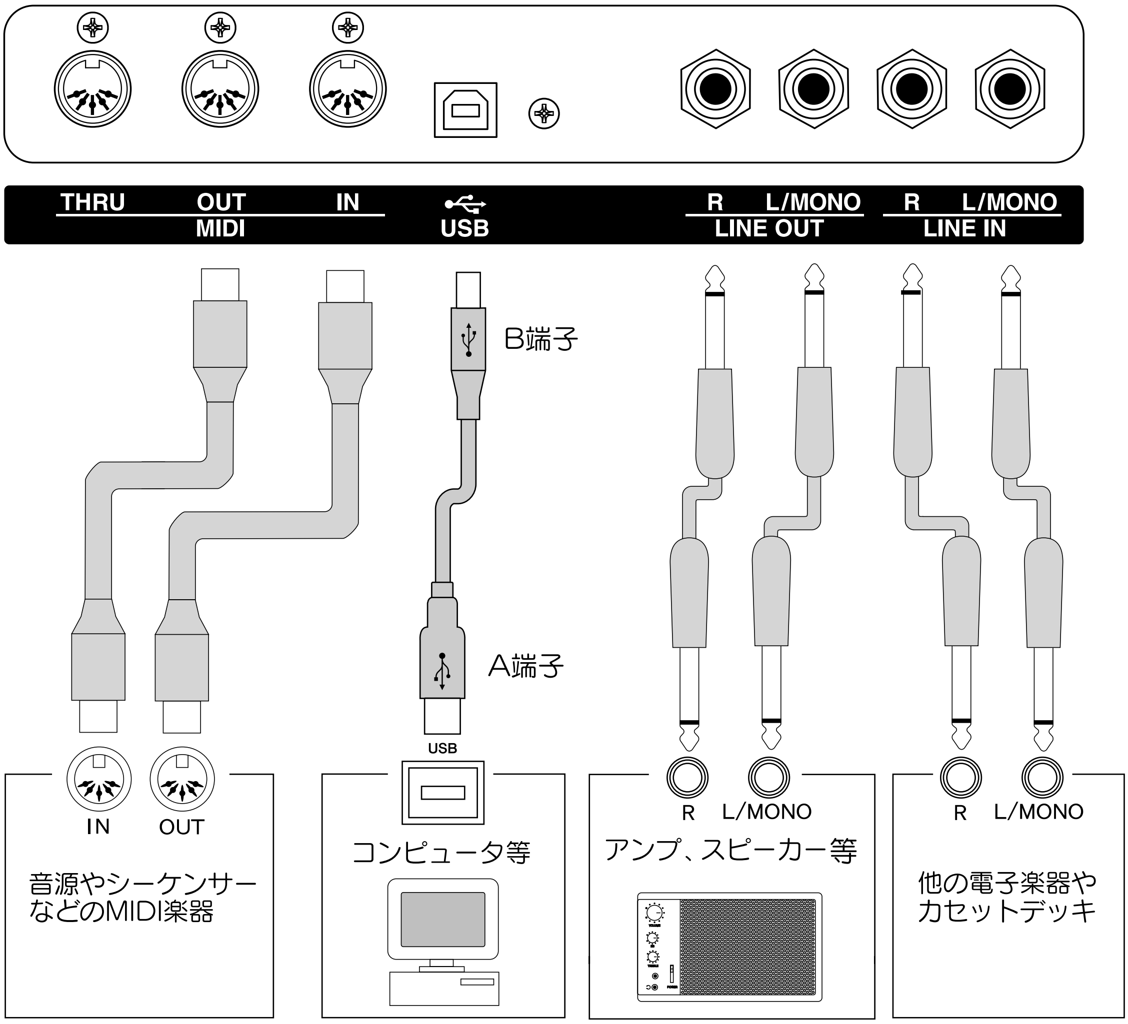
CONCERT MAGIC（コンサートマジック）ボタン又は LESSON（レッスン）ボタンを押します。



通常の状態に戻ります。

9.付　録

◇ 他の機器との接続



⚠ 注意
- 他の機器と接続する時は PN4 の電源を切ってから行って下さい。
- PN4のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。
  発振音が発生し、故障の原因になります。

①LINE OUT（ライン出力端子）<Phoneジャック>
PN4の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、カセットデッキ等に録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。Rは右側、L / MONOは左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOのみにプラグを接続したときに出力されます。

②LINE IN（ライン入力端子）<Phoneジャック>
他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、PN4の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節して下さい。Rは右側、L/MONOは左側の入力を示しています。接続した機器がモノラルの場合はL/MONOにプラグを接続して下さい。

③MIDI（ミディ）
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

④USB端子
市販のUSBケーブルでコンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。
・USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、デジタルピアノ側はB端子でそれぞれ接続します。

USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USBドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。お使いのコンピュータのOSによって使用するUSBドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

Windows XP/Me をお使いの方
Windows に搭載されている標準 USB ドライバーを使用しますので、新たに USB ドライバーをインストールする必要はありません。

Windows 2000/98SE をお使いの方
指定の専用USBドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。

http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/

Macintosh OS X をお使いの方
Macintosh OS X は自動的に PN4 の USB インターフェースを認識しますので、特別なドライバーは必要ありません。

OS9 以前の Macintosh をお使いの方
OS9 以前の Macintosh にはサポートしておりません。市販の USB 対応 MIDI インターフェースを介して、PN4 と MIDI 接続してください。

USBに関するご注意

・MIDI と USB が同時に接続された場合、USB が優先されます。
・デジタルピアノとコンピュータを USB ケーブルで接続する場合は、まずUSB ケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
・デジタルピアノとコンピュータを USB 接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
・デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してください。
・下記の動作中、デジタルピアノの電源オン / オフ、USB ケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
  * ドライバーのインストール中
  * コンピュータの起動中
  * MIDI アプリケーションが動作中
  * コンピュータと通信中
  * 省電力モードで待機中

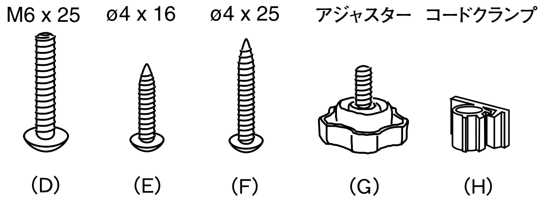
※お使いのコンピュータの設定によっては、USB が正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。
※ PN4 で使用されている USB-MIIDI 変換ボード TID10000934 は、USB ロゴ表示許諾を受けています。
USB ロゴは、USB-IF（USB Implements Forum Inc.）試験に合格した機器のみが使用が許可されています。
※ Windows は 、Microsoft Corporation の登録商標です。
※ Macintosh は 、Apple Computer,Inc. の登録商標です。

◇ 本体の組み立て方

⚠ 注意　組立作業は、必ず２人で行ってください。
本機を移動する時は、水平に持ち上げるようにし、手を挟んだり、足の上に落とさないよう、十分注意してください。

■組み立てる前に、部品が揃っていることを確認してください。
また、プラスドライバーをご用意ください。

- 本体 1
- 側板（A） 左右各1
- 裏板（B） 1
- ペダル土台（C） 1
- ネジ（D）（M6＊25） 4
- ネジ（E）（φ4＊16） 6
- ネジ（F）（φ4＊25） 2
- アジャスター（G） 1
- コードクランプ（H） 1
- ヘッドホンフックセット 1



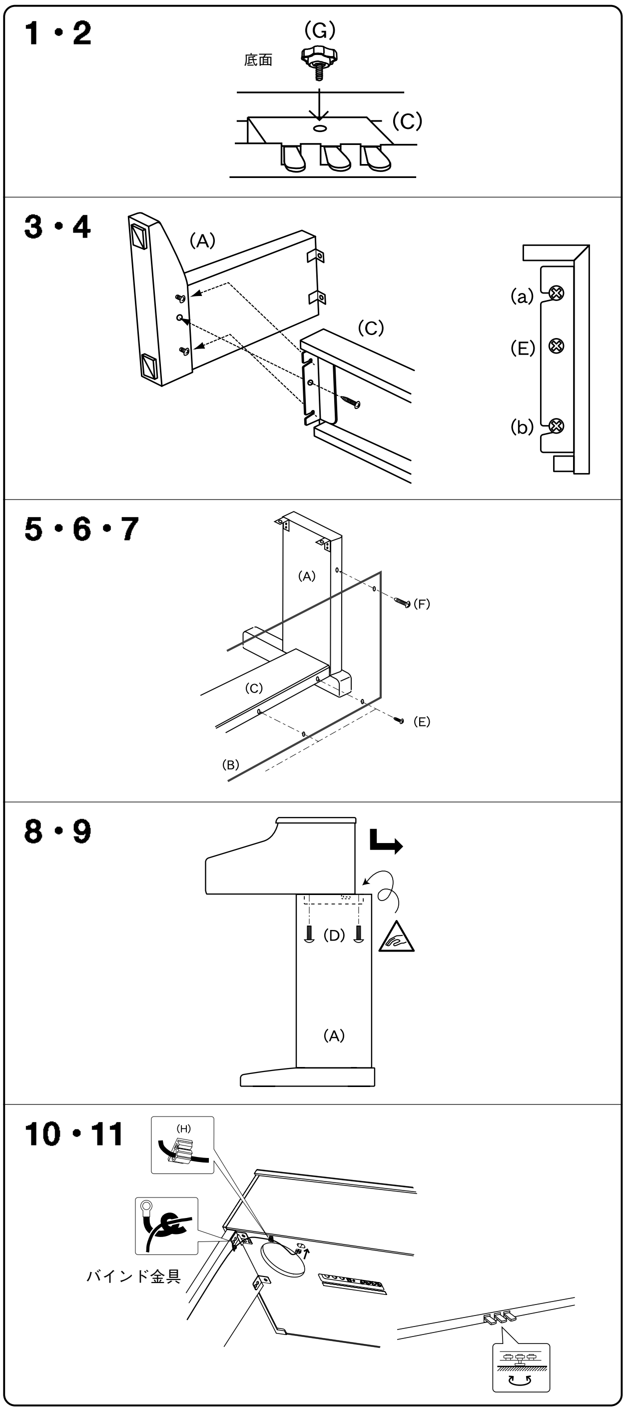
■組み立て手順

1. アジャスター（G）をペダルユニット底中央にねじ込みます。
2. ペダル土台（C）の底、ペダルケーブルを解いて引き出しておいてください。
3. 側板（A）とペダル土台（C）を、背面を下にして置きます。
側板（A）のネジ（a）と（b）に、ペダル土台（C）端の金具を、図のようにずらして引っ掛けます。（左右）
4. ネジ（a），（b）を締め、次ぎに中央にネジ（E）を取り付けます。（左右）
5. 側板（A）とペダル土台（C）の組立品を起こします。
6. 側板（A）と裏板（B）をネジ（F）2個にて取り付けます。
7. ペダル土台（C）と裏板（B）をネジ（E）4個にて取り付けます。
8. 本体をスタンドに静かに載せます。
真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体の前側に載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板（A）の金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、側板と本体の間で挟まないように注意してください。
9. 本体とスタンドをネジ（D）4個で取り付けます。

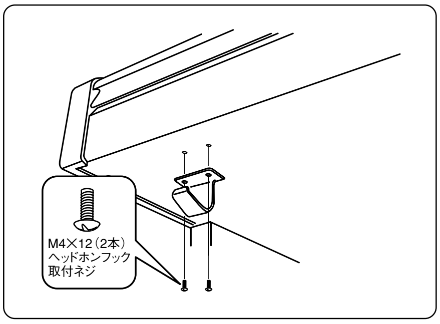
⚠ 注意　必ず、本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

10. ペダル土台から出ている、ペダル接続コードを、端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、コードが適当な位置になるような場所にバインド金具とコードクランプで固定してください。
11. ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

⚠ 注意　アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。
また、移動の際は、引きずらないで必ず床から持ち上げて移動してください。



■ヘッドホンフック（ヘッドホン掛け）の取り付けについて



○ヘッドホンフックと同梱されている短いネジ2本（M4×12）で、本体左側のネジ穴に取り付けます。
※ヘッドホンフックが不要な方は取り付ける必要はありませんので、取扱説明書と一緒に保管してください。

◇ 音色一覧表

■音色ボタンに割り当てられている音色名と、音色に対応する送受信プログラムナンバー

音色ボタン	音色名	マルチティンバー オフ、オン１の時		マルチティンバー オン２の時		
		プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
			LSB		ＭＳＢ	ＬＳＢ
PIANO1 （ピアノ１）	ｺﾝｻｰﾄ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	1	0	1	121	0
	ｽﾀｼﾞｵ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	2	0	1	121	1
	ﾒﾛｰ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	3	0	1	121	2
	ｼﾞｬｽﾞ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ	4	0	1	95	8
PIANO2 （ピアノ２）	ﾓﾀﾞﾝ ﾋﾟｱﾉ	5	0	2	121	0
	ﾎﾝｷｰﾄﾝｸ ﾋﾟｱﾉ	6	0	4	121	0
	ﾛｯｸ ﾋﾟｱﾉ	7	0	2	121	1
	ﾆｭｰｴｲｼﾞ ﾋﾟｱﾉ 1	8	0	1	95	9
ELECTRIC PIANO （エレクトリックピアノ）	ｸﾗｼｯｸ E. ﾋﾟｱﾉ 1	9	0	5	121	0
	ﾓﾀﾞﾝ E. ﾋﾟｱﾉ 1	10	0	6	121	0
	60'sｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ	11	0	5	121	3
	ﾓﾀﾞﾝ E. ﾋﾟｱﾉ 2	12	0	6	121	1
JAZZ ORGAN （ジャズオルガン）	ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 1	13	0	18	121	0
	ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 2	14	0	17	121	0
	ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 3	15	0	17	121	1
	ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 4	16	0	17	95	2
CHURCH ORGAN （チャーチオルガン）	ﾁｬｰﾁ ｵﾙｶﾞﾝ 1	17	0	20	121	0
	ﾃﾞｨｱﾊﾟｿﾝ	18	0	20	95	7
	ﾌﾙ ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ	19	0	21	95	1
	ｵｸﾀｰﾌﾞ ﾌﾟﾘﾝｼﾊﾟﾙ	20	0	20	95	24
HARPSI & MALLETS （ハープシ & マレッツ）	ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ 1	21	0	7	121	3
	ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ	22	0	12	121	0
	ｸﾗﾋﾞﾈｯﾄ	23	0	8	121	0
	ｵｸﾀｰﾌﾞﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ	24	0	7	121	1
STRINGS （ストリングス）	ｽﾛｰ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	25	0	45	95	1
	ｽﾄﾘﾝｸﾞ ﾊﾟｯﾄﾞ	26	0	49	95	8
	ｳｫｰﾑ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	27	0	49	95	1
	ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ1	28	0	49	121	0
CHOIR & FANTASY （クワイア & ファンタジー）	ｸﾜｲｱ 1	29	0	53	121	0
	ﾆｭｰｴｲｼﾞ 1	30	0	89	121	0
	ｱﾄﾓｽﾌｨｱ	31	0	100	121	0
	ﾌｧﾝﾀｼﾞｯｸ ｸﾜｲｱ	32	0	92	121	1
BASS （ベース）	ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ	33	0	33	121	0
	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾍﾞｰｽ	34	0	34	121	0
	ﾌﾚｯﾄﾚｽ ﾍﾞｰｽ	35	0	36	121	0
	ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ & ﾗｲﾄﾞ	36	0	33	95	1

マルチティンバーオフ、オン１の時、バンクＭＳＢは0

◇ OTHERS ボタン音色一覧表

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		LSB		MSB	LSB
●階名唱					
ﾄﾞﾚﾐ ｼｬｰﾌﾟ	37	0	54	95	51
ﾄﾞﾚﾐ ﾌﾗｯﾄ	38	0	54	95	52
●ピアノ					
ﾆｭｰｴｲｼﾞ ﾋﾟｱﾉ 2	39	0	1	95	10
ﾆｭｰｴｲｼﾞ ﾋﾟｱﾉ 3	40	0	1	95	11
ｵｸﾀｰﾌﾞ ﾋﾟｱﾉ	41	0	1	95	1
ｴﾚｸﾄﾘｯｸ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ1	42	0	3	121	0
ｴﾚｸﾄﾘｯｸ ｸﾞﾗﾝﾄﾞ2	43	0	3	121	1
ﾜｲﾄﾞﾎﾝｷｰﾄﾝｸﾋﾟｱﾉ	44	0	4	121	1
●エレクトリックピアノ					
ｿﾌﾄ ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ	45	0	5	95	2
ｸﾘｽﾀﾙ E.ﾋﾟｱﾉ	46	0	6	95	1
ﾄﾚﾓﾛｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ	47	0	5	95	1
ｸﾗｼｯｸ E. ﾋﾟｱﾉ 2	48	0	5	121	1
ｸﾗｼｯｸ E. ﾋﾟｱﾉ 3	49	0	5	121	2
ﾆｭｰｴｲｼﾞ E.ﾋﾟｱﾉ	50	0	6	95	2
ﾓﾀﾞﾝ E. ﾋﾟｱﾉ 3	51	0	6	121	2
ﾚｼﾞｪﾝﾄﾞ E.ﾋﾟｱﾉ	52	0	6	121	3
ﾌｪｲｽﾞ E.ﾋﾟｱﾉ	53	0	6	121	4
●ハープシコード&マレット					
ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ 2	54	0	7	121	0
ﾜｲﾄﾞ ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ	55	0	7	121	2
ｼﾝｾ ｸﾗﾋﾞ	56	0	8	121	1
ﾁｪﾚｽﾀ	57	0	9	121	0
ｸﾞﾛｯｹﾝ	58	0	10	121	0
ﾐｭｰｼﾞｯｸﾎﾞｯｸｽ	59	0	11	121	0
ﾜｲﾄﾞ ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ	60	0	12	121	1
ﾏﾘﾝﾊﾞ	61	0	13	121	0
ﾜｲﾄﾞ ﾏﾘﾝﾊﾞ	62	0	13	121	1
ｼﾛﾎﾝ	63	0	14	121	0
ﾊﾝﾄﾞﾍﾞﾙ	64	0	15	95	1
ﾁｭｰﾌﾞﾗﾍﾞﾙ	65	0	15	121	0
ﾁｬｰﾁ ﾍﾞﾙ	66	0	15	121	1
ｶﾘﾛﾝ	67	0	15	121	2
ﾀﾞﾙｼﾏｰ	68	0	16	121	0
●ジャズ　オルガン					
ｿﾌﾄ ｿﾛ ｵﾙｶﾞﾝ	69	0	17	95	8
ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 5	70	0	17	95	1
ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 6	71	0	18	95	1
ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 7	72	0	17	95	3
ｼﾞｬｽﾞ ｵﾙｶﾞﾝ 8	73	0	17	121	3
ｴﾚｸﾄﾛﾆｯｸ ｵﾙｶﾞﾝ	74	0	17	95	9
60's ｵﾙｶﾞﾝ	75	0	17	121	2
ﾊﾟｰｶｽ ｵﾙｶﾞﾝ 1	76	0	18	121	1
ﾊﾟｰｶｽ ｵﾙｶﾞﾝ 2	77	0	18	121	2
ﾃｨﾋﾞｱ ﾍﾞｰｽ	78	0	18	95	14
ﾛｯｸ ｵﾙｶﾞﾝ	79	0	19	121	0
●　チャーチ　オルガン					
ｼｱﾀｰ ｵﾙｶﾞﾝ	80	0	20	95	1
8' ｾﾚｽﾃ	81	0	20	95	5
ｽﾓｰﾙ ｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ	82	0	20	95	8
ﾘｰｽﾞ	83	0	20	95	10
ﾊﾟｲﾌﾟ&ｴｱｰ	84	0	20	95	17
ﾌﾟﾘﾝｼﾊﾟﾙ ﾊﾟｲﾌﾟ	85	0	20	95	22
ﾁｬｰﾁ ｵﾙｶﾞﾝ 2	86	0	20	121	1
ﾁｬｰﾁ ｵﾙｶﾞﾝ 3	87	0	20	121	2
ﾘｰﾄﾞ ｵﾙｶﾞﾝ	88	0	21	121	0
ﾊﾟﾌ ｵﾙｶﾞﾝ	89	0	21	121	1

マルチティンバーオフ、オン１の時、バンクＭＳＢは0

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		LSB		MSB	LSB
●アコーディオン					
ﾌﾚﾝﾁ ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ 1	90	0	22	121	0
ﾌﾚﾝﾁ ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ 2	91	0	22	95	1
ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ 1	92	0	22	121	1
ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ 2	93	0	22	95	2
ﾌﾞﾙｰｽ ﾊｰﾓﾆｶ	94	0	23	95	2
ﾊｰﾓﾆｶ	95	0	23	121	0
ﾀﾝｺﾞ ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ	96	0	24	121	0
●ギター					
ﾌｨﾝｶﾞｰ ﾅｲﾛﾝｷﾞﾀｰ	97	0	25	95	4
ﾅｲﾛﾝ ｷﾞﾀｰ 1	98	0	25	121	0
ﾅｲﾛﾝ ｷﾞﾀｰ 2	99	0	25	121	2
ﾅｲﾛﾝ ｷﾞﾀｰ 3	100	0	25	121	3
ｳｸﾚﾚ	101	0	25	121	1
ﾌｫｰｸ ｷﾞﾀｰ 1	102	0	26	121	0
ﾌｫｰｸ ｷﾞﾀｰ 2	103	0	26	121	3
12 ｹﾞﾝ ｷﾞﾀｰ	104	0	26	121	1
ﾏﾝﾄﾞﾘﾝ	105	0	26	121	2
ｼﾞｬｽﾞ ｷﾞﾀｰ	106	0	27	121	0
ﾍﾟﾀﾞﾙ ｽﾁｰﾙ	107	0	27	121	1
ﾘｽﾞﾑ ｷﾞﾀｰ	108	0	28	121	2
ｴﾚｸﾄﾘｯｸ ｷﾞﾀｰ 1	109	0	28	121	0
ｴﾚｸﾄﾘｯｸ ｷﾞﾀｰ 2	110	0	28	121	1
ｴﾚｸﾄﾘｯｸ ｷﾞﾀｰ 3	111	0	29	121	2
ﾐｭｰﾄ ｷﾞﾀｰ	112	0	29	121	0
ｶｯﾃｨﾝｸﾞ ｷﾞﾀｰ	113	0	29	121	1
ｶﾝﾄﾘｰ ﾘｰﾄﾞ ｷﾞﾀｰ	114	0	29	121	3
ｵｰﾊﾞｰﾄﾞﾗｲﾌﾞｷﾞﾀｰ	115	0	30	121	0
ﾀﾞｲﾅﾐｯｸOvﾄﾞﾗｲﾌﾞ	116	0	30	121	1
ﾃﾞｨｽﾄｰｼｮﾝ ｷﾞﾀｰ	117	0	31	121	0
ﾃﾞｨｽﾄ ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	118	0	31	121	1
ﾃﾞｨｽﾄ ﾘｽﾞﾑ	119	0	31	121	2
E.ｷﾞﾀｰﾊｰﾓﾆｸｽ	120	0	32	121	0
ｷﾞﾀｰ ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ	121	0	32	121	1
●ベース					
ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ2	122	0	33	95	5
ﾌｨﾝｶﾞｰｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ	123	0	34	121	1
ﾋﾟｯｸﾍﾞｰｽ	124	0	35	121	0
ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ 1	125	0	37	121	0
ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ 2	126	0	38	121	0
ｼﾝｾ ﾍﾞｰｽ 1	127	0	39	121	0
ｼﾝｾ ﾍﾞｰｽ 2	128	0	40	121	0
ｼﾝｾ ﾍﾞｰｽ 3	1	1	39	121	2
ｼﾝｾ ﾍﾞｰｽ 4	2	1	40	121	1
ｳｫｰﾑ ｼﾝｾ ﾍﾞｰｽ	3	1	39	121	1
ｸﾗﾋﾞ ﾍﾞｰｽ	4	1	39	121	3
ﾊﾝﾏｰﾍﾞｰｽ	5	1	39	121	4
ﾗﾊﾞｰﾍﾞｰｽ	6	1	40	121	2
ｱﾀｯｸ ﾍﾞｰｽ	7	1	40	121	3

*ドレミシャープ、ドレミフラットは、楽譜の#、♭記号にあわせてお使いください。
*ドレミシャープ、ドレミフラットの音域は、中央のシからオクターブ半上のソまでです。
その他の音域では、伴奏用にオーケストラ音色がでます。

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク LSB	プログラムナンバー	バンク MSB	バンク LSB
●ストリングス					
ﾊﾞｲｵﾘﾝ	8	1	41	121	0
ｽﾛｰﾊﾞｲｵﾘﾝ	9	1	41	121	1
ﾋﾞｵﾗ	10	1	42	121	0
ﾁｪﾛ	11	1	43	121	0
ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	12	1	44	121	0
ﾄﾚﾓﾛ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	13	1	45	121	0
ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ & ﾌﾞﾗｽ	14	1	49	121	1
60's ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	15	1	49	121	2
ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ2	16	1	50	121	0
ｼﾝｾ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 1	17	1	51	121	0
ｼﾝｾ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 3	18	1	51	121	1
ｼﾝｾ ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ 2	19	1	52	121	0
ﾋﾟｯﾁｶｯﾄ	20	1	46	121	0
ﾊｰﾌﾟ	21	1	47	121	0
ｹﾙﾃｨｯｸ ﾊｰﾌﾟ	22	1	47	121	1
ﾃｨﾝﾊﾟﾆｰ	23	1	48	121	0
●クワイア　&　ヒット					
ｸﾜｲｱ 2	24	1	53	121	1
ﾎﾞｲｽ ｳｰ	25	1	54	121	0
ﾊﾐﾝｸﾞ	26	1	54	121	1
ｼﾝｾ ﾎﾞｰｶﾙ	27	1	55	121	0
ｱﾅﾛｸﾞ ﾎﾞｲｽ	28	1	55	121	1
ｵｰｹｽﾄﾗﾋｯﾄ	29	1	56	121	0
ﾍﾞｰｽ ﾋｯﾄ ﾌﾟﾗｽ	30	1	56	121	1
6th ﾋｯﾄ	31	1	56	121	2
ﾕｰﾛ ﾋｯﾄ	32	1	56	121	3
●　ブラス					
ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	33	1	57	121	0
ｿﾛ ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	34	1	57	121	1
ﾌﾘｭｰｹﾞﾙ ﾎﾙﾝ	35	1	57	95	1
ｾﾝﾁﾒﾝﾀﾙﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	36	1	58	95	7
ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ 1	37	1	58	121	0
ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ 2	38	1	58	121	1
ﾌﾞﾗｲﾄ ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	39	1	58	121	2
ﾁｭｰﾊﾞ	40	1	59	121	0
ｶｯﾌﾟﾐｭｰﾄﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	41	1	60	95	1
ｶｯﾌﾟﾐｭｰﾄﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	42	1	60	95	2
ﾐｭｰﾄ ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ 1	43	1	60	121	0
ﾐｭｰﾄ ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ 2	44	1	60	121	1
ﾌﾚﾝﾁ ﾎﾙﾝ	45	1	61	121	0
ｳｫｰﾑ ﾌﾚﾝﾁ ﾎﾙﾝ	46	1	61	121	1
ﾌﾞﾗｽｾｸｼｮﾝ 1	47	1	62	121	0
ﾌﾞﾗｽｾｸｼｮﾝ 2	48	1	62	121	1
ｼﾝｾ ﾌﾞﾗｽ 1	49	1	63	121	0
ｼﾝｾ ﾌﾞﾗｽ 3	50	1	63	121	1
ｼﾝｾ ﾌﾞﾗｽ 2	51	1	64	121	0
ｼﾝｾ ﾌﾞﾗｽ 4	52	1	64	121	1
ｼﾞｬﾝﾌﾟ ﾌﾞﾗｽ	53	1	63	121	3
ｱﾅﾛｸﾞ ﾌﾞﾗｽ 1	54	1	63	121	2
ｱﾅﾛｸﾞ ﾌﾞﾗｽ 2	55	1	64	121	2

音色名			マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク LSB	プログラムナンバー	バンク MSB	バンク LSB
●リード					
ｵｰﾎﾞｴ & ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	56	1	69	95	5
ｿﾌﾟﾗﾉ ｻｯｸｽ	57	1	65	121	0
ｱﾙﾄ ｻｯｸｽ	58	1	66	121	0
ｿﾌﾄ ﾃﾅｰ ｻｯｸｽ	59	1	67	95	2
ﾃﾅｰ ｻｯｸｽ	60	1	67	121	0
ﾊﾞﾘﾄﾝ ｻｯｸｽ	61	1	68	121	0
ｵｰﾎﾞｴ	62	1	69	121	0
ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ ﾎﾙﾝ	63	1	70	121	0
ﾊﾞｽｰﾝ	64	1	71	121	0
ｸﾗﾘﾈｯﾄ	65	1	72	121	0
●パイプ					
ﾌﾙｰﾄ & ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	66	1	74	95	8
ﾋﾟｯｺﾛ	67	1	73	121	0
ｼﾞｬｽ ﾌﾙｰﾄ	68	1	74	95	1
ﾋﾞｯｸﾞﾊﾞﾝﾄﾞｳｲﾝｽﾞ	69	1	74	95	2
ｵｰｹｽﾄﾗ ｳｲﾝｽﾞ	70	1	74	95	3
ﾌﾙｰﾄ	71	1	74	121	0
ﾊﾞﾗｰﾄﾞ ﾌﾙｰﾄ	72	1	74	95	13
ﾘｺｰﾀﾞｰ	73	1	75	121	0
ﾊﾟﾝﾌﾙｰﾄ	74	1	76	121	0
ﾌﾞﾛｳ ﾎﾞﾄﾙ	75	1	77	121	0
ｼｬｸﾊﾁ	76	1	78	121	0
ﾎｲｯｽﾙ	77	1	79	121	0
ｵｶﾘﾅ	78	1	80	121	0
●シンセリード					
ｽｸｴｱ ﾘｰﾄﾞ1	79	1	81	121	0
ｽｸｴｱ ﾘｰﾄﾞ2	80	1	81	121	1
ｻｲﾝ	81	1	81	121	2
ｸﾗｼｯｸ ｼﾝｾ 1	82	1	82	121	0
ｸﾗｼｯｸ ｼﾝｾ 2	83	1	82	121	1
ﾘｰﾄﾞ	84	1	82	121	2
ｸﾗｼｯｸ ｼﾝｾ 3	85	1	82	121	3
ｼｰｹﾝｽ ｱﾅﾛｸﾞ	86	1	82	121	4
ｶﾘｵﾍﾟ	87	1	83	121	0
ﾁﾌ	88	1	84	121	0
ﾁｬﾗﾝｸﾞ	89	1	85	121	0
ﾜｲｱｰ ﾘｰﾄﾞ	90	1	85	121	1
ﾎﾞｲｽ ﾘｰﾄﾞ	91	1	86	121	0
ﾌｨﾌｽ ﾘｰﾄﾞ	92	1	87	121	0
ﾍﾞｰｽ & ﾘｰﾄﾞ	93	1	88	121	0
ｿﾌﾄ ﾜｲｱｰ ﾘｰﾄﾞ	94	1	88	121	1
●シンセパッド					
ﾆｭｰｴｲｼﾞ 2	95	1	89	95	1
ﾆｭｰｴｲｼﾞ 3	96	1	89	95	2
ﾆｭｰｴｲｼﾞ 4	97	1	89	95	3
ｳｫｰﾑ ﾊﾟｯﾄﾞ	98	1	90	121	0
ｻｲﾝ ﾊﾟｯﾄﾞ	99	1	90	121	1
ﾎﾟﾘｼﾝｾ	100	1	91	121	0
ｸﾜｲｱ ﾊﾟｯﾄﾞ	101	1	92	121	0
ﾎﾞｳﾄﾞ ﾊﾟｯﾄﾞ	102	1	93	121	0
ﾒﾀﾘｯｸ ﾊﾟｯﾄﾞ	103	1	94	121	0
ﾊﾛ ﾊﾟｯﾄﾞ	104	1	95	121	0
ｽｲｰﾌﾟ ﾊﾟｯﾄﾞ	105	1	96	121	0

マルチティンバーオフ、オン1の時、バンクMSBは0

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		ＬＳＢ		ＭＳＢ	ＬＳＢ
●シンセＳＦＸ					
ﾚｲﾝ ﾊﾟｯﾄﾞ	106	1	97	121	0
ｻｳﾝﾄﾞ ﾄﾗｯｸ	107	1	98	121	0
ｸﾘｽﾀﾙ	108	1	99	121	0
ｼﾝｾ ﾏﾚｯﾄ	109	1	99	121	1
ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ	110	1	101	121	0
ｺﾞﾌﾞﾘﾝ	111	1	102	121	0
ｴｺｰｽﾞ	112	1	103	121	0
ｴｺｰ ﾍﾞﾙ	113	1	103	121	1
ｴｺｰ ﾊﾟﾝ	114	1	103	121	2
ｻｲｴﾝｽ ﾌｨｸｼｮﾝ	115	1	104	121	0
●エスニック					
ｼﾀｰﾙ 1	116	1	105	121	0
ｼﾀｰﾙ 2	117	1	105	121	1
ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ	118	1	106	121	0
ｼｬﾐｾﾝ	119	1	107	121	0
ｺﾄ	120	1	108	121	0
ﾀｲｼｮｳｺﾞﾄ	121	1	108	121	1
ｶﾘﾝﾊﾞ	122	1	109	121	0
ﾊﾞｸﾞﾊﾟｲﾌﾟ	123	1	110	121	0
ﾌｨﾄﾞﾙ	124	1	111	121	0
ｼｬﾅｲ	125	1	112	121	0
●パーカッション					
ﾃｨﾝｸﾙ ﾍﾞﾙ	126	1	113	121	0
ｱｺﾞｺﾞ	127	1	114	121	0
ｽﾁｰﾙﾄﾞﾗﾑ	128	1	115	121	0
ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ	1	2	116	121	0
ｶｽﾀﾈｯﾄ	2	2	116	121	1
ﾀｲｺ	3	2	117	121	0
ｺﾝｻｰﾄ ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑ	4	2	117	121	1
ﾒﾛﾃﾞｨｯｸ ﾀﾑ 1	5	2	118	121	0
ﾒﾛﾃﾞｨｯｸ ﾀﾑ 2	6	2	118	121	1
ｼﾝｾ ﾄﾞﾗﾑ	7	2	119	121	0
ﾘｽﾞﾑ ﾎﾞｯｸｽ ﾀﾑ	8	2	119	121	1
ｴﾚｸﾄﾘｯｸ ﾄﾞﾗﾑ	9	2	119	121	2
ﾘﾊﾞｰｽ ｼﾝﾊﾞﾙ	10	2	120	121	0
ｷﾞﾀｰ ﾌﾚｯﾄ ﾉｲｽﾞ	11	2	121	121	0
ｷﾞﾀｰｶｯﾃｨﾝｸﾞ ﾉｲｽﾞ	12	2	121	121	1
ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ ｽﾗｯﾌﾟ	13	2	121	121	2

音色名	マルチティンバー オフ、オン1		マルチティンバー オン2		
	プログラムナンバー	バンク	プログラムナンバー	バンク	
		ＬＳＢ		ＭＳＢ	ＬＳＢ
●ＳＦＸ					
ﾌﾞﾚｽ ﾉｲｽﾞ	14	2	122	121	0
ﾌﾙｰﾄ ｷｰｸﾘｯｸ	15	2	122	121	1
ﾅﾐ	16	2	123	121	0
ｱﾒ	17	2	123	121	1
ｶﾐﾅﾘ	18	2	123	121	2
ｶｾﾞ	19	2	123	121	3
ｵｶﾞﾜ	20	2	123	121	4
ｱﾜ	21	2	123	121	5
ﾄﾘ 1	22	2	124	121	0
ｲﾇ	23	2	124	121	1
ｳﾏﾉﾋﾂﾞﾒ	24	2	124	121	2
ﾄﾘ 2	25	2	124	121	3
ﾃﾞﾝﾜ 1	26	2	125	121	0
ﾃﾞﾝﾜ 2	27	2	125	121	1
ﾄﾞｱ 1	28	2	125	121	2
ﾄﾞｱ 2	29	2	125	121	3
ｽｸﾗｯﾁ	30	2	125	121	4
ｳｲﾝﾄﾞﾁｬｲﾑ	31	2	125	121	5
ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ	32	2	126	121	0
ｶｰ ｴﾝｼﾞﾝ	33	2	126	121	1
ｶｰ ｽﾄｯﾌﾟ	34	2	126	121	2
ｶｰ ﾊﾟｽ	35	2	126	121	3
ｶｰ ｸﾗｯｼｭ	36	2	126	121	4
ｻｲﾚﾝ	37	2	126	121	5
ｷｼｬ	38	2	126	121	6
ｼﾞｪｯﾄｷ	39	2	126	121	7
ｳﾁｭｳｾﾝ	40	2	126	121	8
ﾊﾞｰｽﾄﾉｲｽﾞ	41	2	126	121	9
ﾊｸｼｭ	42	2	127	121	0
ﾜﾗｲｺﾞｴ	43	2	127	121	1
ｻｹﾋﾞｺｴ	44	2	127	121	2
ﾊﾟﾝﾁ	45	2	127	121	3
ｼﾝｿﾞｳ	46	2	127	121	4
ｱｼｵﾄ	47	2	127	121	5
ｼﾞｭｳｾｲ	48	2	128	121	0
ﾏｼﾝｶﾞﾝ	49	2	128	121	1
ﾚｰｻﾞｰｶﾞﾝ	50	2	128	121	2
ﾊﾞｸﾊﾂ	51	2	128	121	3
●ドラムセット					
ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ ｾｯﾄ	52	2	1	120	0
ﾙｰﾑ ｾｯﾄ	53	2	9	120	0
ﾊﾟﾜｰ ｾｯﾄ	54	2	17	120	0
ｴﾚｸﾄﾛﾆｯｸ ｾｯﾄ	55	2	25	120	0
ｱﾅﾛｸﾞ ｾｯﾄ	56	2	26	120	0
ｼﾞｬｽﾞ ｾｯﾄ	57	2	33	120	0
ﾌﾞﾗｼ ｾｯﾄ	58	2	41	120	0
ｵｰｹｽﾄﾗ ｾｯﾄ	59	2	49	120	0
SFX ｾｯﾄ	60	2	57	120	0

マルチティンバーオフ、オン1の時、バンクＭＳＢは0

◇ PN4 リズム一覧表

No.	リズム名
1	8 ﾋﾞｰﾄ 1
2	8 ﾋﾞｰﾄ 2
3	8 ﾋﾞｰﾄ 3
4	16 ﾋﾞｰﾄ 1
5	16 ﾋﾞｰﾄ 2
6	16 ﾋﾞｰﾄ 3
7	16 ﾋﾞｰﾄ 4
8	16 ﾋﾞｰﾄ 5
9	16 ﾋﾞｰﾄ 6
10	ﾛｯｸ ﾋﾞｰﾄ 1
11	ﾛｯｸ ﾋﾞｰﾄ 2
12	ﾛｯｸ ﾋﾞｰﾄ 3
13	ﾊｰﾄﾞ ﾛｯｸ
14	ﾍｳﾞｨ ﾋﾞｰﾄ
15	ｻｰﾌ ﾛｯｸ
16	2nd ﾗｲﾝ
17	50 ｳｪｲｽﾞ
18	ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 1
19	ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 2
20	ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 3
21	ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 4
22	ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 5
23	ﾗｲﾄ ﾗｲﾄﾞ 1
24	ﾗｲﾄ ﾗｲﾄﾞ 2
25	ｽﾑｰｽ ﾋﾞｰﾄ
26	ﾘﾑ ﾋﾞｰﾄ
27	ｽﾛｰ ｼﾞｬﾑ
28	ﾎﾟｯﾌﾟ 1
29	ﾎﾟｯﾌﾟ 2
30	ｴﾚｸﾄﾛ ﾎﾟｯﾌﾟ 1
31	ｴﾚｸﾄﾛ ﾎﾟｯﾌﾟ 2
32	ﾗｲﾄﾞ ﾋﾞｰﾄ 1
33	ﾗｲﾄﾞ ﾋﾞｰﾄ 2
34	ﾗｲﾄﾞ ﾋﾞｰﾄ 3
35	ﾗｲﾄﾞ ﾋﾞｰﾄ 4
36	ｽﾘｯﾌﾟ ﾋﾞｰﾄ
37	ｼﾞｬｽﾞ ﾛｯｸ
38	ﾌｧﾝｷｰ ﾋﾞｰﾄ 1
39	ﾌｧﾝｷｰ ﾋﾞｰﾄ 2
40	ﾌｧﾝｷｰ ﾋﾞｰﾄ 3
41	ﾌｧﾝｷｰ 1
42	ﾌｧﾝｷｰ 2
43	ﾌｧﾝｷｰ 3
44	ﾌｧﾝｸ ｼｬｯﾌﾙ 1
45	ﾌｧﾝｸ ｼｬｯﾌﾙ 2
46	ﾊﾞｽﾞ ﾋﾞｰﾄ
47	ﾃﾞｨｽｺ 1
48	ﾃﾞｨｽｺ 2
49	ﾋｯﾌﾟ ﾎｯﾌﾟ 1
50	ﾋｯﾌﾟ ﾎｯﾌﾟ 2

No.	リズム名
51	ﾋｯﾌﾟ ﾎｯﾌﾟ 3
52	ﾋｯﾌﾟ ﾎｯﾌﾟ 4
53	ﾃｸﾉ 1
54	ﾃｸﾉ 2
55	ﾃｸﾉ 3
56	ﾍｳﾞｨ ﾃｸﾉ
57	8ｼｬｯﾌﾙ 1
58	8ｼｬｯﾌﾙ 2
59	8ｼｬｯﾌﾙ 3
60	ﾌﾞｷﾞ
61	16 ｼｬｯﾌﾙ 1
62	16 ｼｬｯﾌﾙ 2
63	16 ｼｬｯﾌﾙ 3
64	T ｼｬｯﾌﾙ
65	ﾄﾘﾌﾟﾚｯﾄ 1
66	ﾄﾘﾌﾟﾚｯﾄ 2
67	ﾄﾘﾌﾟﾚｯﾄ 3
68	ﾄﾘﾌﾟﾚｯﾄ 4
69	ﾄﾘﾌﾟﾚｯﾄ ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 1
70	ﾄﾘﾌﾟﾚｯﾄ ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 2
71	ﾄﾘﾌﾟﾚｯﾄ ﾊﾞﾗｰﾄﾞ 3
72	ﾓｰﾀｳﾝ 1
73	ﾓｰﾀｳﾝ 2
74	ﾗｲﾄﾞ ｽｳｨﾝｸﾞ
75	H.H. ｽｳｨﾝｸﾞ
76	ｼﾞｬｽﾞ ﾜﾙﾂ 1
77	ｼﾞｬｽﾞ ﾜﾙﾂ 2
78	5/4 ｽｳｨﾝｸﾞ
79	ﾀﾑ ｽｳｨﾝｸﾞ
80	ﾌｧｰｽﾄ 4 ﾋﾞｰﾄ
81	H.H. ﾎﾞｻﾉﾊﾞ
82	ﾗｲﾄﾞ ﾎﾞｻﾉﾊﾞ
83	ﾋﾞｷﾞﾝ
84	ﾏﾝﾎﾞ
85	ﾁｬ ﾁｬ
86	ｻﾝﾊﾞ
87	ﾗｲﾄ ｻﾝﾊﾞ
88	ｽﾙﾄﾞ ｻﾝﾊﾞ
89	ﾗﾃﾝ ｸﾞﾙｰﾌﾞ
90	ｱﾌﾛ ｷｭｰﾊﾞﾝ
91	ｿﾝｺﾞ
92	ﾍﾞﾝﾍﾞ
93	ｱﾌﾘｶﾝ ﾍﾞﾝﾍﾞ
94	ﾒﾚﾝｹﾞ
95	ﾚｹﾞｴ
96	ﾀﾝｺﾞ
97	ﾊﾊﾞﾈﾗ
98	ﾜﾙﾂ
99	ﾗｸﾞﾀｲﾑ
100	ｶﾝﾄﾘｰ&ｳｴｽﾀﾝ

◇「CLASSICAL PIANO COLLECTION（クラシカルピアノコレクション）」楽譜、ディスクについて

PN4には発表会などでよく演奏される曲を中心に、バロック時代のラモーの作品からロマン派のショパンまでの作品29曲を収録した「CLASSICAL PIANO COLLECTION」楽譜と、その演奏のフロッピーディスクを同梱しています。鑑賞、練習にご活用ください。

フロッピーディスクの再生方法は57ページを参照してください。

曲名、ファイル名は下記のとおりです。

曲名	ファイル名	作曲者名
タンブラン	01Tambou.MID	ラモー
調子のよいかじ屋	02BSmith.MID	ヘンデル
メヌエット　ト長調（BWV.Anh.114） メヌエット　ト短調（BWV.Anh.115） メヌエット　ト長調（BWV.Anh.116）	03MenuB114.MID 04MenuB115.MID 05MenuB116.MID	バッハ
かっこう	06Coucou.MID	ダカン
ガヴォット	07Gavotte.MID	ゴセック
メヌエット	08MenuettB.MID	ボッケリーニ
主題と変奏〈「ピアノ・ソナタ第11番K.331（300i）」より第1楽章〉 トルコ行進曲〈「ピアノ・ソナタ第11番K.331（300i）」より第3楽章 メヌエット	09ThemaVar.MID 10TMarschM.MID 11MenuettM.MID	モーツァルト
ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章 ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章 エリーゼのために	12Sonate14.MID 13Sonate8.MID 14FurElise.MID	ベートーベン
ロンド・ファヴォリ	15RondoFav.MID	フンメル
即興曲 作品90の4 楽興の時 作品94の3 間奏曲 即興曲 作品142の3	16Imp90-4.MID 17MomentsM.MID 18Entracte.MID 19Imp142-3.MID	シューベルト
歌の翼に 春の歌 ロンド・カプリチョーソ	20Flugeln.MID 21Fruhling.MID 22RondoCap.MID	メンデルスゾーン
別れの曲 雨だれの前奏曲 子犬のワルツ ノクターン 第2番 幻想即興曲 軍隊ポロネーズ 英雄ポロネーズ	23Chanson.MID 24Raindrop.MID 25PetitChi.MID 26Nocturne.MID 27FantaImp.MID 28Polonai3.MID 29Polonai6.MID	ショパン

◇「ドレミでうたおう」付属ディスクについて

この付属のフロッピーディスクには、お子様がよく知っている童話など13曲収録しています。
収録曲はメロディーを”ドレミ”で歌ってます。
”ドレミ”でメロディーを歌うことを階名唱といい、音感やリズム感を養うことに効果があり、
小学校、中学校、音楽学校で広く取り入れられています。

◆「ドレミでうたおう」ディスクを使った練習方法の例

① 収録曲から、お好みの曲を選びます。
選曲の方法は、57ページを参照してください。

② 曲を再生し、よく聴いてメロディーを覚えます。
曲の再生方法は、57ページ参照してください。

③ 曲を再生しながら”ドレミ”でいっしょに歌います。

④ ピアノ伴奏のみ再生して、伴奏に合わせて”ドレミ”で歌います。
伴奏のみの再生方法は、58ページを参照し、
パート1をミュートして再生してください。

⑤ 鍵盤でメロディーを弾きます。

音名（ドレミ）と鍵盤の音の位置関係を学習できます。
OTHERSボタンのドレミ音色を選んでドレミで弾く事もできます。

◆「ドレミでうたおう」ディスクを使った練習方法の例

1. かえるのがっしょう
2. こいぬのマーチ（前奏付）
3. かっこう
4. こぎつね
5. かりかりわたれ
6. かたつむり
7. ひらいたひらいいた
8. 夕やけこやけ
9. はるがきた
10. さくらさくら
11. 七つの子
12. もみじ　（前奏付）
13. ふるさと（前奏付）

*「もみじ」、「ふるさと」はヘ長調のため、”シ”は”シ♭”の音高で発音しています。
*次のページにメロディー譜があります。

階名唱について

”ドレミ”で歌う学習方法には固定ド唱法と移動ド唱法の2種類ありますが、ここでは固定ド唱法を使用しています。
固定ド唱法は、音の高さと音名が一致しているために、絶対音感を養う上で効果があります。
とくに習い始めのお子様の場合、固定ド唱法で歌うことで”ド”はいつでも同じ高さの音であり歌った音名は、五線上の音符や鍵盤上にそのまま反映させることができるので、音符の読み書きやリコーダー、他の楽器の練習に入るときにも円滑に学習に移ることができます。
また、全ての音符を音名で一音一音しっかりと歌うことによって、メロディーの輪郭をはっきりさせることができ、それによって一層確かなリズム感を養うことができます。

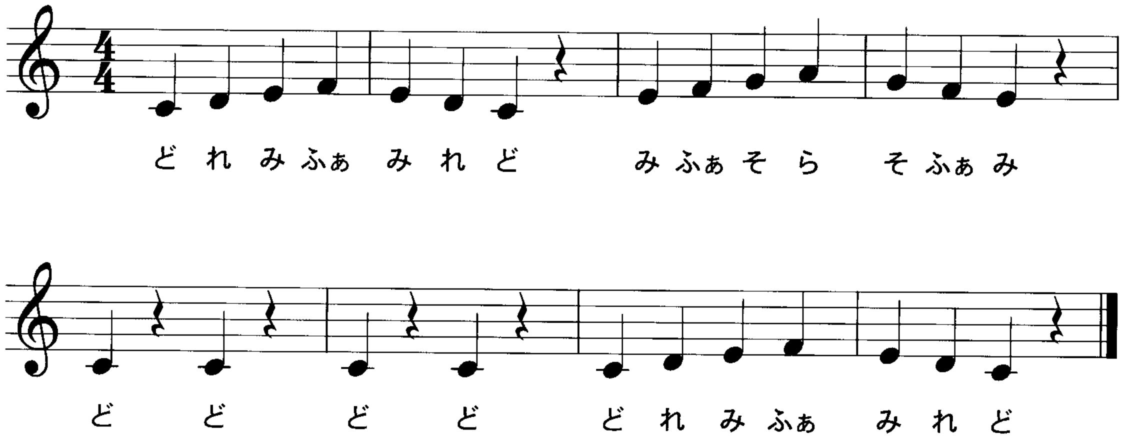
*固定ド唱法　：　すべての調を、ハ長調上の音階名で歌う方法。
*移動ド唱法　：　各々の長調の主音を常に”ド”として調によって移動させて歌う方法。
*絶対音感　　：　発音された楽音の高さ（音）を正確に聴き分ける能力。

◇楽譜（かえるのがっしょう／こいぬのマーチ）

かえるのがっしょう

♩ = 104

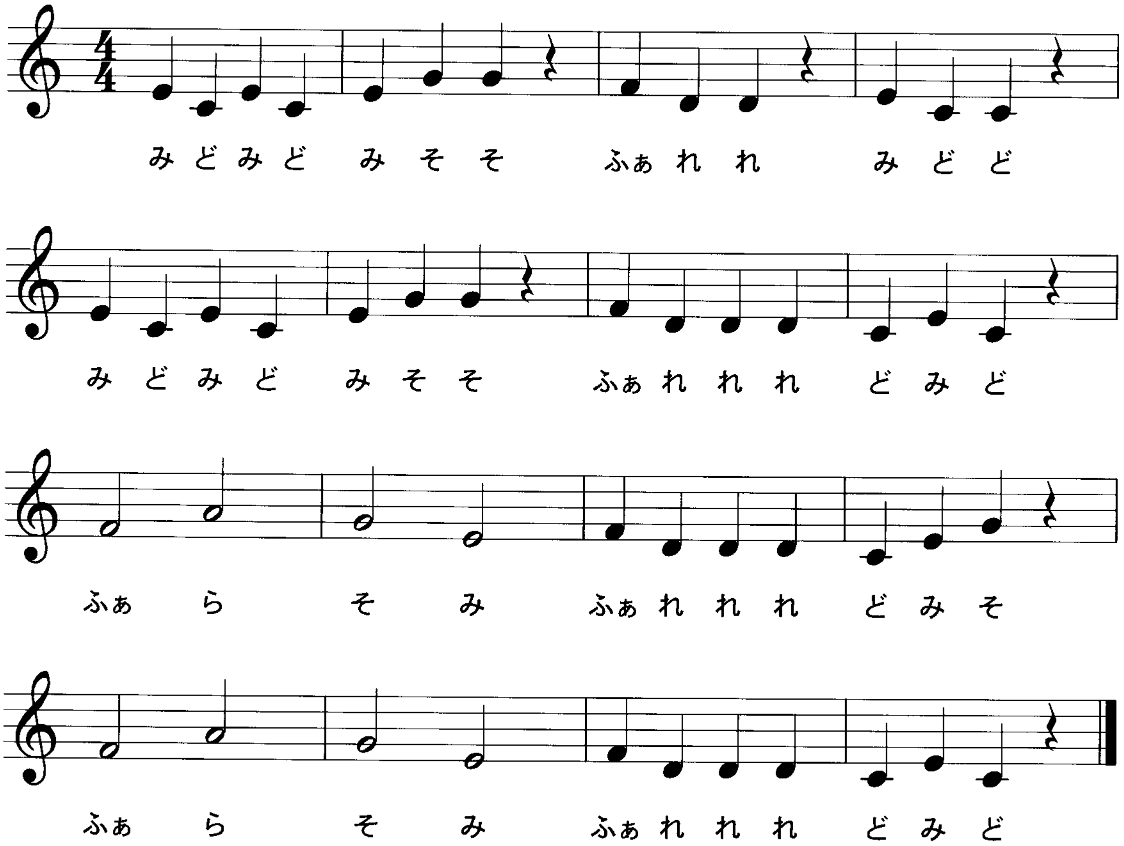
ドイツ民謡



こいぬのマーチ

♩ = 116

外国曲

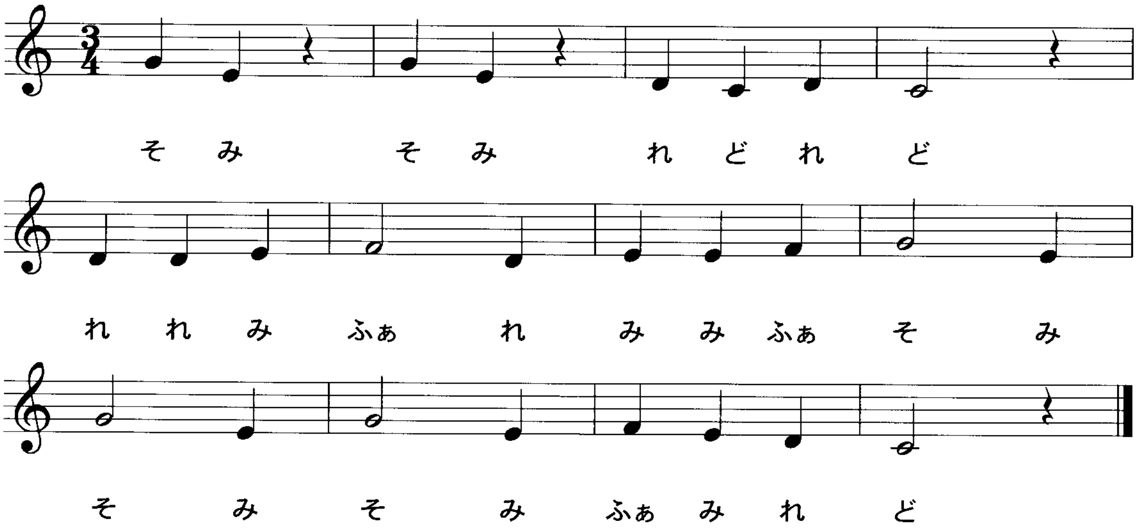


◇楽譜（かっこう／こぎつね）

かっこう

♩ = 112

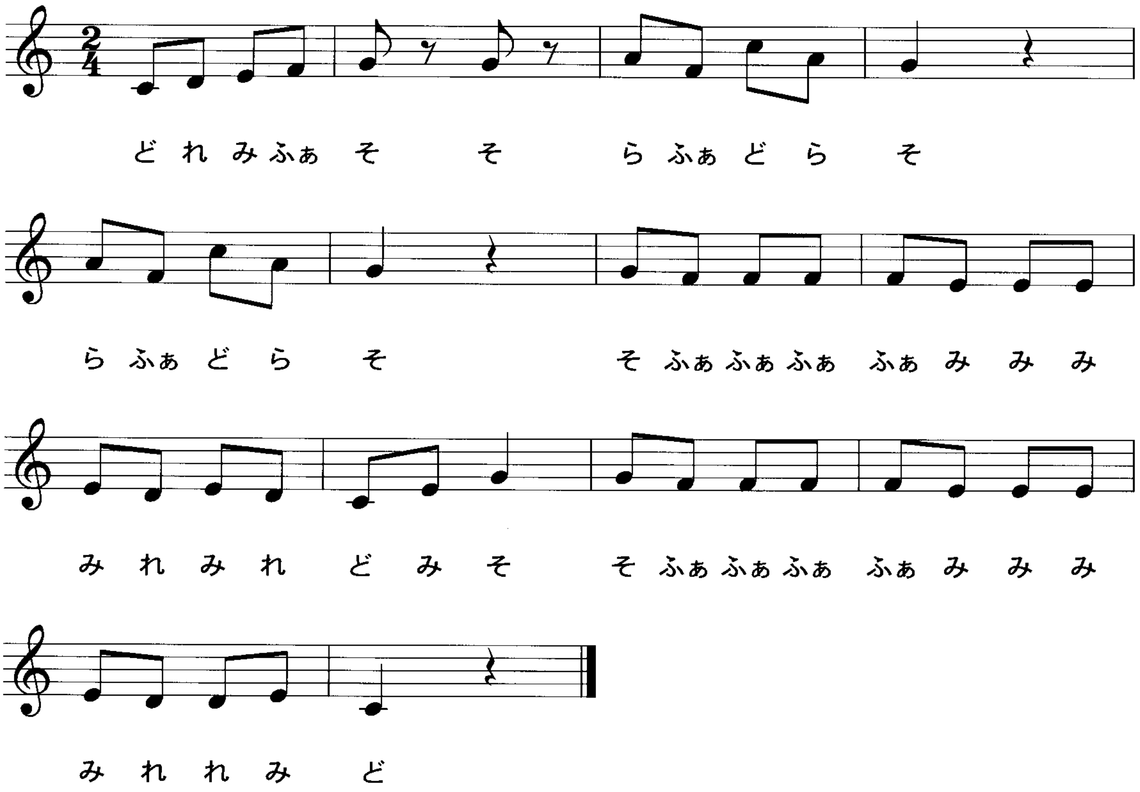
ドイツ民謡



こぎつね

♩ = 100

ドイツ民謡

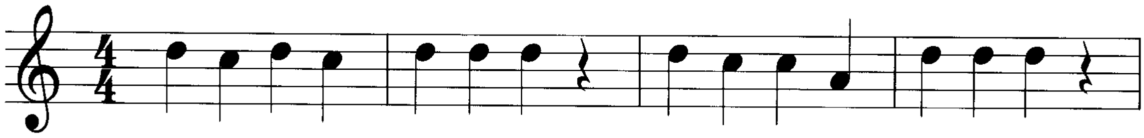


◇楽譜（かりかりわたれ／かたつむり）

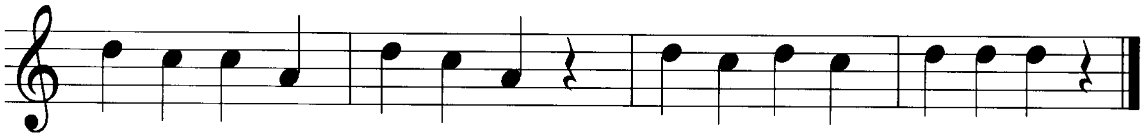
かりかりわたれ

♩ = 108

わらべうた



れ ど れ ど　れ れ れ　　れ ど ど ら　れ れ れ

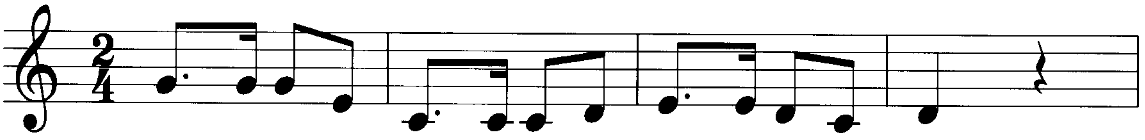


れ ど ど ら　れ ど ら　　れ ど れ ど　れ れ れ

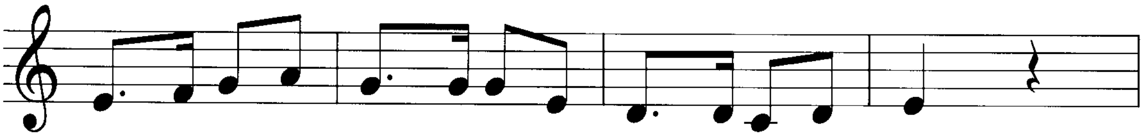
かたつむり

♩ = 88

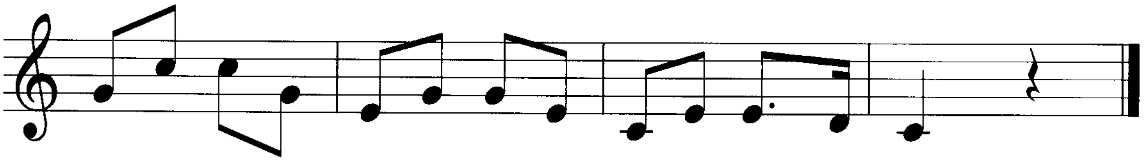
文部省唱歌



そ　そ そ み　ど　ど ど れ　み　み れ ど　れ



み　ふぁ そ ら　そ　そ そ み　れ　れ ど れ　み

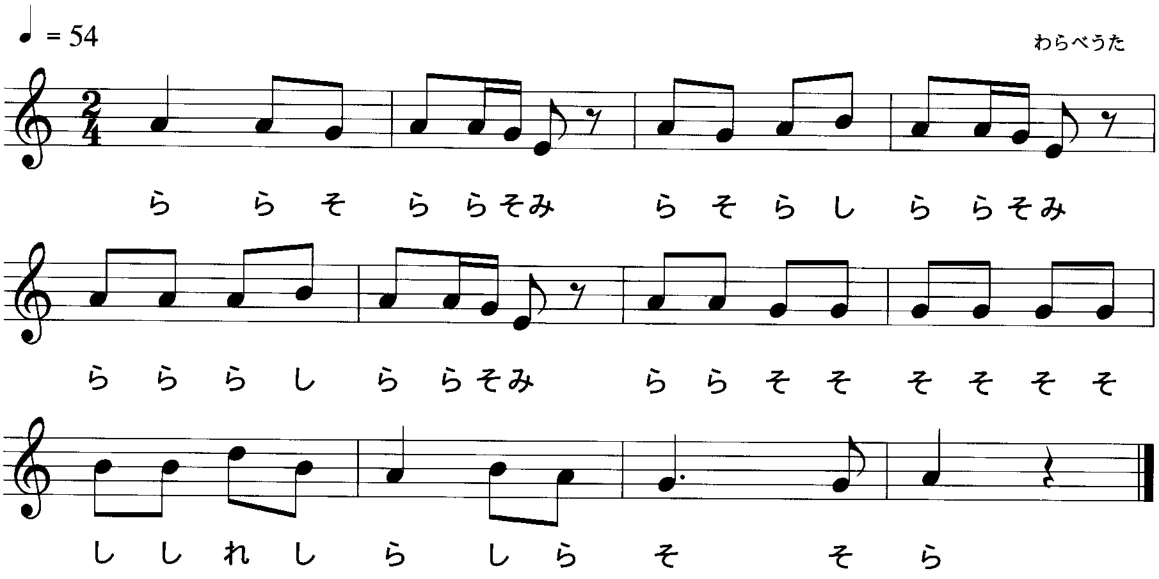


そ ど ど そ　み そ そ み　ど み み れ　ど

◇楽譜（ひらいたひらいた／夕やけこやけ）

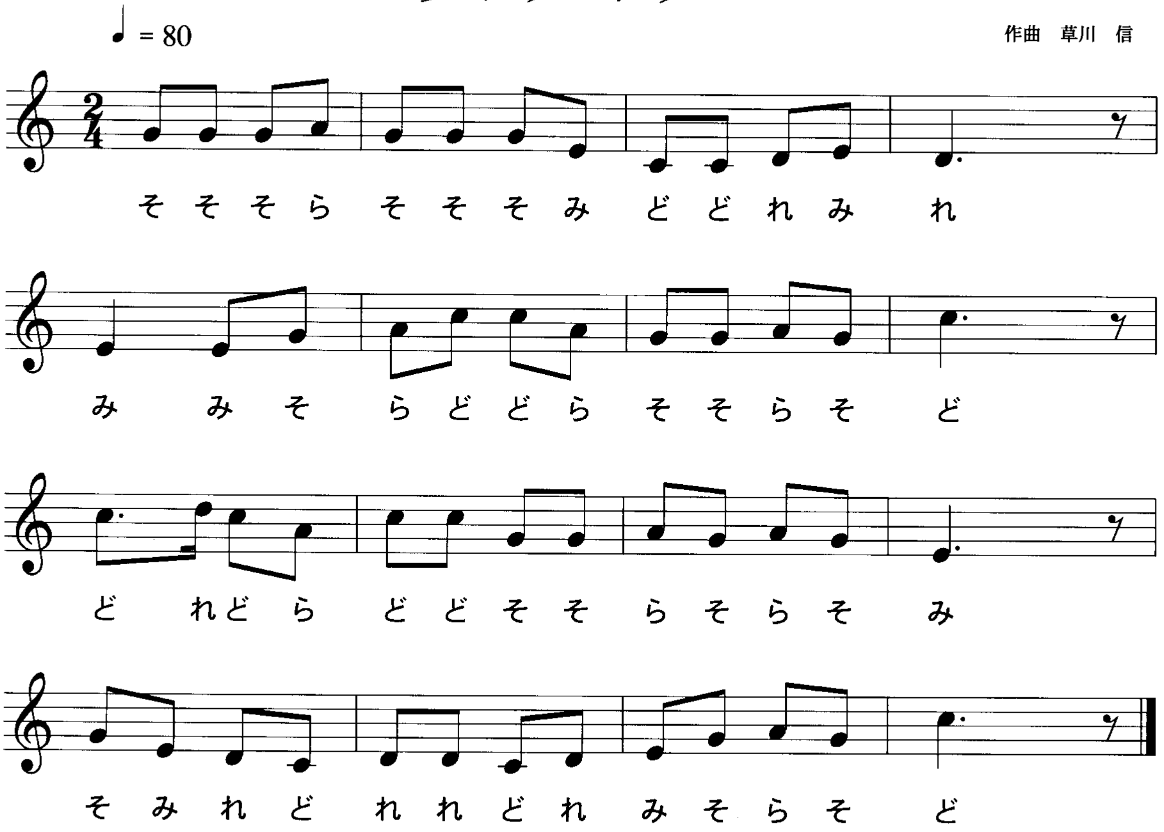
ひらいたひらいた

わらべうた



夕やけこやけ

作曲　草川　信

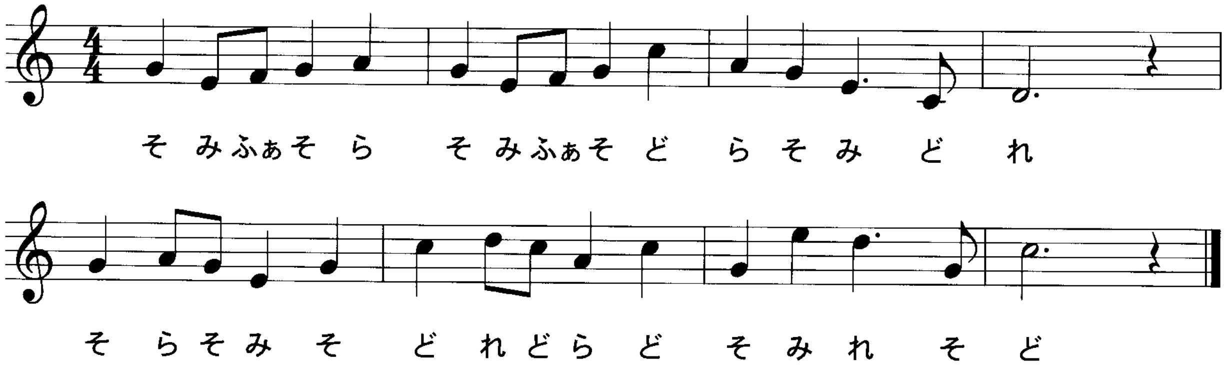


◇楽譜（はるがきた／さくらさくら）

はるがきた

♩ = 116

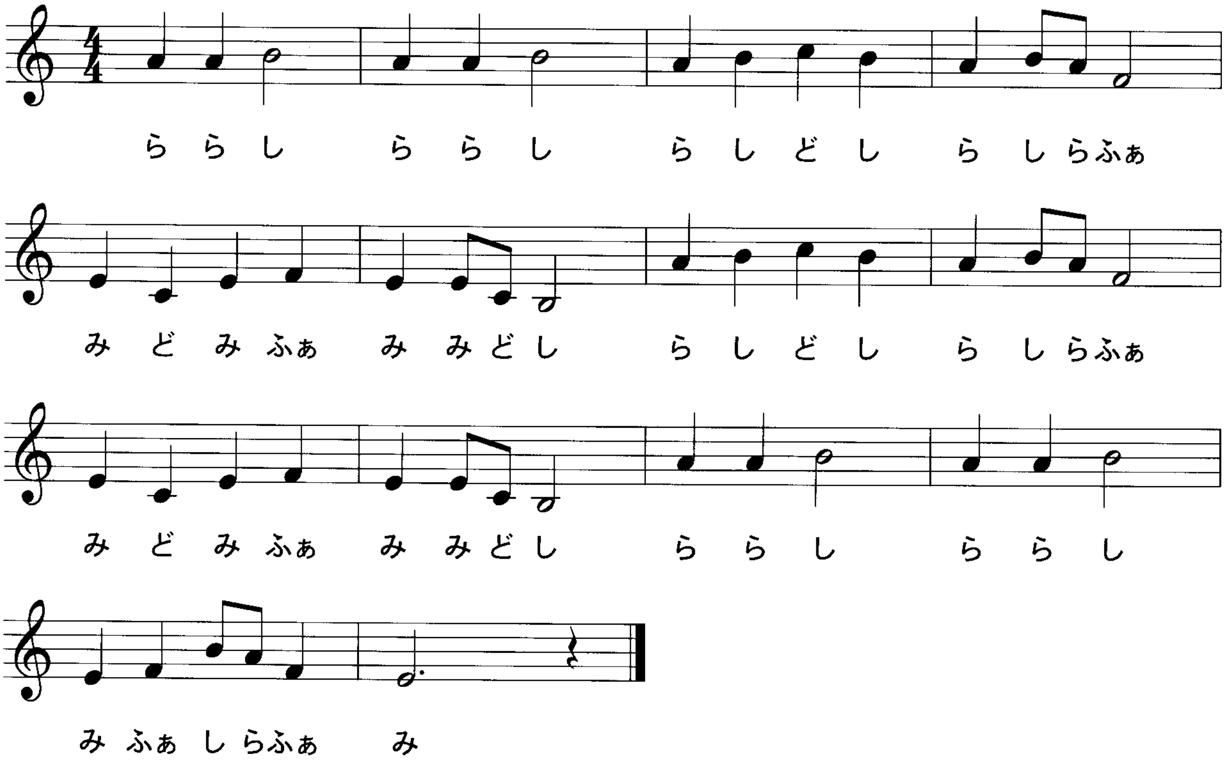
作曲　岡野貞一



さくらさくら

♩ = 72

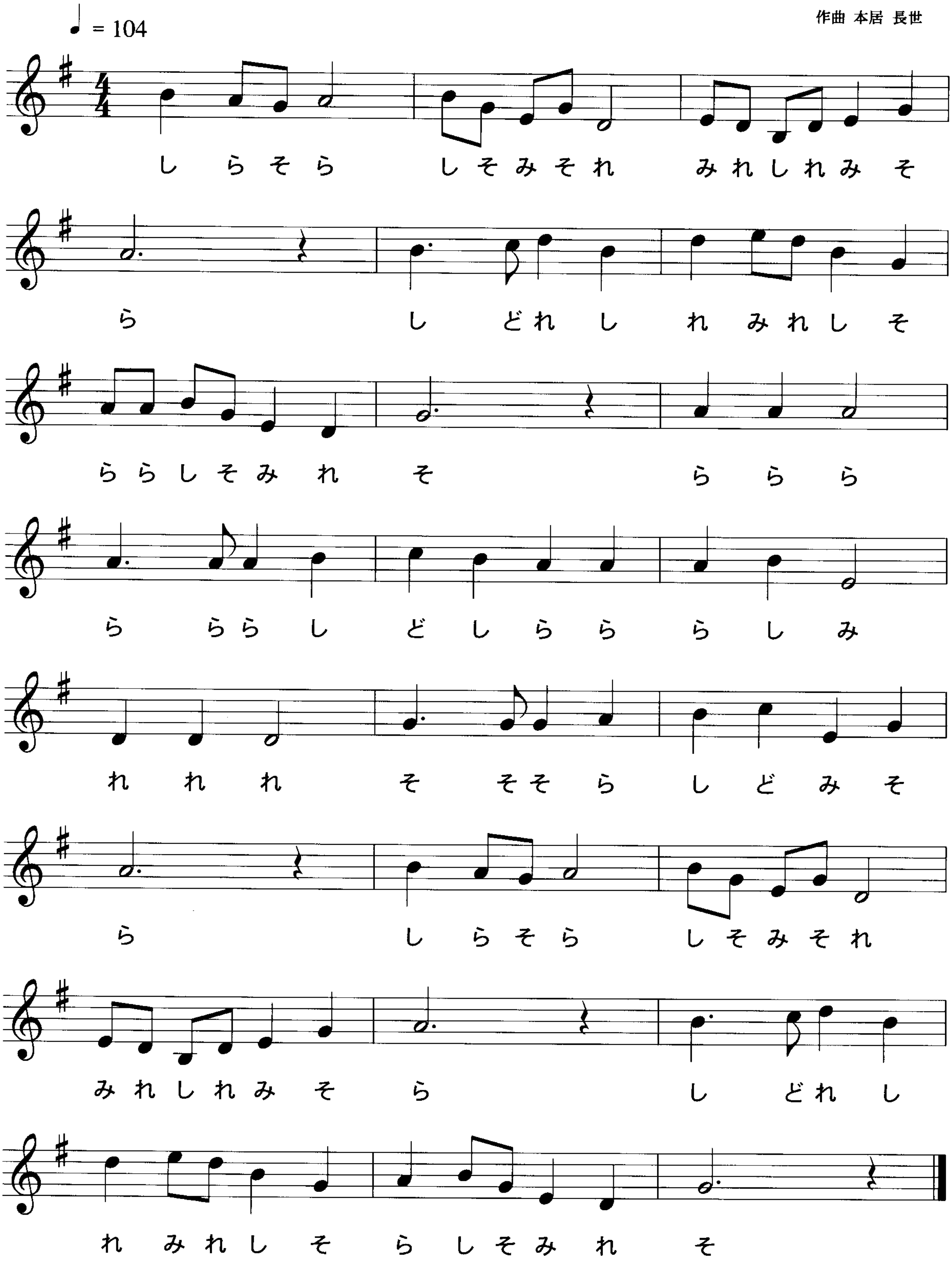
日本古謡



◇楽譜（七つの子）

七つの子

作曲 本居 長世

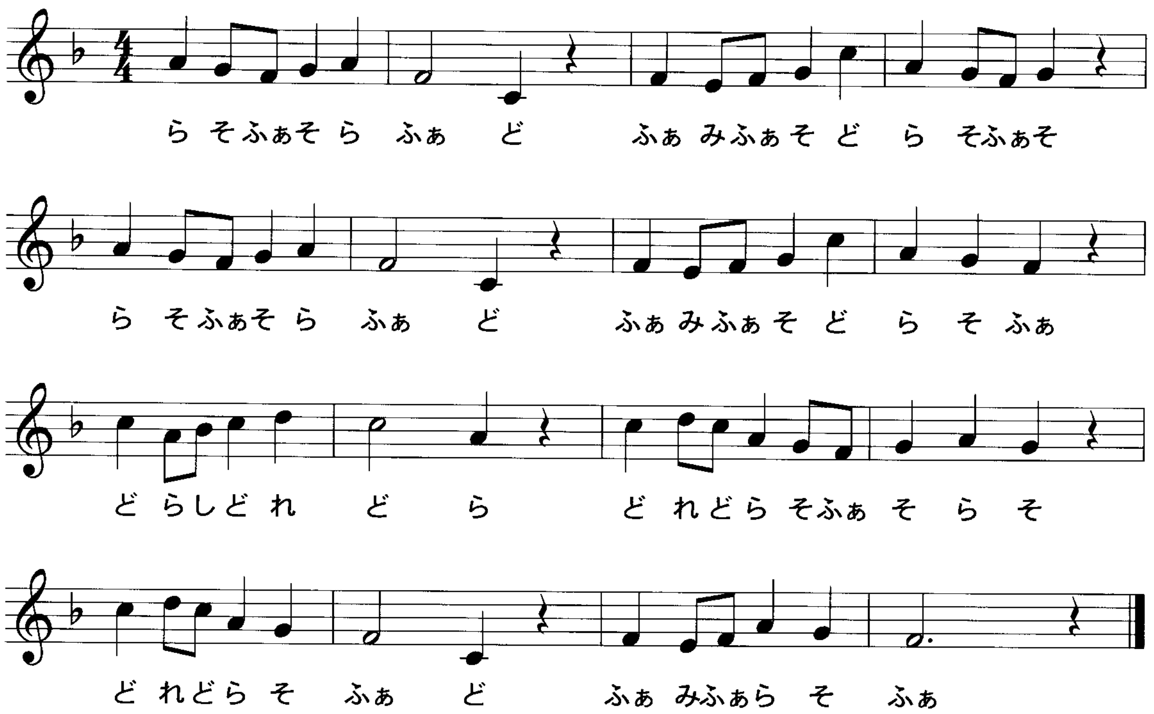


◇楽譜（もみじ／ふるさと）

もみじ

♩ = 88

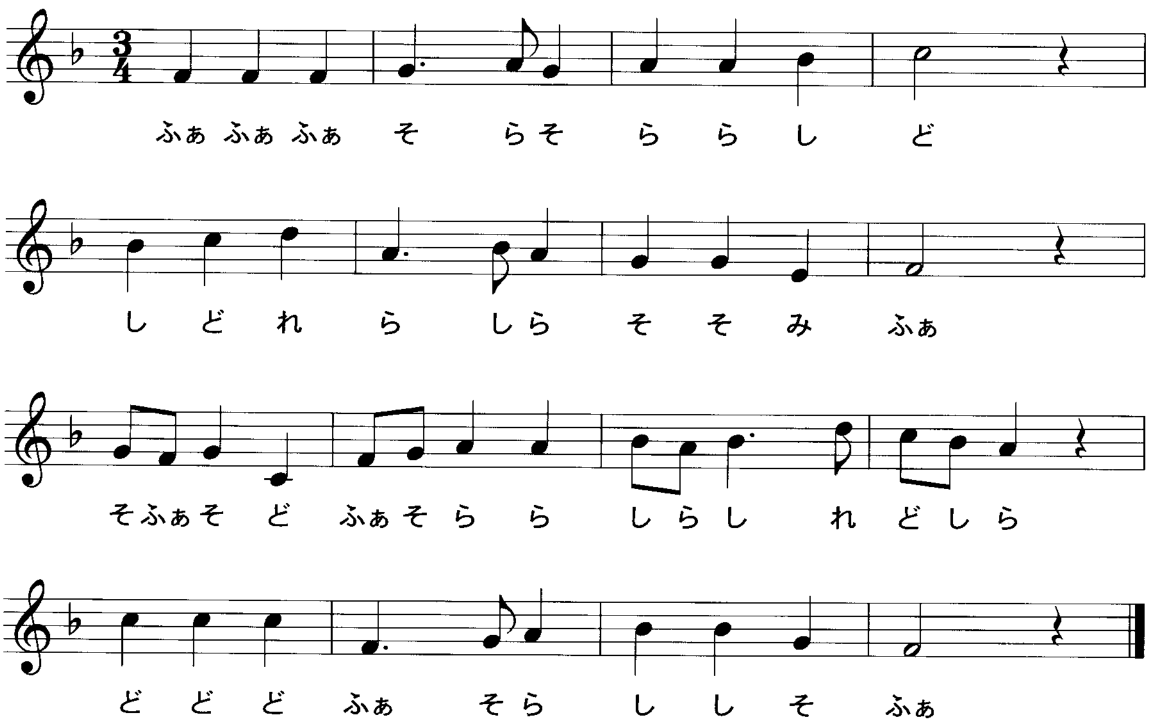
作曲　岡野　貞一



ふるさと

作曲　岡野　貞一

♩ = 80



◇主な仕様

■鍵盤	88鍵／アドバンスト・ハンマー・アクションⅣ
■同時発音数	最大96音
■音色	ｺﾝｻｰﾄｸﾞﾗﾝﾄﾞ、ｽﾀｼﾞｵｸﾞﾗﾝﾄﾞ、ﾒﾛｰｸﾞﾗﾝﾄﾞ、ｼﾞｬｽﾞｸﾞﾗﾝﾄﾞ、ﾓﾀﾞﾝﾋﾟｱﾉ、ﾎﾝｷｰﾄﾝｸﾋﾟｱﾉ、ﾛｯｸﾋﾟｱﾉ、ﾆｭｰｴｲｼﾞﾋﾟｱﾉ1、ｸﾗｼｯｸ Eﾋﾟｱﾉ1、ﾓﾀﾞﾝ E ﾋﾟｱﾉ1、60'sｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ、ﾓﾀﾞﾝ E ﾋﾟｱﾉ2、ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ1、ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ2、ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ3、ｼﾞｬｽﾞｵﾙｶﾞﾝ4、ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ1、ﾃﾞｨｱﾊﾟｿﾝ、ﾌﾙｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ、ｵｸﾀｰﾌﾞﾌﾟﾘﾝｼﾊﾟﾙ、ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ1、ﾋﾞﾌﾞﾗﾎﾝ、ｸﾗﾋﾞﾈｯﾄ、ｵｸﾀｰﾌﾞﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ、ｽﾛｰｽﾄﾘﾝｸﾞｽ、ｽﾄﾘﾝｸﾞﾊﾟｯﾄﾞ、ｳｫｰﾑｽﾄﾘﾝｸﾞｽ、ｽﾄﾘﾝｸﾞｱﾝｻﾝﾌﾞﾙ1、ｸﾜｲｱ1、ﾆｭｰｴｲｼﾞ1、ｱﾄﾓｽﾌｨｱ、ﾌｧﾝﾀｼﾞｯｸｸﾜｲｱ、ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ、ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾍﾞｰｽ、ﾌﾚｯﾄﾚｽﾍﾞｰｽ、ｳｯﾄﾞﾍﾞｰｽ&ﾗｲﾄﾞ、 その他OTHERS音色に271音色十9ドラムセット
■ディスプレイ	16文字×2行　液晶ディスプレイ（LCD）
■効果	リバーブ（ルーム1,2、ステージ、ホール1,2、プレート）、コーラス1,2,3,4、FBコーラス、フランジャー、ディレイ1,2,3、トレモロ、ロータリー1,2
■レッスン	全349曲（練習曲：305曲、指の体操：44曲）
■メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8、7/8、9/8、12/8拍子
■レコーダー	2パート×3ソング、 記憶音数 1ソングあたり30,000音
■ディスクレコーダー	16トラックレコーダー、パートミュート、繰り返し再生、フロッピーディスク（2HD，2DD DOS/Vフォーマット）
■デモ曲	全39曲
■コンサートマジック	全88曲
■トランスポーズ	一12〜十12半音
■その他の機能	デュアル、スプリット、バランススライダー、タッチカーブセレクト（6種類）、ブリリアンス、ロアーオクターブシフト、ロアーペダル、レイヤーオクターブシフト、レイヤーダイナミクス、ダンパーホールド、チューニング、音律、MIDI機能設定、ユーザーメモリー、ファクトリーリセット
■ペダル	ダンパー、ソフト、ソステヌート
■キーカバー	スライド式
■外部端子	ヘッドホン（2）、MIDI（IN、OUT、THRU）、LINE OUT（L/MONO、R）、LINE IN（L/MONO、R）、USB
■出力	40W×2
■スピーカ	16㎝×2
■定格電圧	AC100V、50/60Hz
■消費電力	60W
■寸法	［W×D×H］140.5×46.9×85.8（㎝）（セットアップ時、譜面台なしの場合）
■重量	50kg
■同梱品	本体／スタンド／譜面台／椅子／電源コード／取扱説明書（本書）／クラシカル ピアノ コレクション（楽譜）／クラシカル ピアノ コレクション（フロッピーディスク）／ドレミでうたおう（フロッピーディスク）／ブランク　フロッピーディスク／ゆびの体操ドレミ／ゆびの体操ドレミ楽譜集／ヘッドホン／ヘッドホンフック／スタンド組立図／保証書／ご愛用者カード／アフターサービスと音楽教室のご案内／楽譜集のご案内／「コンサートマジック曲集」注文払込用紙／ポピュラーピアノコレクション（フロッピーディスク）／ポピュラーピアノコレクション対応楽譜のご紹介

Date : Jan '05
Version : 1.0

◇ KAWAI［Model PN4］MIDI インプリメンテーションチャート

ファンクション		送信　*1	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ＯＮ時 設定可能	1 1〜16	1〜16 1〜16	
モード	電源ＯＮ時 メッセージ 代用	モード3 × **********	モード3 モード3,4	
ノート ナンバー	音域	21 - 108　** **********	0 - 127 0 - 127	** 9-120　トランスポーズを含む。
ベロシティ	ノート･オン ノート･オフ	○　9nH　v=1-127 ×　9nH　v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ○	
ピッチ･ベンド		×	○	
コントロール チェンジ	0,32	○	○	バンクセレクト
	1	×	○	モジュレーション
	5	×	○	ポルタメントタイム
	6,38	×	○	データエントリー
	7	○	○	ボリューム
	10	×	○	パンポット
	11	×	○	エクスプレション
	64	○（右ペダル）	○	ダンパーペダル
	65	×	○	ポルタメント
	66	○（中ペダル）	○	ソステヌートペダル
	67	○（左ペダル）	○	ソフトペダル
	69	○	○	ホールド２
	70	×	○	サスティンレベル
	71	×	○	レゾナンス
	72	×	○	リリースタイム
	73	×	○	アタックタイム
	74	×	○	カットオフ
	75	×	○	ディケイタイム
	76	×	○	ビブラートスピード
	77	×	○	ビブラートデプス
	78	×	○	ビブラートディレイ
	84	×	○	ポルタメントコントロール
	91	○	○	リバーブセンドレベル
	93	○	○	コーラスセンドレベル
	98,99	×	○	NRPN　LSB,MSB
	100,101	×	○	RPN　LSB,MSB
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○（0 - 127） **********	○	
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	○ ○ FA,FB,FC	○ ○	
その他	オールサウンドオフ リセットオールコントローラー ローカルON/OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × × × ○ ×	○（120） ○（121） × ○（123〜127） ○ ×	
備考		*1 レコーダー機能ではこの内容は準じません		

モード１：オムニオン、ポリ　　モード２：オムニオン、モノ　　○：有り
モード３：オムニオフ、ポリ　　モード４：オムニオフ、モノ　　×：無し

KAWAI

株式会社 河合楽器製作所

楽　器　事　業　本　部
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665　浜松市寺島町200番地
TEL.053-457-1277 / FAX053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

KPSZ-0078
0502S
Printed in Japan

R100

PRINTED WITH SOY INK™ このマニュアルは古紙配合率100%再生紙とSAS（アメリカ大豆協会）認定の大豆油インクを使用しています。